資 料 編

目　次

資料１　事業計画関連 ･･･ **資 1-1**

1.1　第１期君津地域広域廃棄物処理事業の現況 ･････････････････････････････ 資 1-1
1.2　安房地域２市１町のごみ処理実績 ･････････････････････････････････････ 資 1-2
1.3　7 自治体におけるごみ処理フロー ･････････････････････････････････････ 資 1-3
1.4　各市町から本施設までの廃棄物主要搬入経路と搬入車両台数 ･････････････ 資 1-8
1.5　第１期事業及び第２期事業の施設の概要 ･････････････････････････････････ 資 1-9
1.6　県内自治体の廃棄物処理施設における煙突 ･････････････････････････････ 資 1-10
1.7　低炭素型シャフト炉の概要 ･･･ 資 1-11
1.8　かずさクリーンシステム等のごみ質分析結果 ･････････････････････････････ 資 1-12
1.9　事故又は災害等の不測の事態が発生し、燃焼室が停止した場合の処理フロー ･･･ 資 1-13
1.10　予測対象時期の選定根拠 ･･ 資 1-14
1.11　予測に用いた主要設備機器の配置 ･････････････････････････････････････ 資 1-19
1.12　廃棄物処理施設の稼働による大気質の予測結果（煙突高さ 59ｍと 100ｍの場合） 資 1-23
1.13　廃棄物処理施設からの大気汚染物質排出量等の比較 ･････････････････････ 資 1-24

資料２　大気質関連 ･･･ **資 2-1**

2.1　自動車交通量及び走行速度の現地調査結果 ･････････････････････････････ 資 2-1
2.2　気象の異常年検定結果 ･･･ 資 2-15
2.3　車両の走行による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の寄与濃度の距離減衰図 ･････ 資 2-16
2.4　富津下飯野測定局の気象観測結果 ･･････････････････････････････････････ 資 2-19
2.5　内部境界層発達によるフュミゲーション発生時の予測 ･････････････････････ 資 2-20
2.6　自動車排出係数の算出方法 ･･･ 資 2-24
2.7　年平均値から日平均値の 98％値（又は 2％除外値）への換算式 ･･････････････ 資 2-25
2.8　廃棄物処理施設の稼働による大気質の短期高濃度予測結果距離減衰図 ･････････ 資 2-26

資料３　水質関連 ･･･ **資 3-1**

3.1　水質の文献調査結果 ･･･ 資 3-1

資料４　騒音及び超低周波音関連 ･･･ **資 4-1**

4.1　騒音及び低周波音の現地調査結果 ･････････････････････････････････････ 資 4-1
4.2　廃棄物処理施設の稼働による騒音予測 ･････････････････････････････････ 資 4-12

資料５　振動関連 ･･･ **資 5-1**

5.1　振動、地盤卓越振動数の現地調査結果 ･････････････････････････････････ 資 5-1
5.2　道路交通振動の予測結果 ･･･ 資 5-10

資料 6　土壌関連 ･･･ **資 6-1**

6.1　土壌汚染の現地調査結果 ･･･ 資 6-1

資料 7　植物関連 ･･･ **資 7-1**

7.1　植物確認種リスト ･･･ 資 7-1

7.2　植生調査票及び群落写真 ･･･ 資 7-7

資料 8　動物関連 ･･･ **資 8-1**

8.1　哺乳類トラップ法調査結果 ･･･ 資 8-1

8.2　鳥類ラインセンサス法調査結果 ･･･ 資 8-2

8.3　鳥類定点センサス法調査結果 ･･･ 資 8-4

8.4　昆虫類確認種リスト ･･･ 資 8-6

8.5　昆虫類ベイトトラップ法調査結果 ･･･ 資 8-14

8.6　昆虫類ライトトラップ法調査結果 ･･･ 資 8-16

資料 9　温室効果ガス関連 ･･･ **資 9-1**

9.1　ばい煙及び排出ガス（自動車等）の発生による温室効果ガス等　･････････････ 資 9-1

資料１　事業計画関連

資料1　事業計画関連

1.1　第１期君津地域広域廃棄物処理事業の現況

1.1.1　事業概要

株式会社かずさクリーンシステムにおいて、可燃ごみとして収集されたもののほか、資源選別後の多様なごみを高温(1,700～1,800℃)で溶融し、ごみ質の変動に左右されない安定した操業が行われている。

表 1.1　株式会社かずさクリーンシステムの事業概要

設立	平成 10 年 12 月	
資本金、出資者	20 億円 君津地域 4 市、日鉄エンジニアリング㈱、㈱鹿島環境エンジニアリング、㈱市川環境エンジニアリング	
事業内容	君津地域 4 市から排出される一般廃棄物、 条例で受け入れている産業廃棄物、 及び日本製鉄㈱東日本製鉄所君津地区から排出される産業廃棄物・一般廃棄物の中間処理	
ごみ処理方式	シャフト炉式ガス化溶融炉	
施設規模	450t/日	第 1 工場：100t/日×2 炉
		第 2 工場：125t/日×2 炉
施設名称	君津地域広域廃棄物処理施設	
所在地	千葉県木更津市新港 17 番 2	

1.1.2　ごみ処理実績等

直近 5 年のごみ処理実績等は、表 1.2 に示すとおりである。なお、発生するスラグ・メタルは、シャフト炉式ガス化溶融処理の採用により、全量資源化されており、JIS（日本産業規格）認証を受け、工業製品を生産できる施設となっている。さらに、発生する集じん灰（溶融飛灰）の量は、ごみ搬入量の 3～4%台に抑えられている。

他の処理方式では、6%から 12%程度の発生であり、最終処分量の削減に成果が見られている。

表 1.2　株式会社かずさクリーンシステムの処理実績等

（単位：t）

項目			2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
4 市合計	搬入ごみ量：Ⓐ		111,329	111,090	112,934	118,217	113,182
	搬出量	スラグ	13,250	9,926	10,480	12,052	11,234
		メタル	1,629	1,993	2,407	2,726	2,794
		資源化量合計：Ⓑ	14,879	11,919	12,887	14,778	14,028
		資源化率:Ⓑ/Ⓐ(%)	13.36	10.73	11.41	12.50	12.4
		溶融飛灰：Ⓒ	4,011	3,884	4,311	4,523	4,729
		減容率：Ⓒ/Ⓐ(%)	3.60	3.50	3.82	3.83	4.18

1.1.3　環境保全

地元自治体と環境保全協定を締結し、排ガス等について、法令で示される基準値よりさらに厳しい値で管理を行い、環境に配慮した処理が行われている。

1.2　安房地域 2 市 1 町のごみ処理実績

安房地域 2 市 1 町（鴨川市、南房総市、鋸南町）の直近 5 年のごみ処理実績（焼却総量等）は、表 1.3 に示すとおりであり、毎年度、27,000t 程度のごみを焼却している。

発生する焼却残渣の量は、ごみ搬入量の 6～12%となっている。

表 1.3　安房地域 2 市 1 町の処理実績

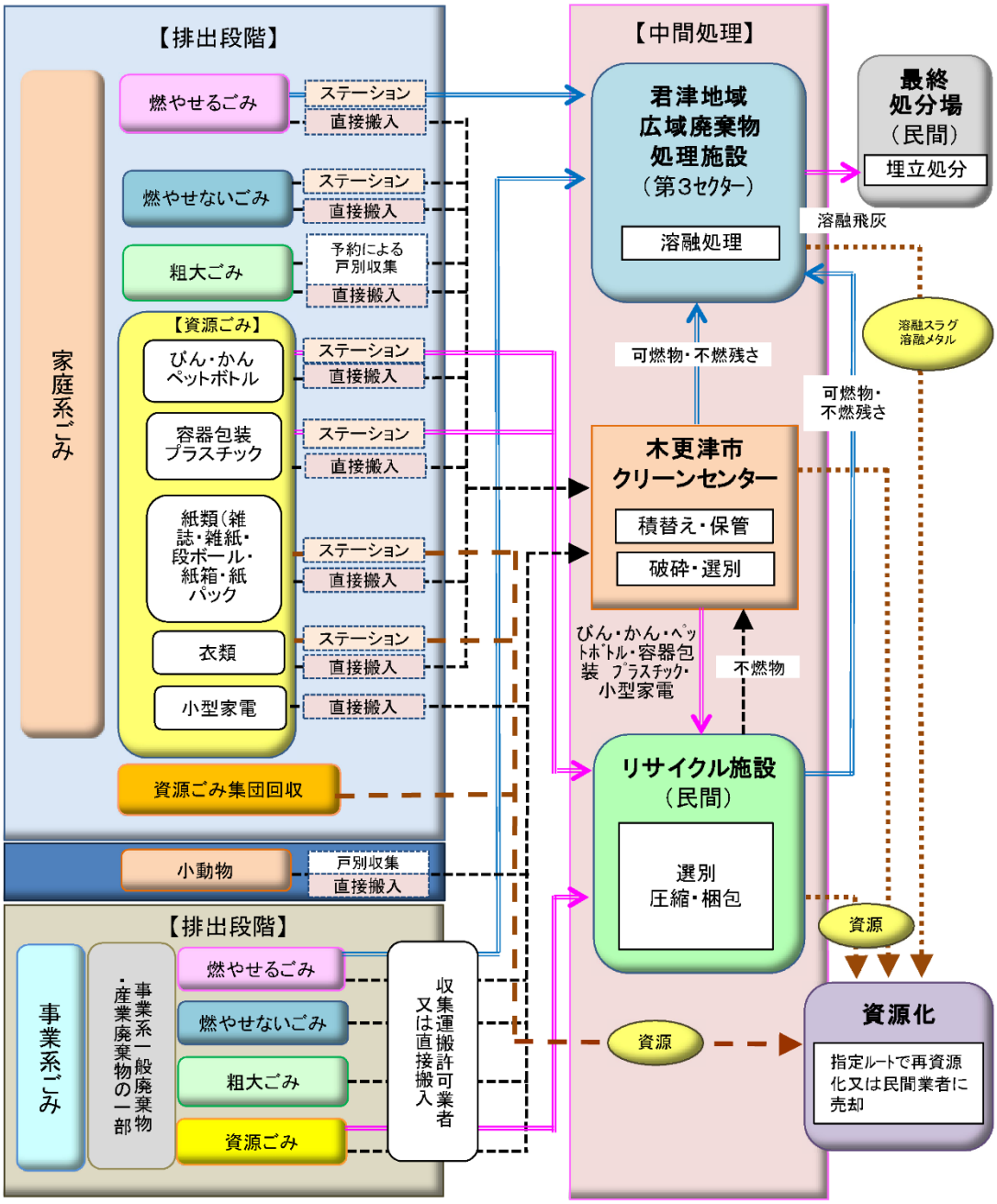
（単位：t）

項目			2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
2 市 1 町合計	焼却総量：Ⓐ		26,930	26,766	26,521	27,422	25,633
	搬出量	焼却残渣埋立量：Ⓑ	2,314	2,447	1,697	3,161	1,983
		減容率：Ⓑ/Ⓐ(%)	8.59	9.14	6.40	11.5	7.7

1.3　7 自治体におけるごみ処理フロー

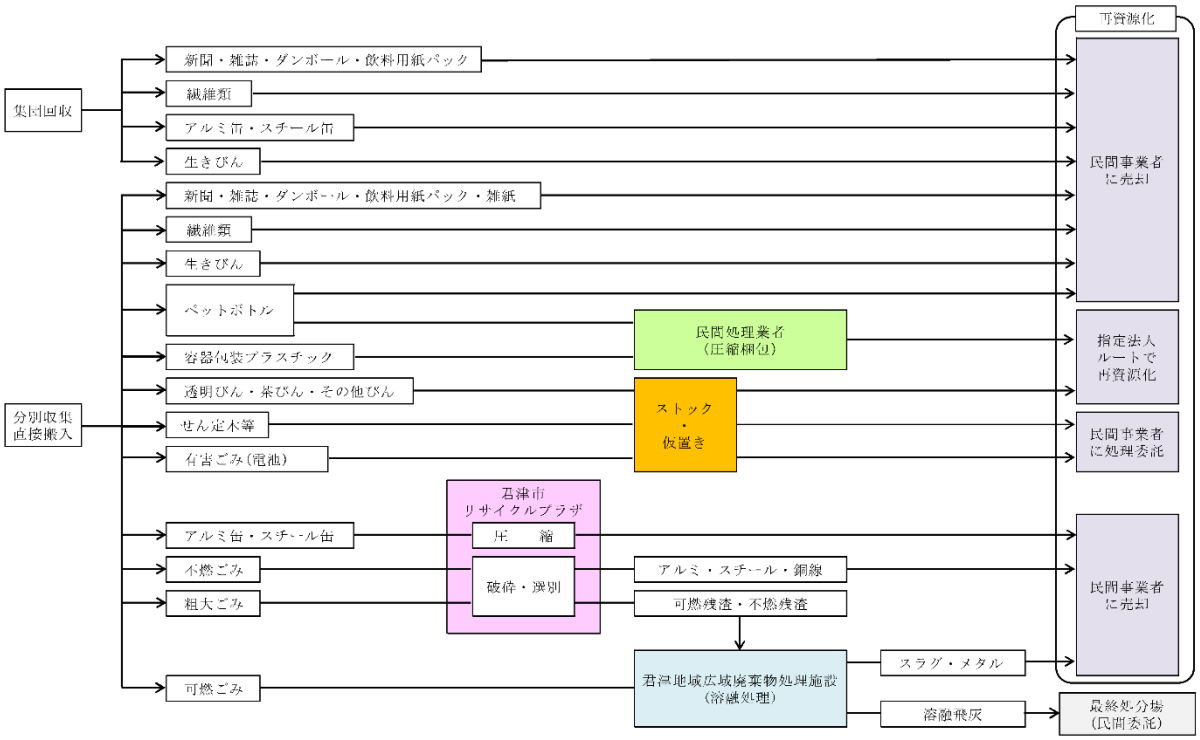
7 自治体のごみ処理フローを図 1.1～図 1.6 に示す。なお鋸南町は南房総市に含まれる。

君津地域 4 市（木更津市、君津市、富津市、袖ケ浦市）は現状のごみ処理フローと変化はほぼなく、ごみ搬入の行先が現況のかずさクリーンシステムから新設の上総安房クリーンシステムに変わることになる。安房地域 2 市 1 町（鴨川市、南房総市、鋸南町）は広域化にあたりごみ搬入の行き先が上総安房クリーンシステムになることから中継施設などを検討している。



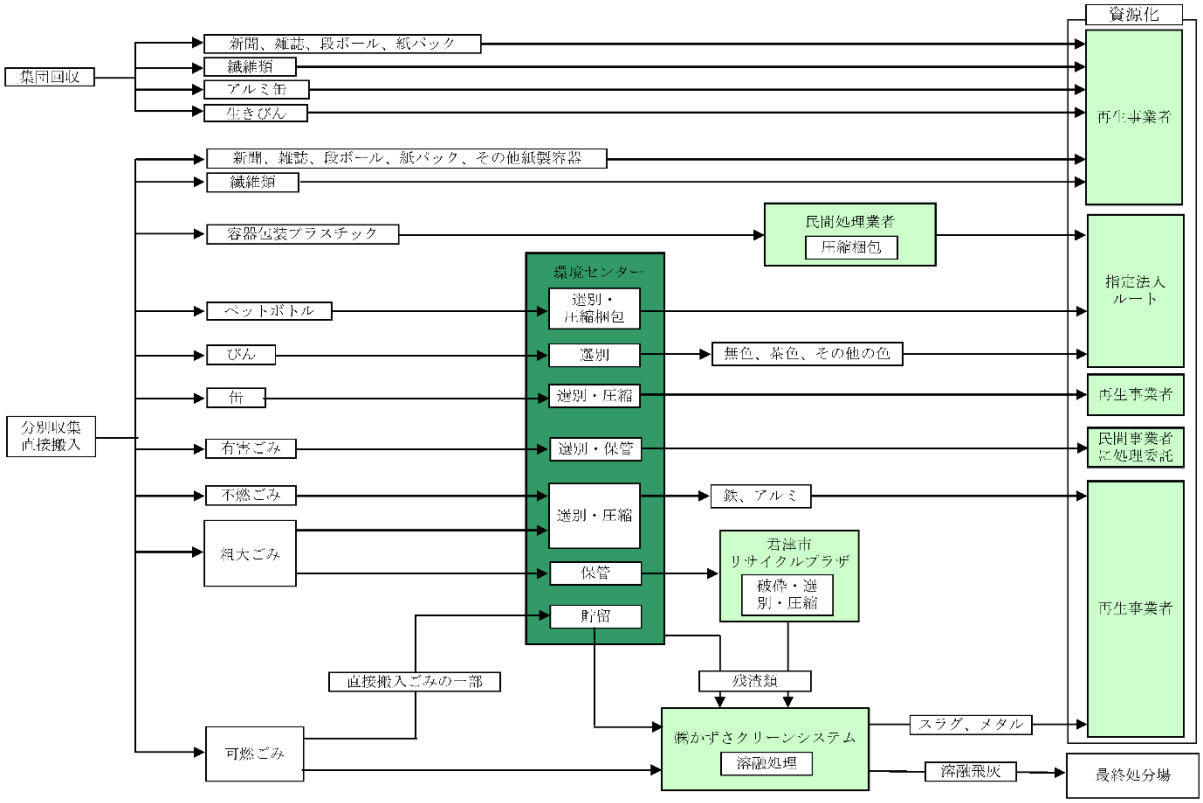
出典「木更津市一般廃棄物処理基本計画（平成 29 年 3 月）」

図 1.1　木更津市におけるごみ処理フロー図



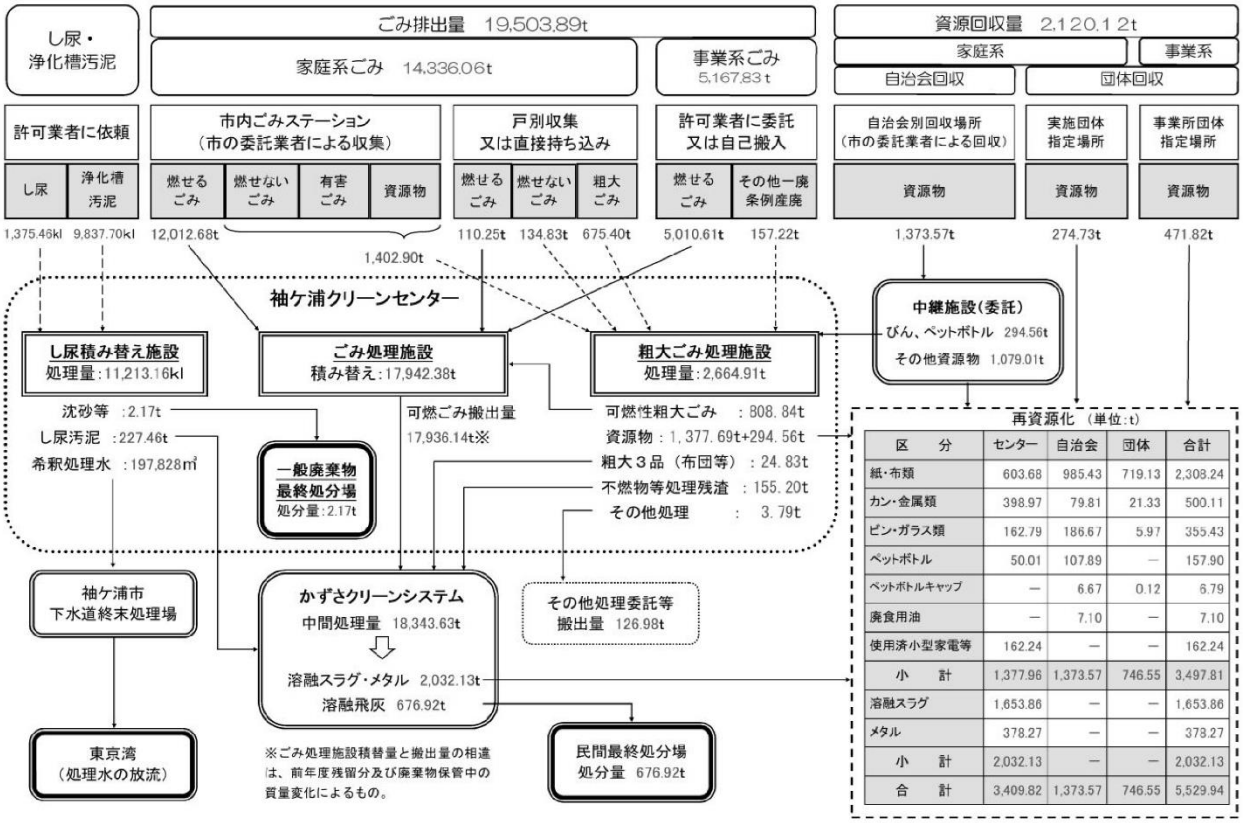
出典「君津市一般廃棄物処理基本計画（平成 31 年 3 月）」

図 1.2　君津市におけるごみ処理フロー図



出典「富津市一般廃棄物処理基本計画（平成 22 年 3 月）」

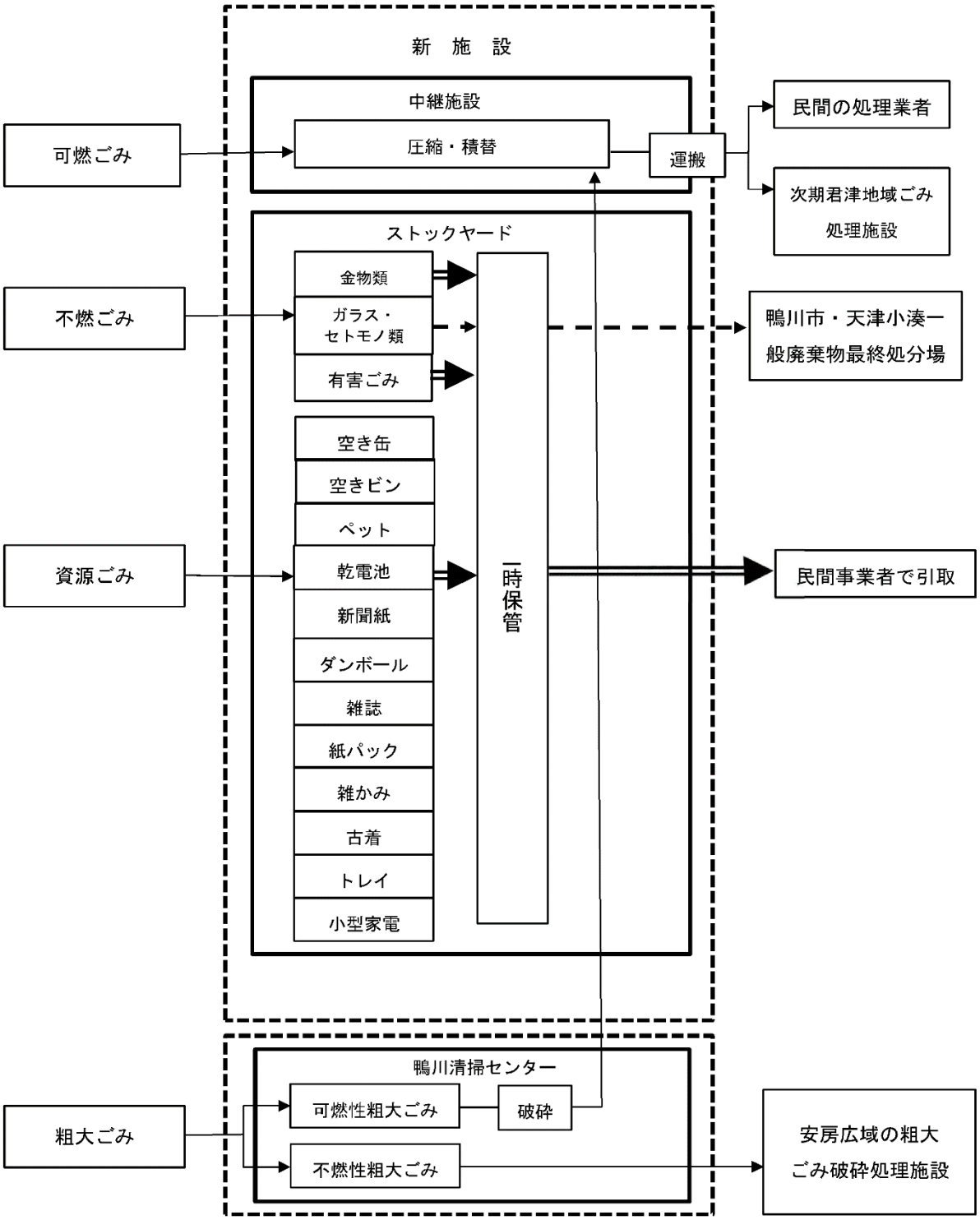
図 1.3　富津市におけるごみ処理フロー図



区分	センター	自治会	団体	合計
紙・布類	603.68	985.43	719.13	2,308.24
カン・金属類	398.97	79.81	21.33	500.11
ビン・ガラス類	162.79	186.67	5.97	355.43
ペットボトル	50.01	107.89	—	157.90
ペットボトルキャップ	—	6.67	0.12	6.79
廃食用油	—	7.10	—	7.10
使用済小型家電等	162.24	—	—	162.24
小計	1,377.96	1,373.57	746.55	3,497.81
溶融スラグ	1,653.86	—	—	1,653.86
メタル	378.27	—	—	378.27
小計	2,032.13	—	—	2,032.13
合計	3,409.82	1,373.57	746.55	5,529.94

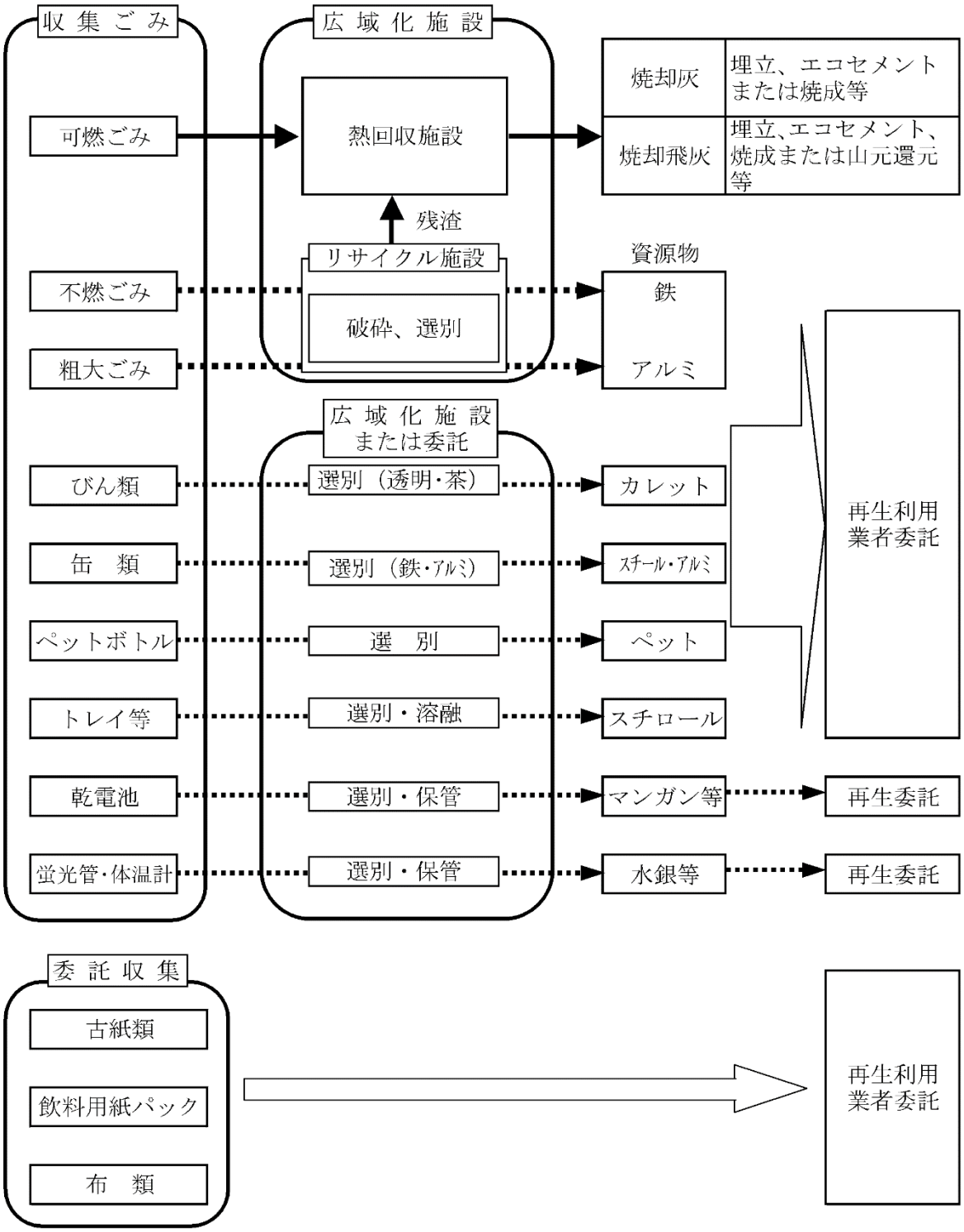
出典「袖ケ浦市一般廃棄物処理基本計画」（令和２年３月）

図 1.4　袖ケ浦市におけるごみ処理フロー図



出典「鴨川市一般廃棄物処理基本計画（令和２年３月）」

図 1.5　鴨川市におけるごみ処理フロー図

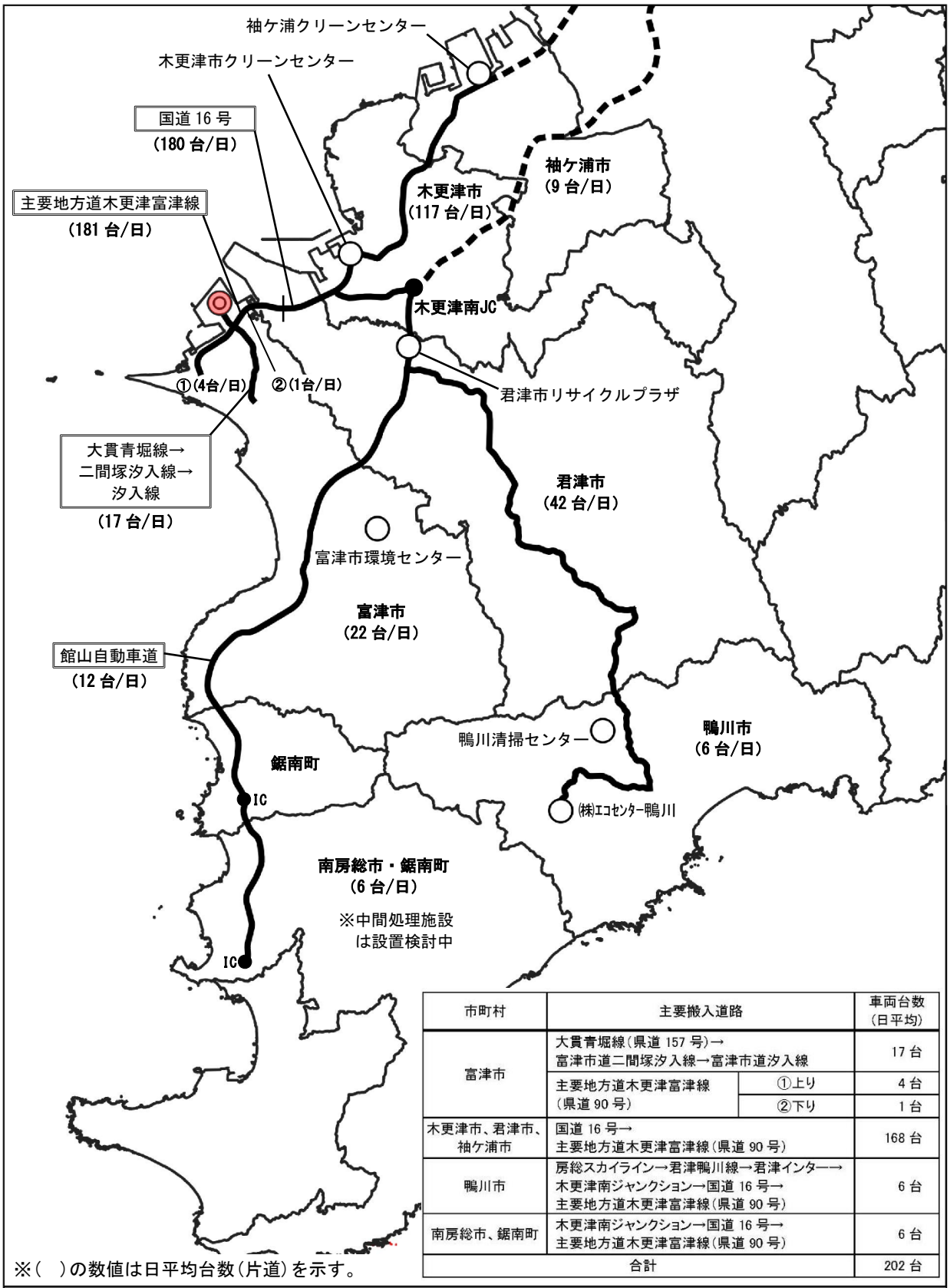


注）熱回収施設を溶融施設とした場合は、焼却灰は資源化する。

出典「南房総市一般廃棄物処理基本計画」（平成 24 年 3 月）

図 1.6　南房総市（鋸南町を含む）におけるごみ処理フロー図

1.4　各市町から本施設までの廃棄物主要搬入経路と搬入車両台数



市町村	主要搬入道路		車両台数（日平均）
富津市	大貫青堀線（県道 157 号）→ 富津市道二間塚汐入線→富津市道汐入線		17 台
	主要地方道木更津富津線 （県道 90 号）	①上り	4 台
		②下り	1 台
木更津市、君津市、袖ケ浦市	国道 16 号→ 主要地方道木更津富津線（県道 90 号）		168 台
鴨川市	房総スカイライン→君津鴨川線→君津インター→ 木更津南ジャンクション→国道 16 号→ 主要地方道木更津富津線（県道 90 号）		6 台
南房総市、鋸南町	木更津南ジャンクション→国道 16 号→ 主要地方道木更津富津線（県道 90 号）		6 台
合計			202 台

※（　）の数値は日平均台数（片道）を示す。

凡　例

対象事業実施区域　中間処理施設

市町村界　搬入ルート

0　5　10 km

N

図 1.7　廃棄物主要搬入ルートと車両台数

1.5　第１期事業及び第２期事業の施設の概要

本事業において設置する施設及び第１期事業の施設の概要は、表 1.4 に示すとおりである。

表 1.4　第１期事業及び第２期事業の施設の概要

項目				第２期事業	第１期事業	
					第 1 工場	第 2 工場
溶融施設		処理能力		486t/日 (162t/日×3炉)	200t/日 (100t/日×2炉)	250t/日 (125t/日×2 炉)
溶融施設		炉形式		シャフト炉式 ガス化溶融炉	シャフト炉式 ガス化溶融炉	シャフト炉式 ガス化溶融炉
排出ガス量		乾きガス量	最大	38,280m^3_N/h	20,260m^3_N/h	30,960m^3_N/h
排出ガス量		乾きガス量	通常	25,410m^3_N/h	18,800m^3_N/h	25,410m^3_N/h
排出ガス量		湿りガス量	最大	44,640m^3_N/h	25,130m^3_N/h	37,020m^3_N/h
排出ガス量		湿りガス量	通常	32,340m^3_N/h	23,400m^3_N/h	31,400m^3_N/h
公害防止に係る自主基準値	排出ガス濃度	ばいじん		0.01g/m^3_N以下	0.01g/m^3_N以下	0.01g/m^3_N以下
公害防止に係る自主基準値	排出ガス濃度	硫黄酸化物		20ppm 以下	20ppm 以下	20ppm 以下
公害防止に係る自主基準値	排出ガス濃度	窒素酸化物		30ppm以下	30ppm 以下	30ppm 以下
公害防止に係る自主基準値	排出ガス濃度	塩化水素		30ppm 以下	30ppm 以下	30ppm 以下
公害防止に係る自主基準値	排出ガス濃度	ダイオキシン類		0.1ng-TEQ/m^3_N以下	0.1ng-TEQ/m^3_N以下	0.1ng-TEQ/m^3_N以下
公害防止に係る自主基準値	排出ガス濃度	水銀		30μg/m^3_N以下	50μg/m^3_N以下	50μg/m^3_N以下
公害防止に係る自主基準値	騒音	朝(6 時～8 時)		65dB以下	65dB 以下	65dB 以下
公害防止に係る自主基準値	騒音	昼間(8 時～19 時)		70dB以下	70dB 以下	70dB 以下
公害防止に係る自主基準値	騒音	夕(19 時～22 時)		65dB以下	65dB 以下	65dB 以下
公害防止に係る自主基準値	騒音	夜間(22 時～6 時)		60dB以下	60dB 以下	60dB 以下
公害防止に係る自主基準値	振動	昼間(8 時～19 時)		65dB以下	65dB 以下	65dB 以下
公害防止に係る自主基準値	振動	夜間(19 時～8 時)		60dB以下	60dB 以下	60dB 以下
公害防止に係る自主基準値	悪臭	特定悪臭物質濃度	敷地境界、排出口	悪臭防止法で定める規制基準	悪臭防止法で定める規制基準	悪臭防止法で定める規制基準
公害防止に係る自主基準値	悪臭	臭気指数	敷地境界	13以下	13 以下	13 以下
公害防止に係る自主基準値	悪臭	臭気指数	排出口	33以下	33 以下	33 以下
利用余熱		発電（発電効率）		有（23%）	有（12%）	有（12%）
利用余熱		施設内電気利用		有	有	有
煙突高さ				59m	40m	40m

1.6　県内自治体の廃棄物処理施設における煙突

表1.5　過去10年以内（2011～2020年度）に竣工、または今後竣工予定の廃棄物処理施設の煙突高さ

自治体名	施設名	処理方式	施設規模			煙突高さ	竣工	
			（t/日）	1炉当たり t/日・炉	炉数（炉）	（m）	年	月
成田市・富里市	成田富里いずみ清掃工場	シャフト炉式ガス化溶融炉	212	106	2	59	2012	10
船橋市	北部清掃工場	ストーカ炉	381	127	3	80	2017	3
船橋市	南部清掃工場	ストーカ炉	339	113	3	59	2020	3
東総地区広域市町村圏事務組合	広域ごみ処理施設	シャフト炉式ガス化溶融炉	198	99	2	59	2020	3
我孫子市	可燃ごみ処理施設	ストーカ炉	120	60	2	59	2022	3
千葉市	北谷津清掃工場	シャフト炉式ガス化溶融炉	585	195	3	130	2026	3
市川市	市川市次期クリーンセンター	ストーカ炉	約440	約147	3	90	未定注)	
木更津市、君津市、富津市、袖ケ浦市、鴨川市、南房総市、鋸南町	《本計画施設》第2期君津地域広域廃棄物処理施設	シャフト炉式ガス化溶融炉	486	162	3	59	2027	3

注）2024 年度の稼働を目指していたが、2020 東京オリンピック・パラリンピックなどの影響により建設費が高騰したことなどを理由に 2018 年 11 月、事業の一旦延期を決定。

1.7　低炭素型シャフト炉の概要

低炭素型シャフト炉の概要を図 1.8 に示す。

低炭素型シャフト炉は、従来のシャフト炉式ガス化溶融炉において、ごみの乾燥・熱分解を担っている上部送風機構を改良してシャフト下部全面から均一送風を指向したものであり、シャフト部をより均一に熱ガスが通過することで炉内のごみとの熱交換率を向上させている。

従来型のシャフト炉では、羽口からの送風を炉の水平断面の中心部まで均一に通過させることは難しい場合があり、水分が残ったごみが炉下部に持ち込まれ、水分乾燥のためにコークスを多く必要とすることがあった。これに対して低炭素型シャフト炉では、シャフト下部全面からの均一送風によりごみとの熱交換効率が大きく向上している上、このエリアの燃焼温度に応じて炉下部へのごみの供給速度や送風量を適正化することができる。

これにより、ごみは十分に乾燥・熱分解された状態で炉下部に供給されるため、水分乾燥のために余剰のコークスを必要とせず、灰分の溶融のために必要な量だけのコークスがあれば良い。

炉下部においてごみの灰分は完全溶融され、従来型シャフト炉と同様、高い品質のスラグ・メタルが排出される。低炭素型シャフト炉では、破砕・選別などの前処理が不要で多様なごみ質に対応し、かつ、再利用可能なスラグ・ メタルを得ることができる従来型シャフト炉の特徴を維持しながら、大幅なコークス比の削減を実現している。

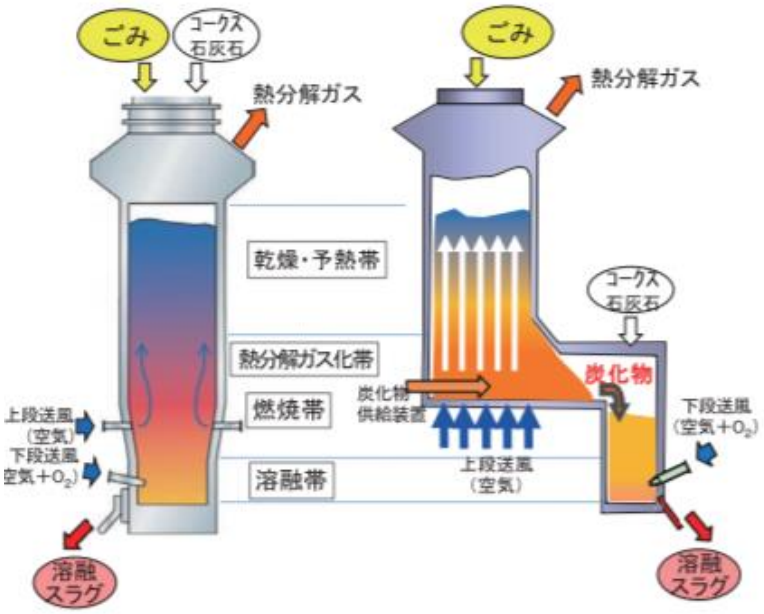


図 1.8　低炭素型シャフト炉の概要

1.8　かずさクリーンシステム等のごみ質分析結果

表 1.6　ごみ質分析結果

株式会社かずさクリーンシステムごみ質分析結果

			H26年度				H27年度				H28年度				H29年度			
			6/11	9/4	12/10	3/5	6/4	9/2	12/2	3/5	6/11	9/11	12/11	3/10	6/16	9/14	12/20	3/22
ごみ質（湿%）	水　分	（湿%）	51.9	44.4	51.1	39.3	43.7	39.9	50.8	40.2	33.7	44.1	42.9	30.5	42.5	38.2	34.0	44.0
	可燃分	（湿%）	40.8	47.1	41.2	55.0	49.8	52.7	45.1	51.8	57.3	49.9	51.7	56.7	49.5	53.5	54.5	51.0
	灰　分	（湿%）	7.3	8.5	7.7	5.7	6.5	7.4	4.1	8.0	9.0	6.0	5.4	12.8	8.0	8.3	11.5	5.0
	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ごみ組成（乾%）	紙･布類	（乾%）	32.4	36.8	45.8	40.8	47.9	39.6	32.4	64.1	62.4	46.6	53.7	33.9	39.3	39.0	64.2	50.1
	ﾋﾞﾆｰﾙ他	（乾%）	22.3	27.0	22.5	38.7	28.9	45.4	40.2	21.3	21.8	26.4	31.9	29.3	30.1	42.3	22.4	31.4
	木竹ワラ	（乾%）	15.1	10.4	10.9	7.9	12.5	1.9	13.6	0.9	4.6	20.0	0.5	6.7	12.4	9.3	2.7	7.0
	厨芥類	（乾%）	13.3	10.0	7.6	7.9	4.0	10.8	8.1	8.4	1.8	0.9	7.7	15.5	5.5	1.6	3.8	10.7
	不燃物	（乾%）	2.8	4.0	3.3	1.6	2.2	0.6	1.5	3.6	2.7	1.3	2.9	14.0	7.0	1.0	3.2	0.8
	その他	（乾%）	14.1	11.8	9.9	3.1	4.5	1.7	4.2	1.7	6.7	4.8	3.3	0.6	5.7	6.8	3.7	0.0
	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
可燃分元素組成（湿%）	C	（湿%）	22.7	27.1	23.7	32.6	26.8	34.6	28.4	24.7	28.4	27.9	31.8	31.9	30.9	31.4	30.1	28.6
	O	（湿%）	13.6	14.6	13.0	15.4	17.0	11.0	10.1	22.8	24.2	15.8	13.4	19.3	11.9	17.9	18.9	16.3
	H	（湿%）	3.88	4.92	4.27	6.09	5.58	6.46	6.18	3.4	4.10	5.90	6.18	5.0	6.15	3.52	5.12	5.8
	N	（湿%）	0.56	0.31	0.23	0.40	0.29	0.54	0.19	0.41	0.28	0.23	0.22	0.36	0.50	0.54	0.38	0.22
	S	（湿%）	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	Cl	（湿%）	0.11	0.17	0.04	0.48	0.12	0.13	0.19	0.44	0.32	0.08	0.12	0.10	0.09	0.13	0.03	0.10
	計		40.9	47.1	41.2	55.0	49.8	52.7	45.1	51.8	57.3	49.9	51.7	56.7	49.6	53.5	54.5	51.0
発熱量	（実測）	Kcal/kg	1,860	2,260	1,790	3,070	2,540	2,210	2,190	2,050	2,400	2,350	2,600	2,540	2,510	2,420	2,400	2,350
	（計算）	Kcal/kg	1,520	1,850	1,550	2,240	1,980	2,130	1,720	2,090	2,380	1,980	2,070	2,370	1,970	2,180	2,250	2,030
嵩比重		Kg/m^3	161	128	171	67	124	79	173	117	147	173	94	150	122	115	73	160
逆算灰分割合		（湿%）	12.1				9.8				13.5				11.2			

鴨川市ごみ質分析結果

			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
ごみ質（湿%）	水　分	（湿%）	41.9	45.6	38.0	50.2
	可燃分	（湿%）	45.5	46.1	49.5	42.9
	灰　分	（湿%）	12.6	8.3	12.5	6.9
	計		100.0	100.0	100.0	100.0

鋸南地区組合（南房総市、鋸南町）ごみ質分析結果

			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
ごみ質（湿%）	水　分	（湿%）	52.6	52.0	59.1	50.8
	可燃分	（湿%）	40.5	41.5	35.2	42.9
	灰　分	（湿%）	6.9	6.5	5.7	6.3
	計		100.0	100.0	100.0	100.0

1.9　事故又は災害等の不測の事態が発生し、燃焼室が停止した場合の処理フロー

ガス化溶融炉：①③炉内に不活性ガス（窒素ガス）を充填して熱分解反応及びコークス燃焼を停止
　　②④押込送風機を停止し炉内への空気と酸素の供給を停止
共　通　系　：⑤非常給水装置を作動し、各機器を冷却
燃　焼　室　：⑥燃焼室へ空気を供給して燃焼室内を空気置換パージ
　　⑦燃焼室への燃料供給を停止

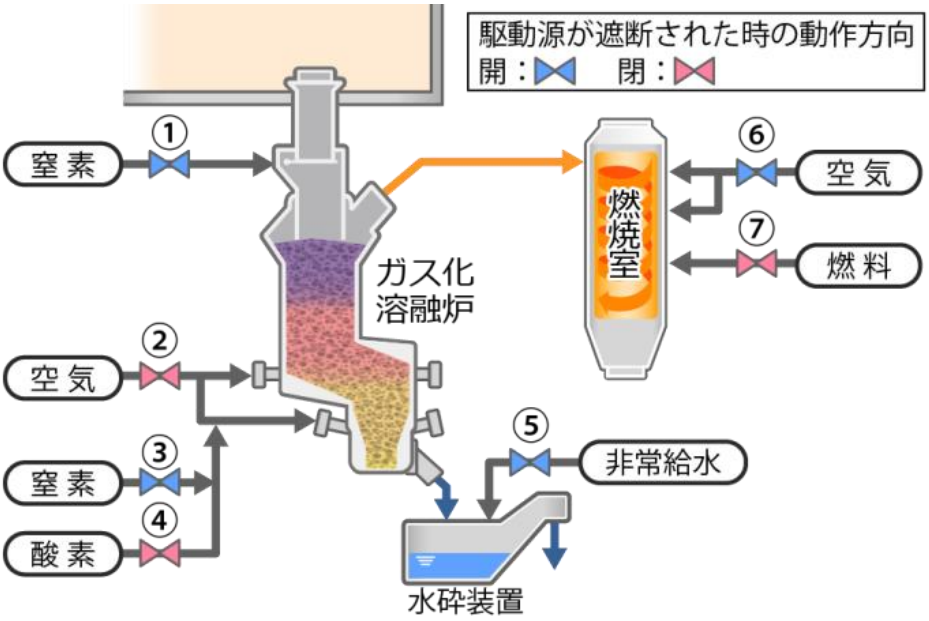


図 1.9　燃焼室が停止した場合の処理フロー

1.10　予測対象時期の選定根拠

1.10.1　建設機械の稼働に係る騒音・振動の予測対象時期の選定根拠

予測対象時期の選定にあたっては、各時期で使用される建設機械台数、稼働重機の合成騒音レベル、または、合成振動レベルをもとに他時期と比較して高い値となった時期を検討ケースとし、検討ケース毎に想定される重機配置をもとに予測計算を行った。

各時期の建設機械の種類、台数、合成騒音レベル、合成振動レベルは表 1.7～表 1.8 に示すとおりである。

騒音においては、8 ヶ月目、9 ヶ月目、11 ヶ月目及び 12 ヶ月目が他時期と比較して稼働重機台数が多く、合成騒音レベルが高くなり、予測計算の結果、9 ヶ月目が敷地境界において騒音レベルが最大となった。

振動においては、8 ヶ月目及び 35 ヶ月目（35 ヶ月目から 37 ヶ月目の重機の種類、台数は同様とした）が他時期と比較して稼働重機台数が多く、合成振動レベルが高くなり、予測計算の結果、35 ヶ月目が敷地境界において振動レベルが最大となった。

1.10.2　工事用車両の走行に係る大気質・騒音・振動の予測対象時期の選定根拠

予測対象時期の選定にあたっては、工事用車両の交通量が多い時期の内、影響の大きい大型車の交通量が多くなる時期を騒音・振動の予測対象時期とした。また、大気質については、1 年間の大型車交通量が最大となる期間を予測対象時期とした。

各時期の工事用車両の種類、台数は表 1.9～表 1.10 に示すとおりである。

表 1.7　建設機械の種類及び１日当たりの稼働台数

工事開始からの月数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
工事工程	準備・整地工事																						
	建築工事																						
	プラント工事																						
	外構・植栽工事																						
試運転																							

建設機械稼働台数	種類	①	②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	杭打機	112	62	1	1				3	3	3	1													
	バックホウ（0.7～1.2 ㎥）	118	69	1	1	1	1	1	4	6	10	8	6	6	4	4	2		1	1	1	1		2	
	クローラクレーン（90～150t）	101	－						3	4	4	3													
	クローラクレーン（200～450t）	101	－									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3
	ラフタークレーン（25～80t）	117	－	1	1	1	1	1				2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	3
	コンクリートポンプ車	110	－								1	1	3	3	4	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2
	コンクリートミキサー車	110	－								2	2	2	12	16	8	8	6	6	6	2	6	6	6	6
	タイヤローラー（8～20t）	104	55	1	1	1	1	1																	
	マカダムローラー	104	62	1	1	1	1	1																	
	アスファルトフィニッシャー（4.5m）	111	63																						
	ブルドーザ	106	72																						
騒音発生源となる建設機械合計台数（台）				5	5	4	4	4	10	13	20	18	14	25	28	18	16	11	12	12	7	14	13	15	14
騒音レベル合成値（dB）				121	121	121	121	121	125	126	129	128	127	128	128	127	126	123	124	124	123	124	123	125	124
振動発生源となる建設機械合計台数（台）				4	4	3	3	3	7	9	13	9	6	6	4	4	2	0	1	1	1	1	0	2	0
振動レベル合成値（dB）				71	71	70	70	70	76	77	79	78	77	77	75	75	72	－	69	69	69	69	－	72	－

①騒音パワーレベル

②機側 7mにおける振動レベル予測値

注 1) □ は建設機械の合計台数、騒音レベル合成値が他時期と比較して高い時期で、建設機械の稼働による騒音予測の検討ケースを示す。

注 2) ▒ は建設機械の合計台数、振動レベル合成値が他時期と比較して高い時期で、建設機械の稼働による振動予測の検討ケースを示す。

注 3) 建設機械の稼働による降下ばいじん量予測の検討ケースは、掘削土砂工事を対象とし、工事開始後 6 ヶ月以降の 1 年間とした。

表 1.8　建設機械の種類及び１日当たりの稼働台数

工事開始からの月数		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
工事工程	準備・整地工事																				
	建築工事	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―				―				
	プラント工事	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―			―					
	外構・植栽工事												―				―	―	―		
試運転														―	―	―				―	―

	種類	①	②	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
①	杭打機	112	65																				
	バックホウ（0.7～1.2 ㎥）	118	72						2	2		2		1	1	2	2	2	1	1	1		
	クローラクレーン（90～150t）	101	―																				
	クローラクレーン（200～450t）	101	―	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	2	2								
	ラフタークレーン（25～80t）	117	―	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	1	1	1					
	コンクリートポンプ車	110	―	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1								
	コンクリートミキサー車	110	―	6	6	6	6	6	6	6	6	2	2	2	2								
	タイヤローラー（8～20t）	104	70												1	4	4	4	2	2	2		
	マカダムローラー	104	77												1	2	2	2	1	1	1		
	アスファルトフィニッシャー(4.5m)	111	62												1	2	2	2	1	1	1		
	ブルドーザ	106	75												1	2	2	2	1	1	1		
騒音発生源となる建設機械合計台数（台）				16	15	15	16	16	18	18	16	13	11	10	14	13	13	13	6	6	6		
騒音レベル合成値（dB）				125	124	124	124	124	126	126	124	125	123	125	125	124	124	124	119	119	119	―	―
振動発生源となる建設機械合計台数（台）				0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	1	5	12	12	12	6	6	6		
振動レベル合成値（dB）				―	―	―	―	―	72	72	―	72	―	69	74	77	77	77	74	74	74		

①騒音パワーレベル

②機側 7mにおける振動レベル予測値

注1）□は建設機械の合計台数、騒音レベル合成値が他時期と比較して高い時期で、建設機械の稼働による騒音予測の検討ケースを示す。

注2）▒は建設機械の合計台数、振動レベル合成値が他時期と比較して高い時期で、建設機械の稼働による振動予測の検討ケースを示す。

表 1.9　工事用車両の種類及び１日当たりの台数

工事開始からの月数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
工事工程	準備・整地工事																						
	建築工事																						
	プラント工事																						
	外構・植栽工事																						
試運転																							
大型車（片道）	台/日（ピーク日）	25	25	20	20	20	40	50	130	130	150	250	250	50	20	120	220	220	225	85	90	100	100
	月間台数	440	440	440	440	440	880	1100	2860	2860	3300	3300	1980	660	440	2640	4840	4840	4150	1782	1870	2090	2090
小型車（片道）	台/日（ピーク日）	15	15	13	13	13	25	32	37	25	40	50	80	80	120	120	120	120	60	80	80	82	101
	月間台数	286	286	286	286	286	330	484	594	330	660	660	660	660	660	660	660	660	966	1274	1692	1802	2220
大型車交通量(百台/年)(当該月からの１年間値)		185	187	209	209	253	297	330	337	327	319	307	306	306	328	347	345	317	290	268	259	249	246

注1)　は大型車交通量が最大となる時期で、工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動の予測対象時期を示す。

注2)　は当該月からの１年間の大型車交通量が最大となる時期で、当該月からの１年間を工事用車両の走行による沿道大気質の予測対象時期とした。

表 1.10　工事用車両の種類及び１日当たりの台数

工事開始からの月数		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
工事工程	準備・整地工事																				
	建築工事																				
	プラント工事																				
	外構・植栽工事																				
試運転																					
大型車（片道）	台/日（ピーク日）	155	95	135	120	120	100	110	100	50	50	90	110	60	60	60	28	28	28	15	15
	月間台数	3256	1936	2816	2420	2420	1980	2200	1980	880	880	1760	2200	1210	1210	1210	506	506	506	242	242
小型車（片道）	台/日（ピーク日）	138	138	132	151	156	170	250	276	343	335	333	295	214	184	163	65	65	61	61	54
	月間台数	3043	3043	2911	3329	3425	3747	5500	6079	7553	7370	7326	6483	4702	4057	3595	1425	1425	1337	1337	1190
大型車交通量（百台/年）（当該月からの１年間値）		247	227	220	204	184	165	150	131	114	105	96	78	56	44	32	20	15	10	5	2

注1）□は大型車交通量が最大となる時期で、工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動の予測対象時期を示す。

注2）■は当該月からの１年間の大型車交通量が最大となる時期で、当該月からの１年間を工事用車両の走行による沿道大気質の予測対象時期とした。

1.11　予測に用いた主要設備機器の配置

1.11.1　騒音発生機器

図 1.10　主要設備機器配置図〔1 階〕

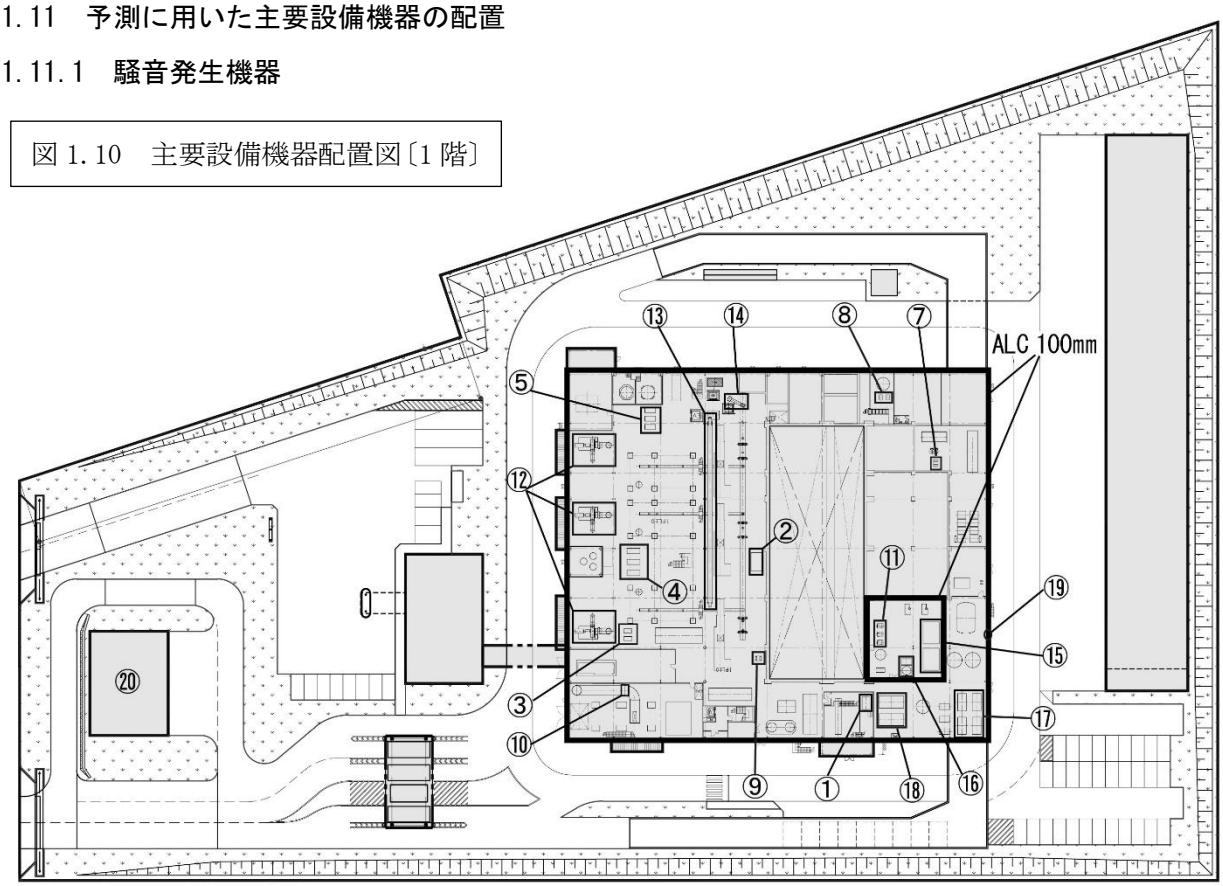


図 1.11　主要設備機器配置図〔2 階〕

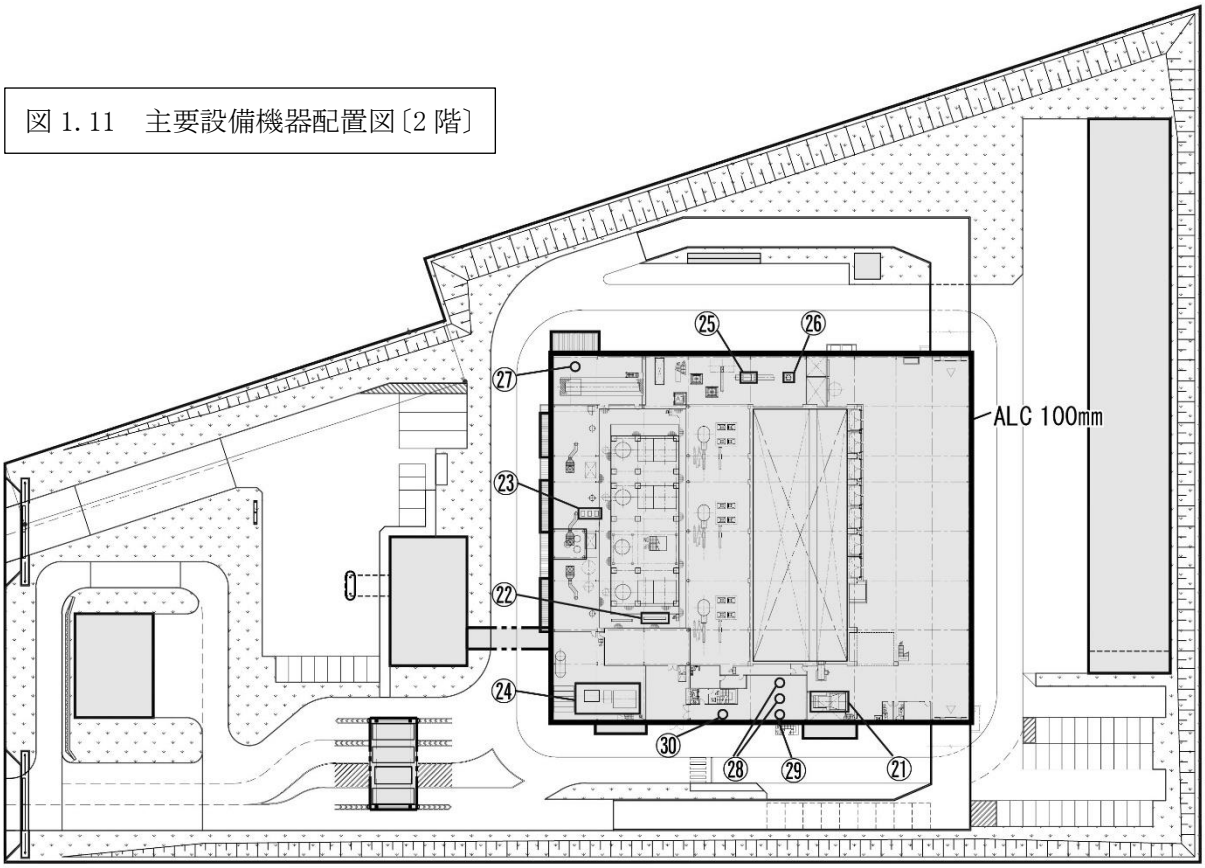


図 1.13　主要設備機器配置図〔3 階〕

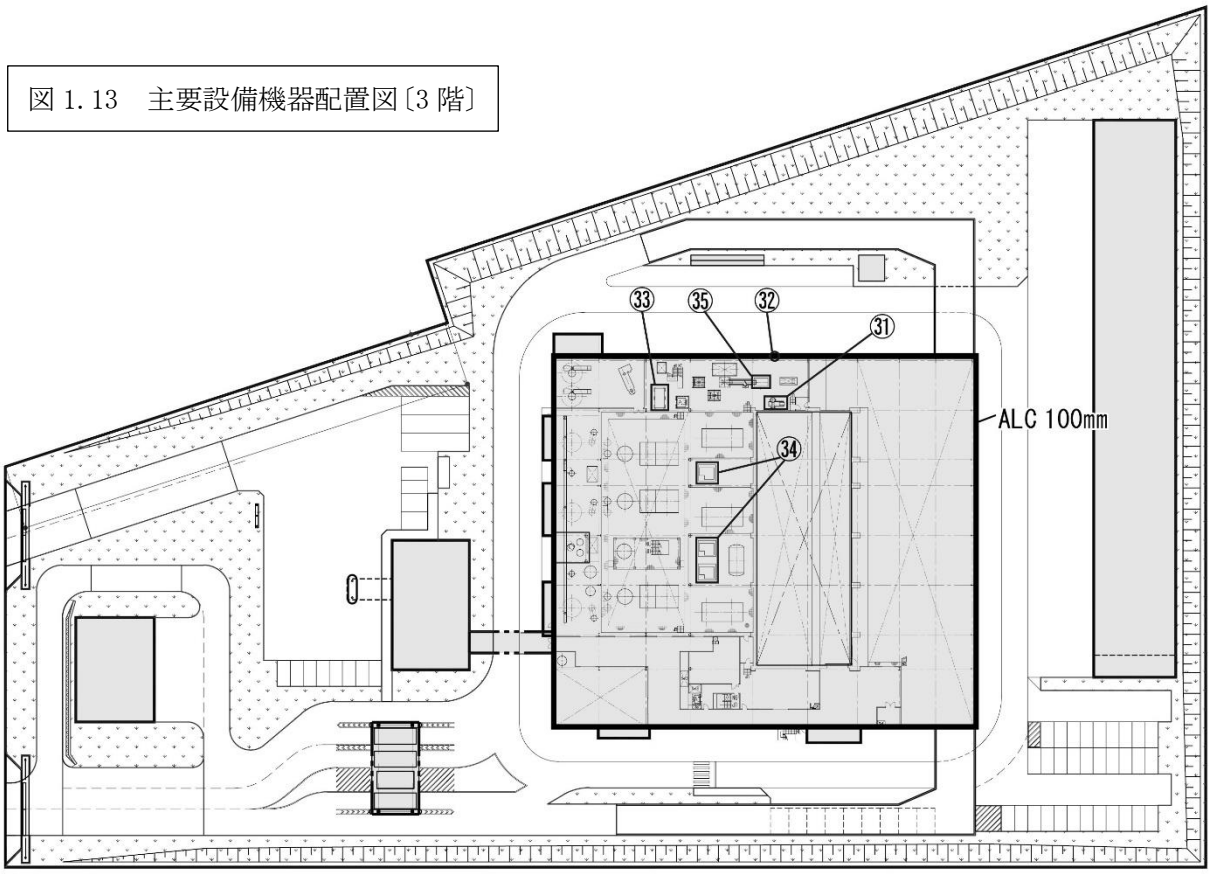


図 1.12　主要設備機器配置図〔4 階〕

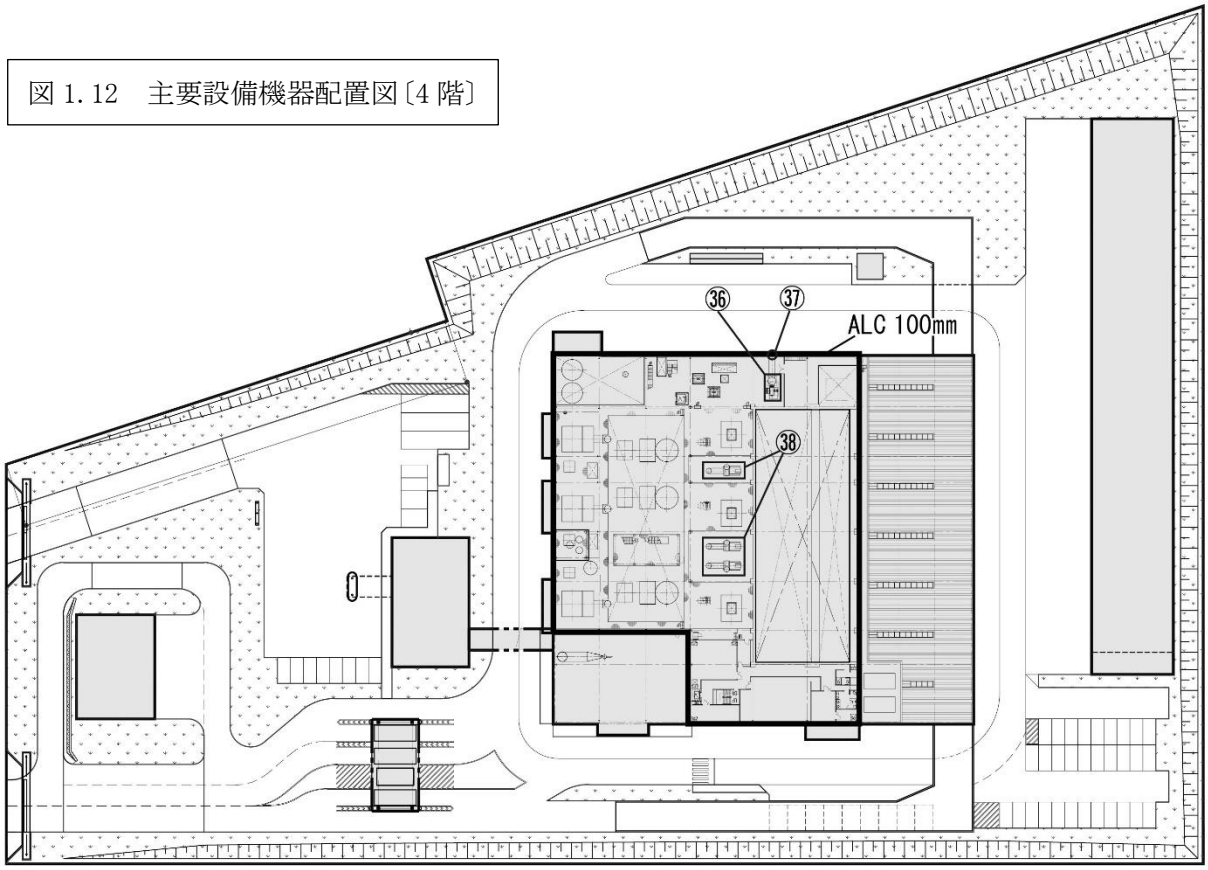


図 1.15　主要設備機器配置図〔5 階〕

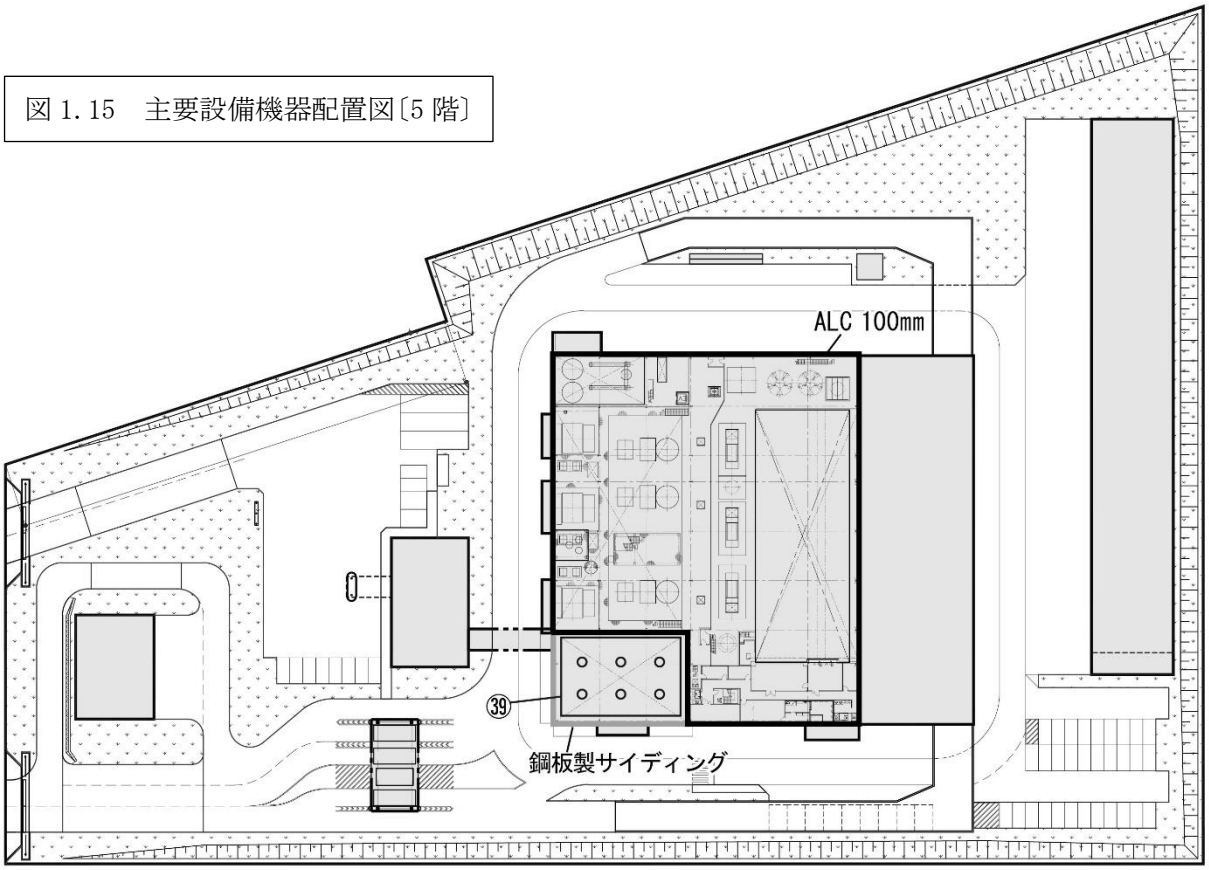


図 1.14　主要設備機器配置図　クレーンデッキ階

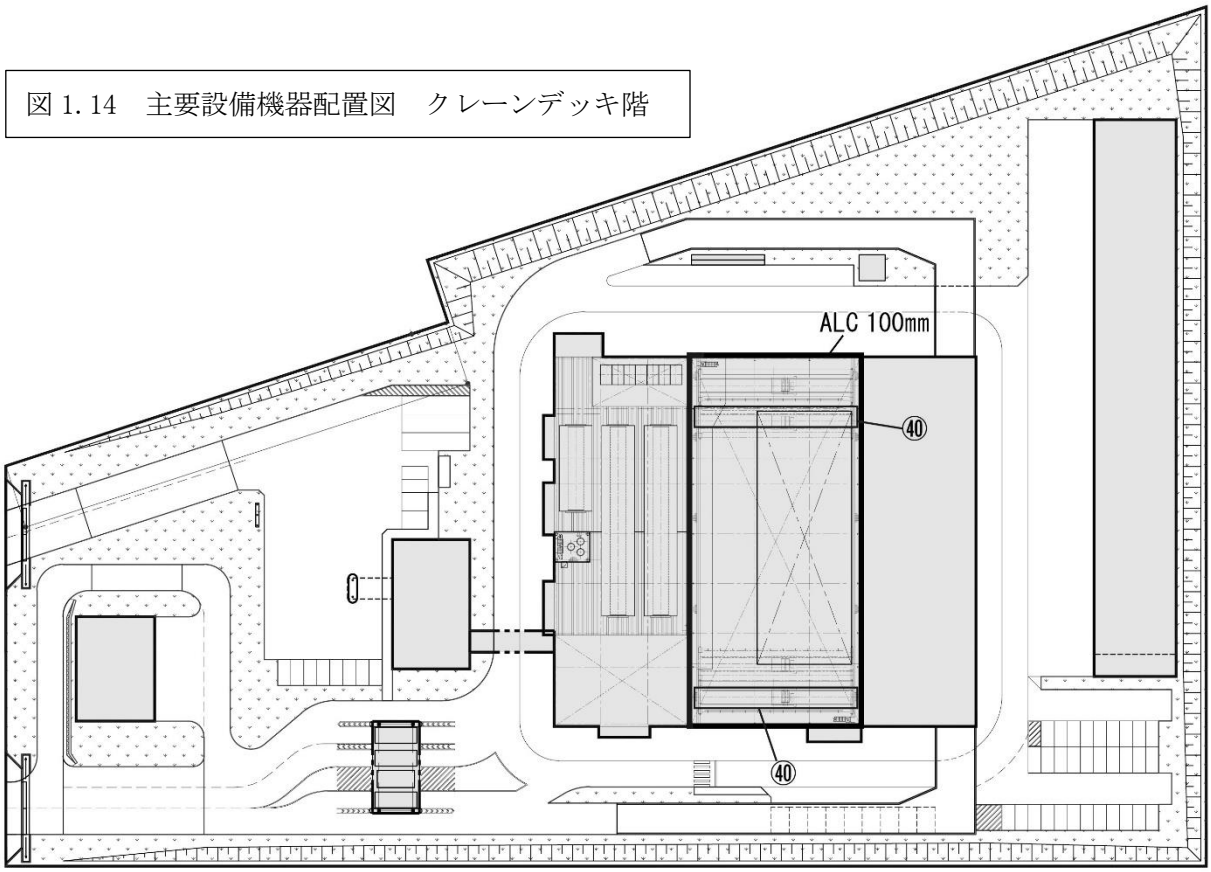
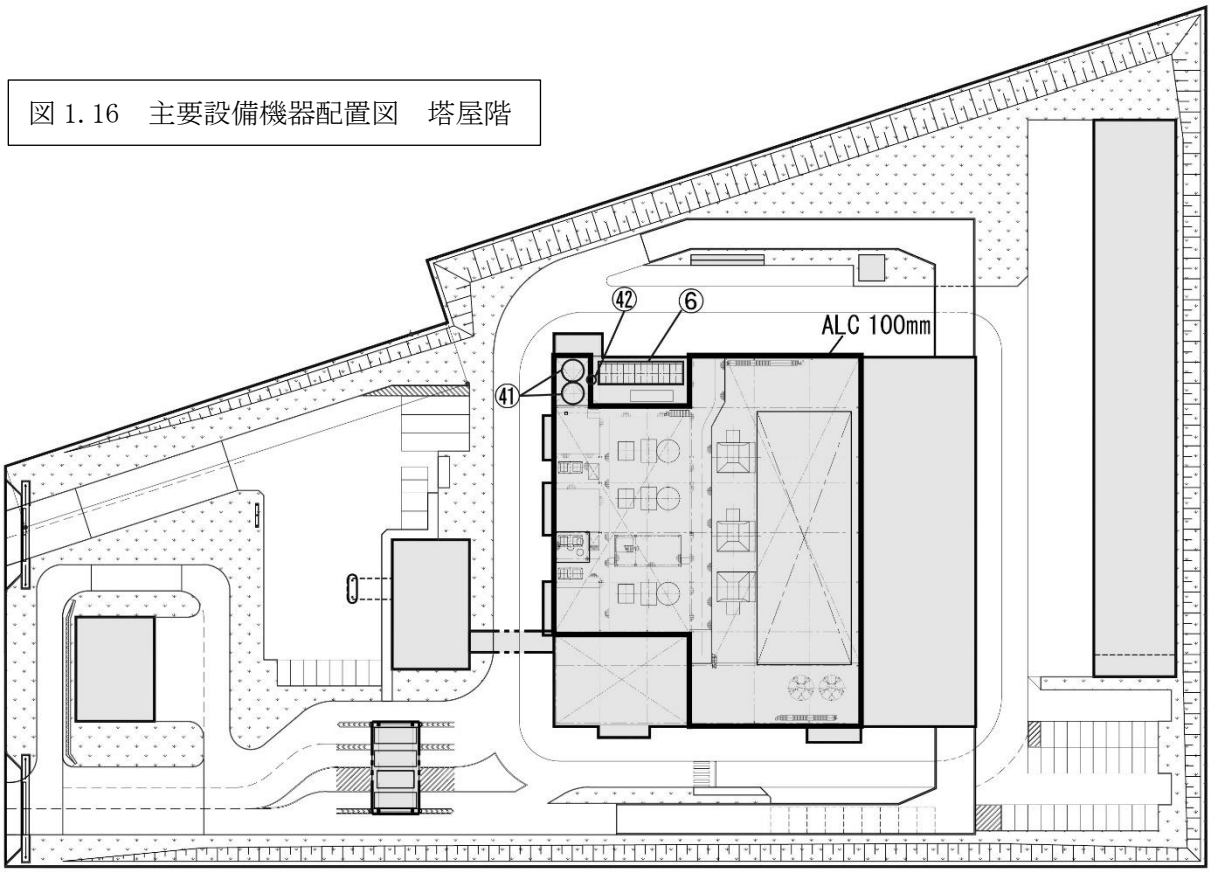
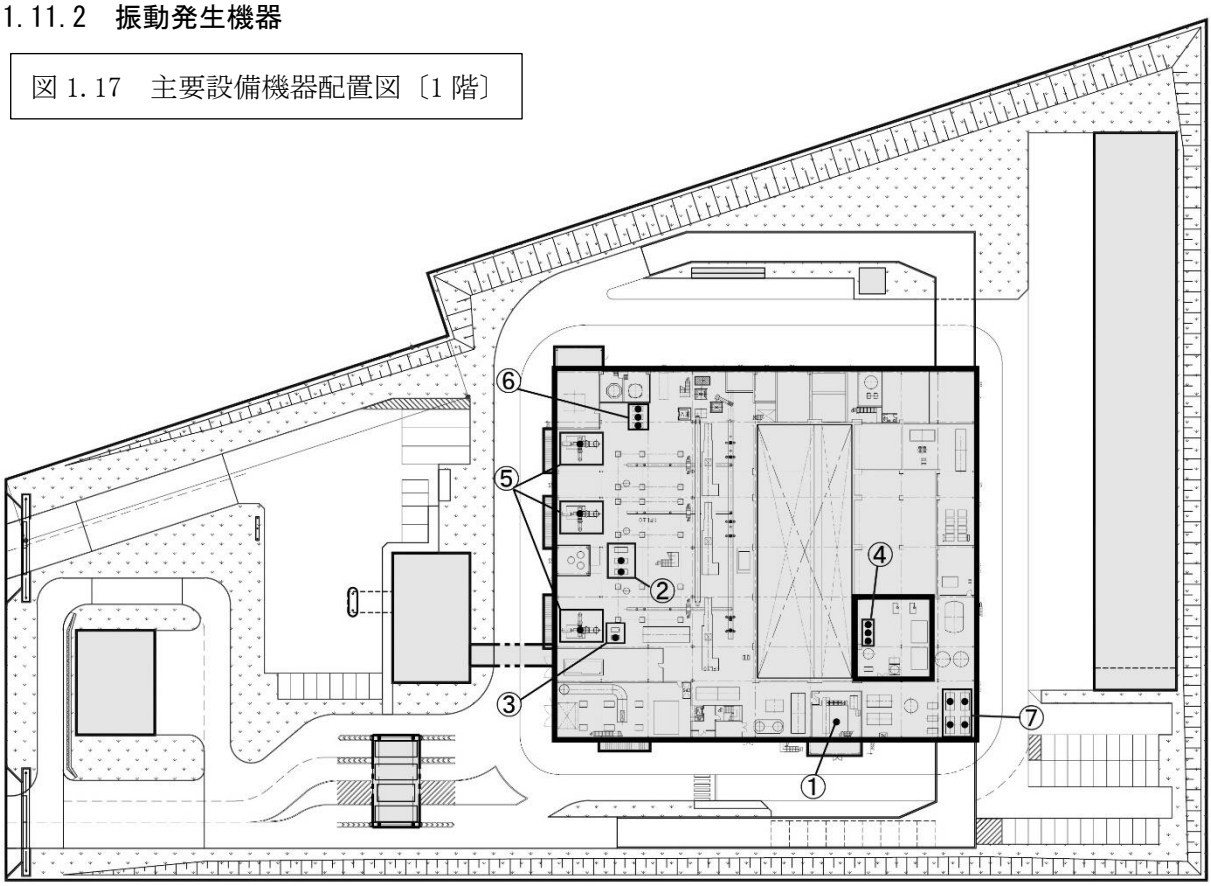


図 1.16　主要設備機器配置図　塔屋階



1.11.2　振動発生機器

図 1.17　主要設備機器配置図〔1 階〕



1.12　廃棄物処理施設の稼働による大気質の予測結果（煙突高さ 59mと 100mの場合）

1.12.1　年平均値

煙突高さ 59mと 100mの場合の廃棄物処理施設の稼働による大気質の予測結果は、表 1.11 に示すとおりである。

煙突排ガスの最大着地濃度地点の環境濃度（年平均値）は、二酸化硫黄が 0.00204～0.00211ppm（寄与率 2.0～5.2%）、二酸化窒素が 0.1006～0.01016ppm（寄与率 0.6～1.6%）、浮遊粒子状物質が 0.02002～0.02005mg/m³（寄与率 0.1～0.2%）、水銀が 2.357～2.458ngHg/m³（寄与率 2.4～6.4%）、ダイオキシン類が 0.01319～0.01353pg-TEQ/m³（寄与率 1.4～3.9%）であった。

また、水銀については、環境濃度が 2.357～2.458ngHg/m³であり、いずれの場合も指針値（環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針値である年平均値が 40ngHg/m³以下）を満足する。ダイオキシン類についても、環境濃度が 0.01319～0.01353pg-TEQ/m³であり、いずれの場合も環境基準（年平均値が 0.6pg-TEQ/m³以下）を満足する。

1.12.2　日平均値の 2%除外値又は年間 98%値

二酸化硫黄及び浮遊粒子状物質の日平均値の 2%除外値、二酸化窒素の日平均値の年間 98%値の予測結果は、表 1.11 に示すとおりである。

二酸化硫黄の日平均値の 2%除外値は 0.0067～0.0068ppm、二酸化窒素の日平均値の年間 98%値は 0.026ppm、浮遊粒子状物質の日平均値の 2%除外値は 0.0045mg/m³であり、いずれの場合も環境基準及び千葉県環境目標値を満足する。

表 1.11　廃棄物処理施設の稼働による大気質の予測結果（年平均値ほか、最大着地濃度地点）

項目	煙突高さ（m）	寄与濃度 (A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度年平均値 (C=A+B)	寄与率(%) (A/C×100)	日平均値の2%除外値又は年間 98%値	環境基準等（長期的評価）
二酸化硫黄 (ppm)	59	0.00011	0.002	0.00211	5.2	0.0068	(環境基準) 0.04 以下
	100	0.00004		0.00204	2.0	0.0067	
二酸化窒素 (ppm)	59	0.00016	0.010	0.01016	1.6	0.026	(環境基準) 0.06 以下 (千葉県環境目標値) 0.04 以下
	100	0.00006		0.01006	0.6	0.026	
浮遊粒子状物質 (mg/m³)	59	0.00005	0.020	0.02005	0.2	0.045	(環境基準) 0.10 以下
	100	0.00002		0.02002	0.1	0.045	
水銀 (ngHg/m³)	59	0.158	2.3	2.458	6.4	－	(指針値) 年平均値で 40
	100	0.057		2.357	2.4	－	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m³)	59	0.00053	0.013	0.01353	3.9	－	(環境基準) 年平均値で 0.6
	100	0.00019		0.01319	1.4	－	

注）煙突高さ 59mにおける最大着地濃度地点の出現距離は 1.3km、100mでは 1.6km、出現方向はいずれも南南西である。

1.13　廃棄物処理施設からの大気汚染物質排出量等の比較

廃棄物処理施設からの大気汚染物質排出量（窒素酸化物の場合）、施設の稼働による二酸化窒素寄与濃度等は、表 1.12 に示すとおりである。

本施設の大気汚染物質排出量（窒素酸化物排出量）は自主基準値を可能な限り低く抑えることにより3.45㎥N/h、二酸化窒素の寄与濃度は年平均値（最大着地濃度地点）で0.00016ppmであり、一方、近年竣工または竣工予定で煙突高さが同様の59mの施設は3施設あり、排出量は1.17㎥N/h～5.70㎥N/h、二酸化窒素の寄与濃度は0.000037ppm～0.000192ppmとなっている。

本施設は、これら施設と比較し、排出量の規模、環境影響で見た場合、概ね同程度となっている。

また、本施設と処理能力が近い千葉市と市川市の施設の環境影響を見ると、二酸化窒素の寄与濃度で 0.000015ppm～0.00091ppm（市川市の場合は、窒素酸化物濃度）であり、概ね同程度となっている。

表 1.12　廃棄物処理施設からの大気汚染物質排出量（窒素酸化物）、二酸化窒素寄与濃度等の比較
（2020 年以降、県内自治体における竣工及び竣工予定の施設を対象）

施設名	施設規模（t/d・炉）	乾き排出ガス量最大値（㎥N/h）	炉数	窒素酸化物自主基準値（ppm）	窒素酸化物排出総量（㎥N/h）	煙突高さ（m）	二酸化窒素注1) 寄与濃度年平均値（ppm）	二酸化窒素注1) 環境濃度年平均値（ppm）
第２期君津地域広域廃棄物処理事業	162	38,280	3	30	3.45	59	0.00016	0.01016
船橋南部清掃工場	113	30,750	3	50	4.61	59	0.000046	0.018046
東総地区広域ごみ処理施設	99	19,500	2	30	1.17	59	0.000037	0.005037
我孫子市クリーンセンター	60	19,000	2	150	5.70	59	0.000192	0.012192
千葉市北谷津清掃工場	195	33,970	3	30	3.06	130	0.000015	0.008015
市川市次期クリーン注2) センター	147	36,000	3	90	9.72	90	0.00091	0.0170

注 1）二酸化窒素の寄与濃度、環境濃度は、最大着地濃度地点の値
注 2）市川市次期クリーンセンターの寄与濃度は、窒素酸化物の値
注 3）比較した大気汚染物質として、排出量は窒素酸化物、寄与濃度等は二酸化窒素とした理由は以下のとおり。
・排出総量について、大気汚染防止法等により規制されているものは、硫黄酸化物と窒素酸化物の 2 物質のみであり、富津市は両物質ともに、総量規制地域となっている。
・上記 2 物質に関連して、県内の大気環境を見ると、二酸化硫黄については、いちはやく環境基準を達成し、現在、環境基準を大きく下回っている。一方、二酸化窒素については、未だに千葉県環境目標値を達成していない地域がある。また、二酸化窒素は光化学オキシダントの原因物質の一つで、現在、光化学オキシダントは環境基準を達成しておらず、夏季を中心に光化学スモッグ注意報も発令されている。
・以上のことから、排出抑制がより求められる窒素酸化物等により、比較している。
出典「各施設の環境影響評価書」

資料２　大気質関連

資料2　大気質関連

2.1　自動車交通量及び走行速度の現地調査結果

自動車交通量及び走行速度の調査地点、調査日及び調査時間帯は、表 2.1 に示すとおりである。

また、調査地点の位置は、図 2.1 に示すとおりである。

自動車交通量の調査結果は表 2.2～表 2.5 に、走行速度の調査結果は表 2.6～表 2.13 に示すとおりである。

表 2.1　自動車交通量等の調査地点、調査日及び調査時間帯

調査項目	調査地点	調査日、調査時間帯
自動車交通量、走行速度	R1（主要地方道木更津富津線、工事中及び供用時の走行ルート）	平日：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～11 日(金)7 時 休日：令和 3 年 6 月　5 日(土)7 時～ 6 日(日)7 時
	R2（富津市道汐入線、供用時の走行ルート）	

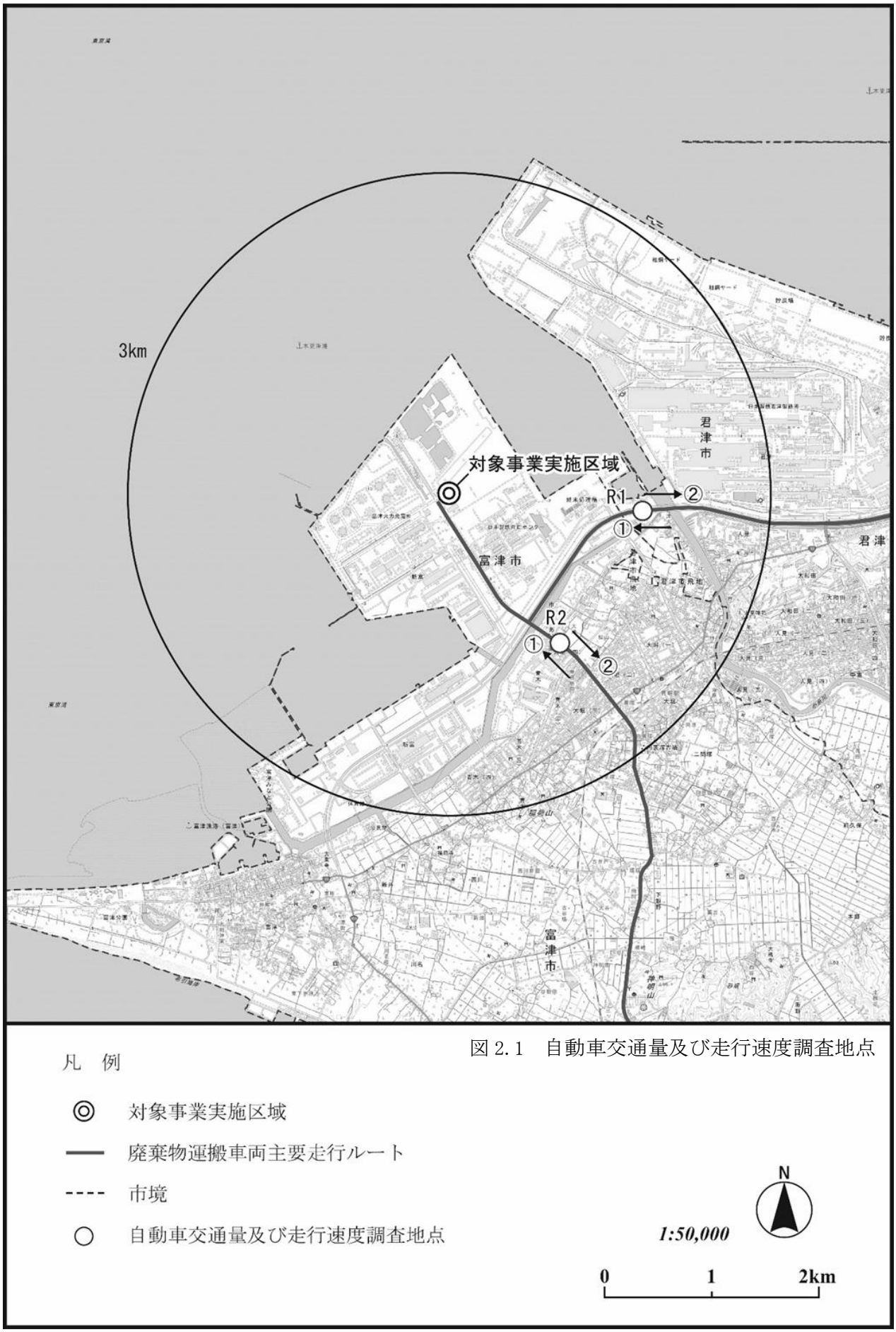


図 2.1　自動車交通量及び走行速度調査地点

2.1.1　自動車交通量現地調査結果

表 2.2　自動車交通量調査結果（R1：主要地方道木更津富津線、平日）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

時間帯	①対象事業実施区域方面					②木更津方面					断面合計				
	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）
7～8	69	729	798	21	8.6	65	893	958	5	6.8	134	1,622	1,756	26	7.6
8～9	130	967	1,097	27	11.9	106	481	587	1	18.1	236	1,448	1,684	28	14.0
9～10	141	706	847	14	16.6	115	276	391	3	29.4	256	982	1,238	17	20.7
10～11	112	340	452	4	24.8	116	299	415	4	28.0	228	639	867	8	26.3
11～12	88	330	418	6	21.1	130	356	486	1	26.7	218	686	904	7	24.1
12～13	75	331	406	5	18.5	52	512	564	5	9.2	127	843	970	10	13.1
13～14	106	367	473	3	22.4	104	324	428	5	24.3	210	691	901	8	23.3
14～15	106	723	829	3	12.8	92	368	460	2	20.0	198	1,091	1,289	5	15.4
15～16	125	776	901	9	13.9	70	342	412	4	17.0	195	1,118	1,313	13	14.9
16～17	66	468	534	3	12.4	50	473	523	4	9.6	116	941	1,057	7	11.0
17～18	28	807	835	11	3.4	81	1,132	1,213	17	6.7	109	1,939	2,048	28	5.3
18～19	31	654	685	8	4.5	51	901	952	14	5.4	82	1,555	1,637	22	5.0
19～20	12	376	388	0	3.1	21	435	456	9	4.6	33	811	844	9	3.9
20～21	14	380	394	3	3.6	8	205	213	2	3.8	22	585	607	5	3.6
21～22	14	317	331	3	4.2	7	172	179	3	3.9	21	489	510	6	4.1
22～23	6	78	84	0	7.1	6	67	73	2	8.2	12	145	157	2	7.6
23～0	5	78	83	0	6.0	10	28	38	2	26.3	15	106	121	2	12.4
0～1	2	40	42	0	4.8	4	30	34	0	11.8	6	70	76	0	7.9
1～2	3	26	29	0	10.3	3	15	18	0	16.7	6	41	47	0	12.8
2～3	3	22	25	0	12.0	7	24	31	0	22.6	10	46	56	0	17.9
3～4	11	56	67	0	16.4	20	19	39	0	51.3	31	75	106	0	29.2
4～5	8	46	54	1	14.8	4	35	39	0	10.3	12	81	93	1	12.9
5～6	30	77	107	0	28.0	19	236	255	1	7.5	49	313	362	1	13.5
6～7	72	298	370	2	19.5	65	1,028	1,093	3	5.9	137	1,326	1,463	5	9.4
計	1257	8,992	10,249	123	12.3	1206	8,651	9,857	87	12.2	2463	17,643	20,106	210	12.3

表 2.3　自動車交通量調査結果（R2：富津市道汐入線、平日）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：R2（富津市道汐入線）

時間帯	①対象事業実施区域方面					②国道16号線方面					断面合計				
	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）
7～8	20	449	469	12	4.3	11	44	55	0	20.0	31	493	524	12	5.9
8～9	23	334	357	15	6.4	6	63	69	1	8.7	29	397	426	16	6.8
9～10	22	211	233	1	9.4	10	65	75	0	13.3	32	276	308	1	10.4
10～11	21	268	289	3	7.3	13	79	92	3	14.1	34	347	381	6	8.9
11～12	11	182	193	2	5.7	7	99	106	2	6.6	18	281	299	4	6.0
12～13	11	227	238	5	4.6	7	91	98	3	7.1	18	318	336	8	5.4
13～14	11	217	228	2	4.8	6	81	87	0	6.9	17	298	315	2	5.4
14～15	13	200	213	1	6.1	8	97	105	0	7.6	21	297	318	1	6.6
15～16	7	183	190	4	3.7	5	87	92	7	5.4	12	270	282	11	4.3
16～17	10	223	233	2	4.3	16	170	186	2	8.6	26	393	419	4	6.2
17～18	7	247	254	3	2.8	17	314	331	18	5.1	24	561	585	21	4.1
18～19	7	218	225	1	3.1	7	208	215	6	3.3	14	426	440	7	3.2
19～20	5	116	121	3	4.1	6	128	134	6	4.5	11	244	255	9	4.3
20～21	3	61	64	1	4.7	2	83	85	0	2.4	5	144	149	1	3.4
21～22	2	43	45	2	4.4	4	51	55	0	7.3	6	94	100	2	6.0
22～23	0	18	18	3	0.0	1	22	23	0	4.3	1	40	41	3	2.4
23～0	0	8	8	0	0.0	0	17	17	1	0.0	0	25	25	1	0.0
0～1	0	4	4	0	0.0	0	8	8	0	0.0	0	12	12	0	0.0
1～2	1	3	4	1	25.0	1	3	4	1	25.0	2	6	8	2	25.0
2～3	0	4	4	0	0.0	0	4	4	0	0.0	0	8	8	0	0.0
3～4	1	5	6	0	16.7	0	8	8	0	0.0	1	13	14	0	7.1
4～5	1	14	15	0	6.7	2	4	6	0	33.3	3	18	21	0	14.3
5～6	3	63	66	0	4.5	5	17	22	0	22.7	8	80	88	0	9.1
6～7	9	164	173	3	5.2	4	26	30	0	13.3	13	190	203	3	6.4
計	188	3,462	3,650	64	5.2	138	1,769	1,907	50	7.2	326	5,231	5,557	114	5.9

表 2.4　自動車交通量調査結果（R1：主要地方道木更津富津線、休日）

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

時間帯	①対象事業実施区域方面					②木更津方面					断面合計				
	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）
7～8	50	391	441	7	11.3	49	423	472	4	10.4	99	814	913	11	10.8
8～9	48	408	456	9	10.5	88	329	417	4	21.1	136	737	873	13	15.6
9～10	74	420	494	7	15.0	62	261	323	3	19.2	136	681	817	10	16.6
10～11	89	653	742	15	12.0	69	362	431	2	16.0	158	1,015	1,173	17	13.5
11～12	84	783	867	25	9.7	62	416	478	9	13.0	146	1,199	1,345	34	10.9
12～13	39	387	426	7	9.2	24	474	498	11	4.8	63	861	924	18	6.8
13～14	54	384	438	9	12.3	73	448	521	15	14.0	127	832	959	24	13.2
14～15	33	460	493	9	6.7	53	631	684	9	7.7	86	1,091	1,177	18	7.3
15～16	32	488	520	10	6.2	20	399	419	7	4.8	52	887	939	17	5.5
16～17	42	605	647	6	6.5	20	399	419	13	4.8	62	1,004	1,066	19	5.8
17～18	16	751	767	5	2.1	15	532	547	10	2.7	31	1,283	1,314	15	2.4
18～19	13	430	443	4	2.9	7	327	334	11	2.1	20	757	777	15	2.6
19～20	6	244	250	2	2.4	5	141	146	5	3.4	11	385	396	7	2.8
20～21	5	188	193	2	2.6	8	162	170	5	4.7	13	350	363	7	3.6
21～22	4	161	165	3	2.4	1	97	98	1	1.0	5	258	263	4	1.9
22～23	5	142	147	4	3.4	3	76	79	3	3.8	8	218	226	7	3.5
23～0	2	87	89	2	2.2	7	34	41	0	17.1	9	121	130	2	6.9
0～1	2	43	45	1	4.4	0	36	36	0	0.0	2	79	81	1	2.5
1～2	1	37	38	0	2.6	1	24	25	0	4.0	2	61	63	0	3.2
2～3	1	25	26	0	3.8	1	23	24	0	4.2	2	48	50	0	4.0
3～4	5	66	71	0	7.0	1	14	15	0	6.7	6	80	86	0	7.0
4～5	2	64	66	0	3.0	1	27	28	0	3.6	3	91	94	0	3.2
5～6	10	61	71	0	14.1	4	116	120	4	3.3	14	177	191	4	7.3
6～7	6	124	130	1	4.6	10	157	167	1	6.0	16	281	297	2	5.4
計	623	7,402	8,025	128	7.8	584	5,908	6,492	117	9.0	1207	13,310	14,517	245	8.3

表 2.5　自動車交通量調査結果（R2：富津市道汐入線、休日）

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時
調査地点：R2（富津市道汐入線）

時間帯	①対象事業実施区域方面					②国道16号線方面					断面合計				
	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）	大型車（台）	小型車（台）	合計（台）	二輪車（台）	大型車混入率（%）
7～8	9	194	203	4	4.4	6	35	41	0	14.6	15	229	244	4	6.1
8～9	12	147	159	3	7.5	5	63	68	1	7.4	17	210	227	4	7.5
9～10	14	286	300	4	4.7	8	71	79	0	10.1	22	357	379	4	5.8
10～11	13	329	342	4	3.8	3	88	91	2	3.3	16	417	433	6	3.7
11～12	8	297	305	6	2.6	8	94	102	4	7.8	16	391	407	10	3.9
12～13	8	230	238	3	3.4	5	94	99	2	5.1	13	324	337	5	3.9
13～14	21	287	308	4	6.8	6	87	93	2	6.5	27	374	401	6	6.7
14～15	6	260	266	3	2.3	8	67	75	3	10.7	14	327	341	6	4.1
15～16	7	223	230	4	3.0	3	89	92	4	3.3	10	312	322	8	3.1
16～17	1	258	259	4	0.4	7	136	143	0	4.9	8	394	402	4	2.0
17～18	2	273	275	4	0.7	2	162	164	0	1.2	4	435	439	4	0.9
18～19	2	201	203	4	1.0	1	90	91	2	1.1	3	291	294	6	1.0
19～20	4	100	104	0	3.8	2	58	60	0	3.3	6	158	164	0	3.7
20～21	2	67	69	0	2.9	2	39	41	1	4.9	4	106	110	1	3.6
21～22	1	33	34	1	2.9	0	20	20	0	0.0	1	53	54	1	1.9
22～23	0	15	15	0	0.0	1	19	20	0	5.0	1	34	35	0	2.9
23～0	0	4	4	0	0.0	0	12	12	0	0.0	0	16	16	0	0.0
0～1	0	4	4	0	0.0	0	5	5	0	0.0	0	9	9	0	0.0
1～2	0	5	5	2	0.0	0	4	4	1	0.0	0	9	9	3	0.0
2～3	0	4	4	0	0.0	0	5	5	0	0.0	0	9	9	0	0.0
3～4	1	4	5	0	20.0	2	10	12	0	16.7	3	14	17	0	17.6
4～5	1	14	15	0	6.7	0	5	5	0	0.0	1	19	20	0	5.0
5～6	3	32	35	0	8.6	5	9	14	0	35.7	8	41	49	0	16.3
6～7	1	43	44	0	2.3	1	14	15	0	6.7	2	57	59	0	3.4
計	116	3,310	3,426	50	3.4	75	1,276	1,351	22	5.6	191	4,586	4,777	72	4.0

2.1.2　走行速度調査結果

表 2.6　走行速度調査結果（R1：主要地方道木更津富津線、平日、対象事業実施区域方面）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

（単位：km/h）

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
7～8	51.4	69.2	61.6	65.3	59.6	52.8	60.2	58.3	50.2	62.1	59.1
8～9	71.4	43.1	72.3	53.3	60.0	59.8	59.6	60.9	60.4	72.0	61.3
9～10	65.1	63.0	48.4	46.8	49.2	47.5	56.8	47.9	60.0	49.4	53.4
10～11	70.4	52.4	53.3	55.5	52.6	49.5	68.9	61.4	58.1	48.8	57.1
11～12	64.5	74.7	54.7	60.2	51.6	61.4	54.9	68.4	50.9	49.7	59.1
12～13	51.8	68.4	56.4	63.8	50.5	57.0	53.3	64.3	64.5	61.4	59.1
13～14	57.0	48.8	53.1	53.6	56.6	75.3	68.9	66.4	60.4	59.1	59.9
14～15	55.9	55.7	50.5	57.4	50.5	50.6	68.1	60.4	49.7	45.5	54.4
15～16	51.9	54.2	45.4	49.5	48.4	64.3	55.1	50.5	68.6	55.3	54.3
16～17	61.4	65.2	64.0	62.6	65.6	53.6	60.0	66.4	67.8	54.0	62.1
17～18	49.1	56.1	66.7	68.1	52.1	53.5	50.6	66.1	63.5	75.0	60.1
18～19	61.1	49.2	51.6	50.8	52.6	51.8	48.6	63.8	57.4	73.0	56.0
19～20	63.5	64.0	59.8	57.9	57.2	55.9	47.2	54.0	55.5	60.0	57.5
20～21	62.8	63.3	59.1	57.7	66.4	52.1	63.5	51.1	47.1	48.2	57.1
21～22	53.1	52.1	47.6	64.8	46.7	61.4	68.6	53.6	54.5	47.8	55.0
22～23	64.3	58.7	70.2	50.9	67.2	69.8	60.0	61.1	55.7	55.5	61.3
23～0	49.2	60.0	70.1	75.3	67.5	70.1	69.2	64.7	63.8	63.3	65.3
0～1	69.8	64.8	66.4	58.3	52.6	55.9	70.4	75.0	53.5	57.9	62.5
1～2	70.1	64.5	66.4	64.0	64.3	68.4	55.9	61.4	62.5	62.3	64.0
2～3	50.8	55.1	77.1	56.6	57.0	56.8	57.7	46.6	47.4	45.4	55.1
3～4	43.0	52.6	75.0	60.0	75.7	62.3	63.5	71.4	54.5	54.9	61.3
4～5	61.1	49.2	67.1	59.8	68.6	69.0	70.7	65.9	67.1	74.7	65.3
5～6	59.3	69.4	64.5	68.6	74.0	59.3	61.1	62.5	51.3	75.3	64.5
6～7	61.8	61.4	60.7	64.3	72.3	66.9	69.2	56.6	53.6	54.0	62.1
									全時間平均		59.5

表 2.7　走行速度調査結果（R1：主要地方道木更津富津線、平日、木更津方面）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

（単位：km/h）

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
7～8	62.3	55.8	67.3	59.8	52.1	64.7	56.9	55.6	76.7	47.6	59.9
8～9	64.2	69.6	66.3	51.0	65.2	67.4	72.6	66.2	44.0	57.1	62.4
9～10	57.3	48.7	64.4	61.1	67.9	48.4	58.7	55.0	58.7	54.3	57.5
10～11	56.9	63.2	55.8	54.7	63.7	58.3	60.7	75.6	60.2	59.1	60.8
11～12	53.2	69.6	45.2	54.8	47.7	64.9	72.6	60.9	62.7	48.1	58.0
12～13	68.4	65.2	58.1	47.6	53.1	57.1	36.3	68.7	57.7	46.9	55.9
13～14	55.0	71.1	66.7	66.5	65.2	67.9	54.5	58.1	57.3	62.5	62.5
14～15	58.9	56.5	62.0	56.9	63.7	45.1	54.8	70.2	69.6	59.4	59.7
15～16	63.2	60.0	64.7	66.0	56.3	58.5	61.8	57.3	59.1	58.3	60.5
16～17	61.3	52.7	65.7	67.9	61.8	49.6	68.1	60.9	58.1	49.6	59.6
17～18	55.0	42.8	52.1	51.1	58.5	45.5	62.5	53.4	46.4	69.3	53.7
18～19	63.2	58.9	58.3	47.4	54.1	66.0	60.0	56.5	47.2	43.4	55.5
19～20	68.7	56.3	60.9	50.5	56.3	66.0	57.7	49.4	53.8	60.7	58.0
20～21	53.8	73.9	51.8	59.8	65.2	63.2	50.8	47.9	49.0	42.5	55.8
21～22	72.3	67.0	63.0	80.8	52.2	50.2	60.2	52.6	48.4	68.7	61.5
22～23	52.2	53.2	64.7	60.7	63.7	59.1	63.7	57.5	58.1	63.4	59.6
23～0	60.4	56.9	56.1	49.9	55.0	63.2	62.7	72.6	64.4	49.1	59.0
0～1	49.7	68.4	70.2	54.3	63.9	48.6	46.6	60.2	53.2	56.7	57.2
1～2	46.3	58.9	58.1	57.3	73.6	57.7	44.2	61.8	54.8	54.3	56.7
2～3	45.9	54.1	53.1	48.8	38.5	54.7	55.2	69.9	57.1	53.1	53.0
3～4	78.9	60.2	55.2	52.9	46.5	54.1	47.4	73.6	56.3	63.0	58.8
4～5	49.3	67.0	60.9	55.8	60.4	45.1	66.5	67.9	54.3	68.4	59.6
5～6	71.7	71.7	76.7	68.9	57.7	51.0	61.3	69.9	58.9	59.4	64.7
6～7	55.2	55.6	58.5	70.8	66.2	62.5	74.3	43.6	59.8	58.9	60.5
									全時間平均		58.8
									両方向平均		59.1

表 2.8　走行速度調査結果（R2：富津市道汐入線、平日、対象事業実施区域方面）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：R2（富津市道汐入線）

（単位：km/h）

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
7～8	40.4	37.9	40.8	42.5	35.2	40.4	36.7	41.8	47.5	33.7	39.7
8～9	38.3	43.7	42.7	41.3	44.3	43.9	45.5	43.3	41.1	40.9	42.5
9～10	42.2	42.2	42.7	44.3	43.6	41.3	40.8	46.5	37.3	47.1	42.8
10～11	41.7	45.7	46.0	44.8	46.2	41.1	42.9	37.7	38.3	36.6	42.1
11～12	45.1	42.5	44.8	45.8	44.2	44.6	41.8	43.4	43.2	44.5	44.0
12～13	44.5	44.2	45.4	46.3	44.3	42.3	39.2	45.5	42.7	42.8	43.7
13～14	38.9	44.4	47.0	44.2	44.5	48.4	43.6	38.4	42.5	37.2	42.9
14～15	44.8	40.7	40.2	42.7	42.5	38.6	35.1	47.8	44.6	34.1	41.1
15～16	43.7	44.5	41.0	44.2	45.8	46.0	45.5	42.9	46.2	43.4	44.3
16～17	41.5	41.8	44.3	43.7	45.1	42.1	46.5	46.2	42.2	39.8	43.3
17～18	36.2	44.9	41.1	42.2	40.0	37.1	38.4	42.7	39.0	37.1	39.9
18～19	42.1	36.9	44.1	37.1	40.3	45.1	41.8	39.3	35.7	42.5	40.5
19～20	41.8	43.6	41.3	42.1	39.3	40.3	45.7	44.2	42.6	44.8	42.6
20～21	40.8	44.5	43.2	38.7	44.9	42.5	45.1	43.2	39.9	44.3	42.7
21～22	43.4	48.2	40.0	44.9	41.3	34.5	39.9	39.3	33.0	36.0	40.1
22～23	42.2	47.0	39.7	37.4	40.5	40.9	45.2	35.7	47.5	43.4	42.0
23～0	38.9	39.9	38.5	39.9	42.1	44.9	40.9	－	－	－	40.7
0～1	39.0	42.9	42.6	37.7	－	－	－	－	－	－	40.6
1～2	37.4	43.9	32.0	46.3	44.0	－	－	－	－	－	40.7
2～3	31.5	41.1	34.1	43.2	31.2	－	－	－	－	－	36.2
3～4	41.0	41.5	39.0	42.7	－	－	－	－	－	－	41.1
4～5	40.6	39.7	46.3	36.8	37.1	39.4	43.9	40.8	－	－	40.6
5～6	43.9	47.5	38.5	36.5	44.9	37.0	39.9	33.8	33.5	38.9	39.4
6～7	41.3	43.7	41.9	34.9	41.5	44.6	41.1	40.1	43.4	44.5	41.7
									全時間平均		41.7

注）走行台数の少ない時間帯は観測台数が10台未満となった

表 2.9　走行速度調査結果（R2：富津市道汐入線、平日、国道 16 号方面）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：R2（富津市道汐入線）

（単位：km/h）

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
7～8	52.0	46.6	52.1	56.4	49.3	48.0	54.6	46.7	38.5	42.4	48.7
8～9	49.8	48.2	52.0	50.9	50.5	49.3	52.4	49.0	46.7	48.9	49.8
9～10	38.7	43.3	52.7	46.9	44.5	43.1	45.2	47.3	46.6	39.7	44.8
10～11	41.1	54.1	45.4	39.6	44.7	43.3	42.7	47.2	44.0	51.7	45.4
11～12	50.2	51.4	46.1	47.0	50.6	51.0	46.6	48.9	49.4	48.0	48.9
12～13	50.5	51.1	49.1	50.1	48.5	50.1	48.6	45.9	49.7	44.6	48.8
13～14	45.5	44.7	54.1	43.3	47.3	47.4	42.0	45.1	46.1	46.0	46.2
14～15	43.1	43.6	45.5	58.5	39.7	54.3	46.5	39.6	42.2	52.1	46.5
15～16	46.1	49.1	49.0	44.8	45.8	47.8	44.9	48.8	45.7	44.0	46.6
16～17	43.6	47.8	50.5	49.4	51.4	51.0	48.8	49.4	46.6	47.6	48.6
17～18	45.4	37.6	50.1	53.3	44.5	42.2	46.7	41.2	54.3	50.5	46.6
18～19	44.4	54.7	57.6	51.7	44.8	43.1	45.8	40.8	45.5	50.1	47.9
19～20	49.4	47.6	43.1	48.1	46.5	47.8	50.1	50.6	52.6	49.1	48.5
20～21	45.9	46.0	45.4	47.6	48.0	49.7	46.7	49.3	46.7	48.0	47.3
21～22	43.8	56.0	46.2	44.4	47.2	51.9	44.4	46.7	46.3	45.9	47.3
22～23	48.1	54.1	48.5	47.0	42.9	52.1	47.2	48.4	45.5	44.5	47.8
23～0	44.3	46.1	48.1	44.3	48.8	46.7	47.3	47.5	44.2	44.4	46.2
0～1	46.8	48.2	44.0	－	－	－	－	－	－	－	46.3
1～2	46.7	41.2	44.7	43.0	－	－	－	－	－	－	43.9
2～3	45.0	41.6	43.7	－	－	－	－	－	－	－	43.4
3～4	41.6	46.2	46.7	48.2	45.4	－	－	－	－	－	45.6
4～5	38.8	43.7	46.5	41.3	－	－	－	－	－	－	42.6
5～6	52.7	50.3	50.7	55.1	48.4	41.0	43.3	38.3	52.3	39.5	47.2
6～7	46.7	48.0	43.8	45.3	47.3	45.4	48.9	46.8	47.8	49.4	46.9
									全時間平均		47.1
									両方向平均		44.3

注）走行台数の少ない時間帯は観測台数が10台未満となった

表 2.10　走行速度調査結果（R1：主要地方道木更津富津線、休日、対象事業実施区域方面）

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

（単位：km/h）

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
7～8	69.6	56.7	62.7	70.2	50.8	58.8	74.3	67.3	60.1	56.0	62.7
8～9	76.7	75.3	55.5	64.2	62.9	54.9	48.0	78.2	57.8	56.8	63.0
9～10	61.7	58.6	68.4	59.9	56.8	62.4	64.1	56.8	74.6	64.9	62.8
10～11	57.0	51.3	52.1	72.6	61.9	48.7	65.7	59.9	68.9	64.6	60.3
11～12	74.6	54.9	54.5	74.3	50.4	54.9	45.3	63.6	68.9	61.0	60.2
12～13	65.9	72.0	62.9	65.9	65.1	58.2	54.6	62.2	65.4	75.0	64.7
13～14	76.0	69.3	63.1	69.9	71.4	58.2	53.3	55.8	53.0	64.1	63.4
14～15	51.1	68.1	69.3	54.7	53.0	64.1	64.4	51.8	70.2	56.0	60.3
15～16	59.7	74.5	61.5	67.4	65.1	63.1	66.5	58.2	64.4	53.6	63.4
16～17	69.6	76.0	49.5	50.0	61.5	72.3	57.1	73.9	45.5	64.1	62.0
17～18	70.8	53.8	76.4	58.4	51.3	53.6	61.0	57.6	52.3	75.0	61.0
18～19	67.3	53.3	74.6	71.7	64.9	54.7	41.0	62.2	76.0	48.7	61.4
19～20	48.7	69.6	59.0	70.8	76.4	63.9	58.3	46.9	61.5	69.0	62.4
20～21	67.0	59.3	62.9	77.4	54.3	78.5	65.7	44.4	61.7	62.2	63.3
21～22	64.6	61.3	73.3	45.6	55.1	66.2	53.0	77.4	69.9	62.7	62.9
22～23	52.6	68.1	47.9	73.2	63.4	65.4	78.2	67.8	59.1	51.6	62.7
23～0	67.0	69.9	60.6	60.1	58.0	57.0	67.0	60.1	78.2	52.6	63.1
0～1	72.3	72.0	58.0	58.9	52.6	59.9	78.2	55.6	72.3	69.0	64.9
1～2	61.0	66.7	57.4	51.1	65.1	59.5	75.3	62.2	73.9	61.3	63.4
2～3	62.2	65.7	52.9	69.6	74.6	62.2	77.1	51.3	70.8	57.1	64.4
3～4	78.2	54.4	61.0	68.4	64.6	54.0	48.6	55.5	65.1	49.7	60.0
4～5	66.2	63.6	66.5	54.4	51.5	49.7	50.4	56.8	73.6	75.3	60.8
5～6	43.5	69.0	57.0	77.4	56.0	64.4	68.4	68.4	62.9	57.8	62.5
6～7	54.0	71.4	69.0	60.8	68.1	60.6	73.9	57.2	52.4	51.9	61.9
									全時間平均		62.4

表 2.11　走行速度調査結果（R1：主要地方道木更津富津線、休日、木更津方面）

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

（単位：km/h）

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
7～8	62.7	75.0	52.0	72.6	57.1	73.0	68.4	51.5	53.8	49.6	61.6
8～9	56.4	57.2	72.2	67.3	45.1	76.0	48.1	58.2	59.9	56.0	59.6
9～10	55.3	63.1	52.8	58.4	43.7	56.6	71.0	68.4	51.3	61.0	58.2
10～11	53.6	78.2	57.8	62.7	67.3	63.6	68.7	51.8	53.3	58.2	61.5
11～12	64.4	57.6	70.8	52.3	65.7	53.3	60.8	73.3	61.5	59.3	61.9
12～13	62.7	56.6	69.3	65.7	51.6	51.8	57.4	69.3	77.4	64.6	62.6
13～14	55.8	53.3	71.3	52.1	66.8	61.0	45.9	58.8	48.6	71.1	58.5
14～15	47.2	57.2	76.7	58.6	61.3	43.7	67.6	71.4	66.5	73.6	62.4
15～16	73.9	64.1	57.4	62.9	63.6	65.1	65.4	54.5	46.9	58.8	61.3
16～17	56.2	58.3	60.1	63.6	60.6	46.2	60.6	72.3	69.9	70.6	61.8
17～18	66.2	69.9	65.7	55.3	59.5	55.6	57.8	46.6	47.4	71.4	59.5
18～19	67.0	65.9	52.6	67.3	63.1	59.9	80.1	59.7	55.6	59.1	63.0
19～20	62.9	55.1	76.7	53.5	53.1	48.3	71.6	46.5	58.8	55.5	58.2
20～21	70.4	46.9	66.2	56.6	60.1	55.8	60.4	49.7	42.5	68.4	57.7
21～22	63.8	56.6	71.7	58.4	64.6	58.4	48.4	54.9	53.0	52.8	58.3
22～23	65.9	56.6	57.0	69.0	43.3	44.7	67.9	67.2	60.6	70.8	60.3
23～0	56.8	59.9	49.7	53.6	57.0	58.0	70.5	68.1	68.6	48.1	59.0
0～1	59.3	63.4	64.9	53.3	54.5	57.2	57.6	65.7	70.2	74.6	62.1
1～2	78.9	65.1	56.6	75.3	63.9	57.6	47.9	52.6	59.3	56.2	61.3
2～3	48.2	69.9	54.5	74.0	67.9	58.4	48.1	67.8	50.5	48.6	58.8
3～4	64.6	52.4	58.2	57.0	56.4	40.1	56.0	75.3	65.9	63.1	58.9
4～5	45.0	64.1	58.2	54.0	47.0	45.0	67.6	61.7	76.0	49.0	56.8
5～6	70.8	59.7	55.1	47.7	66.7	57.6	63.4	64.4	61.7	52.4	60.0
6～7	66.2	55.3	51.5	59.7	55.1	54.2	54.5	64.4	72.1	53.5	58.7
									全時間平均		60.1
									両方向平均		61.2

表 2.12　走行速度調査結果（R2：富津市道汐入線、休日、対象事業実施区域方面）

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時
調査地点：R2（富津市道汐入線）

（単位：km/h）

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
7～8	36.3	47.5	38.9	46.7	42.5	44.9	41.6	33.7	37.0	34.4	40.4
8～9	36.2	36.7	40.8	41.1	40.1	41.6	38.6	36.1	41.0	36.5	38.9
9～10	37.6	42.5	38.5	38.3	38.0	37.7	36.6	44.6	41.7	47.0	40.3
10～11	48.5	42.5	43.5	38.9	39.3	36.7	44.2	33.6	34.1	35.9	39.7
11～12	38.6	41.1	40.6	41.3	42.0	39.3	42.1	41.7	43.2	42.1	41.2
12～13	43.1	39.2	44.5	44.2	41.1	42.6	42.4	39.9	41.2	41.0	41.9
13～14	40.7	43.2	48.2	37.0	36.0	37.6	42.8	35.9	36.9	38.4	39.7
14～15	40.3	45.9	43.8	39.2	44.3	36.1	42.6	41.6	34.2	32.6	40.1
15～16	42.0	44.1	43.1	40.3	41.2	41.3	39.4	38.2	38.3	41.6	41.0
16～17	37.2	40.7	43.5	42.5	41.6	38.9	42.9	39.6	40.7	40.5	40.8
17～18	43.1	43.3	41.5	44.9	38.2	42.8	41.1	36.0	37.2	39.5	40.8
18～19	38.8	38.0	40.1	47.3	38.7	41.9	33.5	52.3	34.1	35.4	40.0
19～20	42.0	41.5	43.5	41.7	44.2	42.4	44.6	41.6	40.7	41.2	42.3
20～21	41.6	43.8	42.9	44.5	43.3	40.8	42.8	44.6	44.8	43.5	43.3
21～22	33.6	33.8	36.9	44.3	40.0	40.3	43.6	33.4	42.9	44.3	39.3
22～23	36.1	32.6	42.9	46.3	34.2	42.2	36.2	32.8	38.0	35.1	37.6
23～0	39.4	41.0	40.5	43.1	－	－	－	－	－	－	41.0
0～1	44.3	42.4	－	－	－	－	－	－	－	－	43.4
1～2	45.7	32.9	30.0	34.4	43.9	41.5	－	－	－	－	38.1
2～3	35.3	40.3	35.1	37.1	－	－	－	－	－	－	37.0
3～4	40.7	31.0	37.2	36.3	－	－	－	－	－	－	36.3
4～5	42.5	43.3	43.9	41.9	45.2	47.2	42.1	44.2	－	－	43.8
5～6	42.1	34.7	45.9	41.9	46.7	35.3	42.4	36.3	48.2	34.4	40.8
6～7	44.8	43.9	41.7	42.0	43.8	45.9	42.2	41.1	43.3	40.3	42.9
									全時間平均		40.5

注）走行台数の少ない時間帯は観測台数が10台未満となった

表 2.13　走行速度調査結果（R2：富津市道汐入線、休日、国道 16 号方面）

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時
調査地点：R2（富津市道汐入線）

（単位：km/h）

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
7～8	46.7	60.0	56.5	44.7	49.8	48.0	39.7	38.7	44.3	44.8	47.3
8～9	43.1	46.8	47.3	46.6	44.4	47.0	50.5	47.4	46.7	46.9	46.7
9～10	59.1	41.5	56.8	48.1	56.8	41.4	46.0	45.7	49.3	40.5	48.5
10～11	39.2	53.6	46.2	52.4	40.4	38.5	40.5	47.7	43.4	51.7	45.4
11～12	51.0	48.7	49.8	46.9	48.5	47.3	46.7	48.9	49.7	45.9	48.3
12～13	50.5	50.0	49.1	47.0	42.0	50.5	42.4	43.2	51.2	46.1	47.2
13～14	51.3	48.7	40.2	49.3	45.2	38.0	48.8	48.8	44.2	49.4	46.4
14～15	43.1	49.5	44.9	48.2	39.7	47.8	46.0	41.9	47.2	36.5	44.5
15～16	51.2	50.0	50.4	49.7	46.5	48.6	43.8	47.1	42.6	48.7	47.9
16～17	48.7	50.3	50.9	49.1	45.3	45.9	44.5	48.9	42.9	47.0	47.4
17～18	45.2	55.1	41.1	47.8	51.8	40.2	54.0	47.4	53.9	45.1	48.2
18～19	44.9	41.9	50.9	56.0	50.9	45.0	40.6	47.9	49.7	47.9	47.6
19～20	48.0	48.9	46.1	46.2	50.3	48.6	47.2	46.9	47.7	42.9	47.3
20～21	47.8	49.7	49.1	47.9	50.0	46.1	47.3	48.1	47.7	49.8	48.4
21～22	42.4	56.8	47.3	46.1	41.6	40.6	48.6	50.0	45.8	48.8	46.8
22～23	44.1	41.2	47.4	44.4	53.8	46.9	51.7	54.8	45.0	47.0	47.6
23～0	48.5	46.7	47.5	52.0	48.1	50.0	51.2	51.7	49.5	48.6	49.4
0～1	53.1	50.9	50.0	－	－	－	－	－	－	－	51.3
1～2	42.4	52.5	42.3	－	－	－	－	－	－	－	45.7
2～3	51.0	60.0	43.5	50.3	43.5	－	－	－	－	－	49.7
3～4	48.2	50.4	52.1	51.7	49.2	53.1	43.8	49.4	47.7	－	49.5
4～5	50.7	49.5	48.8	54.2	－	－	－	－	－	－	50.8
5～6	46.9	43.2	49.2	53.8	48.0	51.6	38.8	46.2	49.9	41.2	46.9
6～7	50.5	48.9	47.7	50.3	43.7	48.0	50.0	51.3	50.4	52.1	49.3
									全時間平均		45.5
									両方向平均		44.1

注）走行台数の少ない時間帯は観測台数が10台未満となった

2.2　気象の異常年検定結果

予測に用いた令和 2 年 11 月～令和 3 年 10 月の気象状況が、平成 22 年 11 月～令和 2 年 10 月までの過去 10 年間と比較して異常でないことを、「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成 12 年、公害研究対策センター）に示された統計手法に従って検定を行い、確認した。

検定は対象事業実施区域周辺の大気環境常時測定局である君津人見測定局の気象データを用いて行った。

検定の結果は、表 2.14 及び表 2.15 に示すとおりであり、予測に用いた令和 2 年 11 月～令和 3 年 10 月の気象データは、すべて採択されており、この間の気象データは異常ではなかったと考える。

表 2.14　風向に関する異常年検定結果

地 点　：君津人見測定局
統計年 ：平成22年11月～令和02年10月
検定年 ：令和02年11月～令和03年10月

風向	統計年												検定年	F_0	判定 ○採択、×棄却			棄却限界 (5%)	
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	X	S	R2 2020		5%	2.5%	1%	上限	下限
NNE	681	423	756	771	707	1025	701	509	758	893	722.4	171.0	794	0.14	○	○	○	1150	295
NE	706	385	588	392	387	625	753	508	837	896	607.7	189.1	837	1.20	○	○	○	1081	135
ENE	756	420	696	477	519	737	775	519	817	898	661.4	163.9	924	2.10	○	○	○	1071	251
E	879	509	815	626	577	670	775	426	886	775	693.8	157.7	1000	3.09	○	○	○	1088	299
ESE	382	226	427	504	385	560	571	344	525	451	437.5	107.8	639	2.86	○	○	○	707	168
SE	192	68	270	489	307	484	274	241	287	202	281.4	127.6	294	0.01	○	○	○	601	-38
SSE	443	57	448	968	607	772	447	251	461	328	478.2	257.7	426	0.03	○	○	○	1123	-167
S	658	70	523	889	663	882	508	708	480	496	587.7	235.9	525	0.06	○	○	○	1178	-3
SSW	1298	116	1163	770	505	636	1215	883	1113	1483	918.2	417.2	1199	0.37	○	○	○	1962	-125
SW	656	114	730	552	414	333	517	1302	323	333	527.4	326.5	377	0.17	○	○	○	1344	-289
WSW	254	77	269	271	283	250	156	382	145	129	221.6	91.7	212	0.01	○	○	○	451	-8
W	136	38	154	142	129	96	118	109	85	94	110.1	33.9	146	0.92	○	○	○	195	25
WNW	172	64	191	100	120	121	211	89	172	189	142.9	50.3	226	2.24	○	○	○	269	17
NW	115	57	129	180	188	170	176	100	125	89	132.9	44.3	99	0.48	○	○	○	244	22
NNW	316	227	415	358	399	281	424	414	347	302	348.3	66.3	219	3.11	○	○	○	514	182
N	866	692	1115	1121	940	959	1062	981	1137	1155	1002.8	146.4	787	1.78	○	○	○	1369	637
CALM	199	512	71	146	116	152	64	142	58	71	153.1	134.5	54	0.44	○	○	○	490	-183

表 2.15　風速に関する異常年検定結果

地点　：君津人見測定局
統計年 ：平成22年11月～令和02年10月
検定年 ：令和02年11月～令和03年10月

風速	統計年												検定年	F_0	判定 ○採択、×棄却			棄却限界 (5%)	
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	X	S	R2 2020		5%	2.5%	1%	上限	下限
0.0～0.4	199	512	236	477	350	546	225	399	197	219	336.0	138.7	193	0.87	○	○	○	683	-11
0.5～0.9	587	323	596	1048	819	1189	650	1801	600	551	816.4	428.4	648	0.13	○	○	○	1888	-255
1.0～1.9	1938	861	1852	2230	1827	2272	1912	3403	1921	1945	2016.1	620.3	2096	0.01	○	○	○	3568	464
2.0～2.9	2190	942	2204	1838	1578	1959	2141	990	2104	2050	1799.6	477.8	2197	0.57	○	○	○	2995	604
3.0～3.9	1776	682	1763	1262	1165	1289	1686	516	1653	1721	1351.3	457.3	1577	0.20	○	○	○	2495	207
4.0～5.9	1733	636	1733	1405	1160	1127	1760	635	1732	1809	1373.0	462.2	1611	0.22	○	○	○	2529	217
6.0～7.9	265	88	303	405	279	271	315	143	306	454	282.9	107.6	347	0.29	○	○	○	552	14
8.0～	21	11	73	91	68	100	58	21	43	35	52.1	30.8	89	1.18	○	○	○	129	-25

2.3　車両の走行による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の寄与濃度の距離減衰図

2.3.1　工事車両による寄与濃度

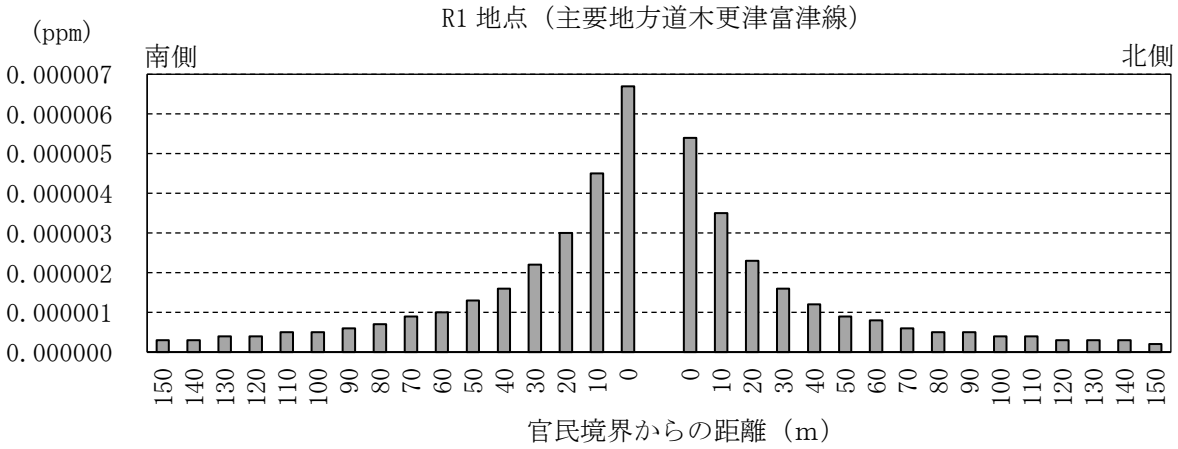


図 2.2　工事車両による二酸化窒素寄与濃度の予測結果（年平均値）

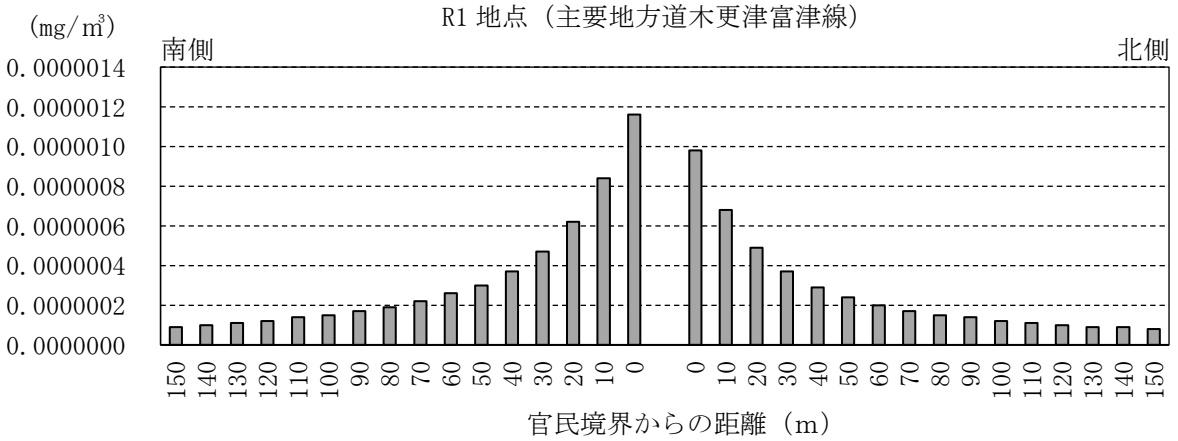
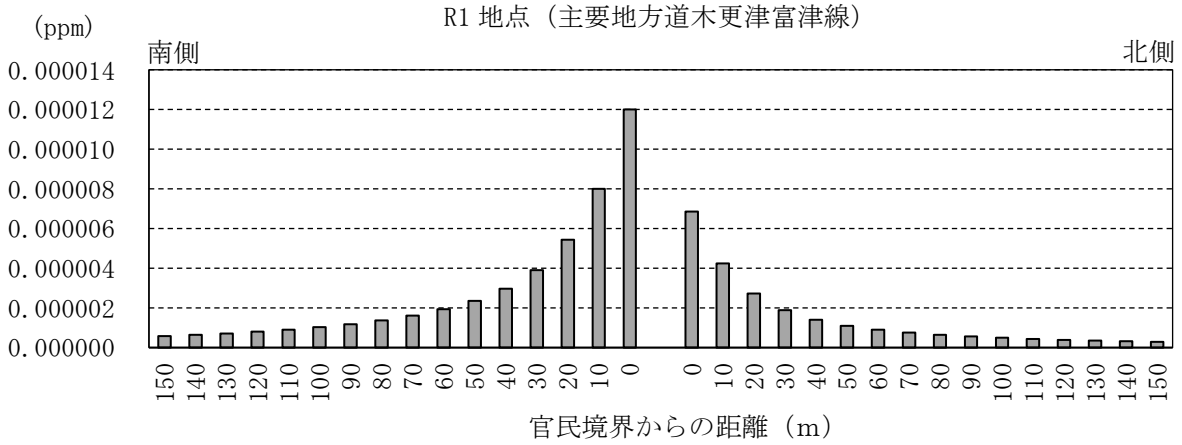


図 2.3　工事車両による浮遊粒子状物質寄与濃度の予測結果（年平均値）

2.3.2　廃棄物運搬車両等による寄与濃度



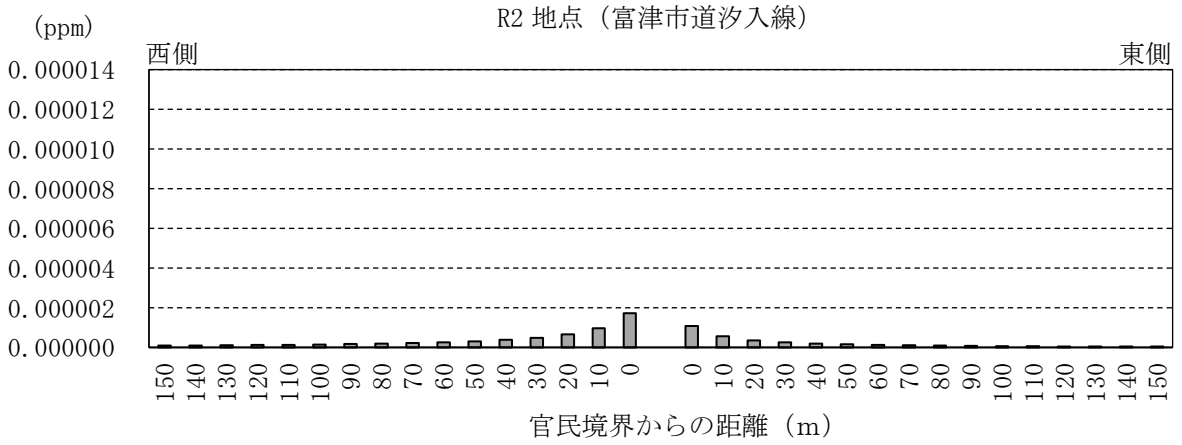
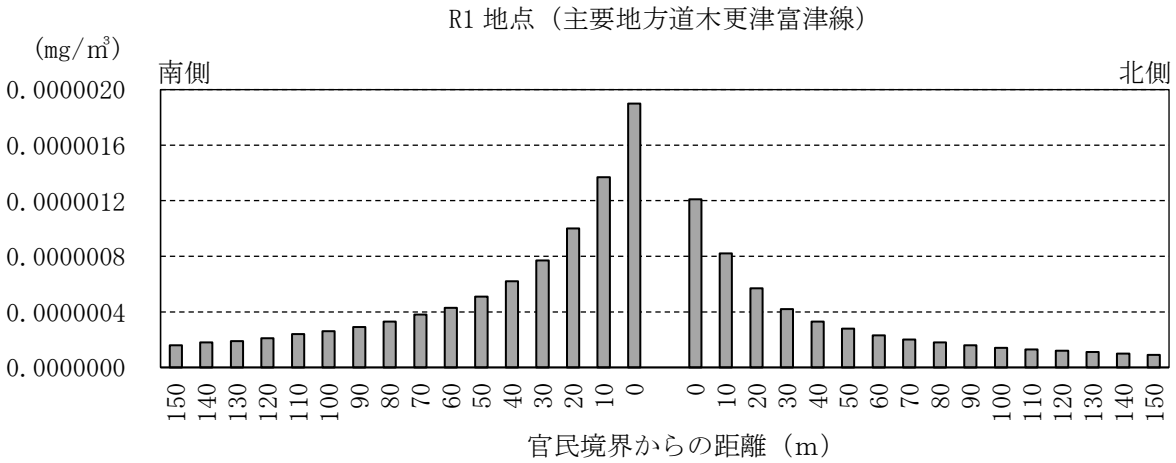


図 2.4　廃棄物運搬車両等による二酸化窒素寄与濃度の予測結果（年平均値）



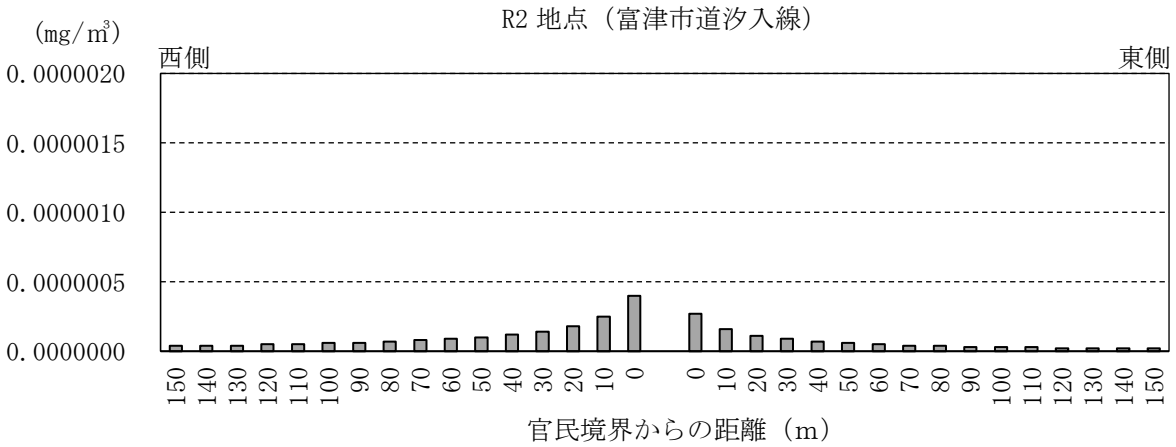


図 2.5　廃棄物運搬車両等による浮遊粒子状物質寄与濃度の予測結果（年平均値）

2.4　富津下飯野測定局の気象観測結果

富津下飯野測定局における平成 28 年度から令和 2 年度における風向・風速測定結果は、表 2.16 に示すとおりである。

表 2.16　風向・風速観測結果

年度	風速（m/s）					最多風向と出現率		静穏率（%）
	1 時間値			日平均値				
	平均	最高	最低	最高	最低	16 方位	（%）	
平成28	2.3	12.1	0.0	5.8	1.0	ENE	18.6	0.9
平成29	2.4	12.8	0.0	6.6	0.9	ENE	17.3	1.0
平成30	2.5	12.0	0.0	6.5	0.9	E	14.4	0.8
令和元	2.4	15.2	0.0	7.2	0.9	ENE	15.9	0.7
令和2	2.4	13.9	0.0	9.4	1.0	E	15.8	0.9

2.5　内部境界層発達によるフュミゲーション発生時の予測

海岸付近で海風により内部境界層が発生している場合、煙突から出た排煙が大気の不安定な内部境界層に流入して急速に地表近くまで降下し（フュミゲーション発生）、地上付近が高濃度となる可能性がある。このため、内部境界層発達によるフュミゲーション発生時の影響について「発電所に係る環境影響評価の手引」（平成 31 年 3 月、経済産業省産業保安グループ電力安全課）に基づき予測を行った。

１．予測地域等

予測地域は煙源より 4km の範囲、予測地点は風下軸上における最大着地濃度地点、予測対象時期は施設が定常の稼働状態となった時期において、内部境界層の出現時とした。

２．予測手法

海風に伴う内部境界層発達によるフュミゲーション発生時において、フュミゲーションモデル（Lyons & Cole、1973 年）を用いて 1 時間値の予測を行った。

a. 予測式等

(a) 拡散計算式

予測に用いる拡散式は、フュミゲーションモデル（Lyons & Cole、1973 年）に基づき内部境界層内の拡散式を用いた。

$$C(x,y,z) = \frac{Qp}{\sqrt{2\pi}\sigma_y u L(x)} \cdot exp\left[-\frac{1}{2}\left(\frac{y}{\sigma_y}\right)^2\right] \cdot 10^6$$

$C(x,y)$：計算点(x, y)の濃度
x：計算点の x 座標(m)
y：計算点の y 座標(m)
Q_p：点煙源強度(m³N/s)
σ_y：水平方向拡散パラメータ(m)
u：煙突頭頂部での風速(m/s)
$L(x)$：風下距離 x 地点における内部境界層高さ(m)

(b) 拡散パラメータ

水平方向の拡散パラメータは、本編の短期予測と同様にパスキル・ギフォード図の近似式を用い、評価時間においては 60 分に補正した。

b. 予測条件

(a) 煙源条件

煙源条件及び排出濃度は、本編の短期予測「(ア) 大気安定度不安定時」と同様とした。

(b) 内部境界層の出現条件

上層気象観測結果をもとに、フュミゲーションが発生する可能性のある内部境界層の出現について検討を行った。

フュミゲーションが発生する可能性のある内部境界層の出現条件は以下のとおり設定した。

・昼間の時間帯を対象とする。
（各測定月における昼間の区分は、5 月：昼間 5 時～18 時・夜間 19 時～4 時、8 月：昼間 6 時～18 時・夜間 19 時～5 時、11 月：昼間 7 時～16 時・夜間 17 時～6 時、2 月：昼間 7 時～17 時・夜間 18 時～6 時）

・地上から排煙の有効煙突高さ以上の高さまで海風〔風向：西～北北東（時計回り）〕が吹いている。

・海風層内に、地上から連続した不安定層又は中立層（気温勾配≦-0.8℃/100m）があるとき、それを内部境界層とし、この不安定層又は中立層の上限の高度を内部境界層の出現高度とする。

・海風層の高度が内部境界層高度より高い（上空に海風が吹いている）。

上層気象調査結果を上記の出現状況に基づいて解析した結果、4 季 224 回の観測中、7 回（3.1%）の観測結果が出現条件に該当した（表 2.17 参照）。

表 2.17　内部境界層の出現状況

No.	出現日時				対象事業実施区域				上層気象		大気安定度
					内部境界層		海風層		50m風		
	年	月	日	時刻	出現高度	気温勾配	出現高度	気温勾配	風向	風速	
					m	℃/100m	m	℃/100m	―	m/s	―
1	R2	11	14	9:00	450	-0.8	900	-0.5	N	8.8	D
2	R2	11	15	9:00	100	-0.8	150	-0.6	N	3.2	A-B
3	R3	2	5	9:00	500	-0.8	800	-0.7	N	3.8	B-C
4	R3	2	8	12:00	300	-0.8	350	-0.6	NNE	8.0	C
5	R3	5	13	9:00	150	-0.8	250	-0.6	N	9.6	D
6	R3	5	14	6:00	100	-1.0	150	-0.6	N	9.4	D
7	R3	5	14	9:00	200	-1.0	900	1.1	NNE	6.0	C

(c) 気象条件

上層気象観測結果から、内部境界層発達によりフュミゲーションが発生する可能性のある出現日時を対象に予測を行った。

風速は、上層気象観測による高度 50mの観測風を用い、海風として扱った風向は、すべて海岸線から内陸に直角に吹くものとした。

大気安定度は、地上気象観測結果から求めた大気安定度とした。

(d) 内部境界層の推定式

内部境界層高度は次式で求めた。なお、比例係数 a は「平坦な沿岸地域における海風時の熱的内部境界層高度 －TOKAI 1982～83 大気拡散実験の再解析および KASHIMA 1972～77 飛行機観測との比較－」（安達隆史他、大気環境学会誌第 38 巻第 6 号、平成 15 年）を参考に、8 と設定した。

$$L(x) = a \cdot x^{1/2}$$

$L(x)$：内部境界層発達高度（m）
a：比例計数
x：海岸線からの風下距離（m）

３．予測及び評価結果

内部境界層発達によりフュミゲーションが発生する条件のうち、着地濃度が最大となった出現日時（R3.2.5 9:00）における予測結果は、表 2.18 のとおりである。また、予測に用いた内部境界層と有効煙突高さとの関係を示したフュミゲーション発生時のモデル化図は、図 2.6 に示すとおりである。

最大濃度を示した気象条件は、風速 3.8m/s、内部境界層内の大気安定度 B-C であり、最大寄与濃度出現距離は、煙源から 100mとなった。本地点は、工業専用地域に位置するため、環境基準等は適用されないが、各項目について本編で設定した基準等を満足するものと評価する。

表 2.18　内部境界層発達によるフュミゲーション発生時の 1 時間値予測結果

項目	二酸化硫黄 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m³)	塩化水素 (ppm)	悪臭物質	
					アンモニア (ppm)	臭気指数
予測濃度	0.0125	0.0283	0.0148	0.0178	0.13	<10
寄与濃度	0.0115	0.0173	0.0058	0.0173	0.03	<10
バックグラウンド濃度[注1)]	0.001	0.011	0.009	0.0005	0.1	10
基準等	1時間値が[注2)] 0.1ppm 以下	1時間値が[注3)] 0.1～0.2ppm 以下	1時間値が[注2)] 0.20mg/m³以下	1時間値が[注4)] 0.02ppm 以下	1ppm [注5)]	13以下[注6)]

注 1）内部境界層発達によるフュミゲーション発生時のバックグラウンド濃度は、出現頻度が非常に少ないことから、より実態に近い拡散場条件とするため、最大濃度出現時(R3.2.5 9:00)における対象事業実施区域の測定結果の 1 時間値とした。また、塩化水素は 1 時間毎の測定ではないため、現地調査における日間値の最高値とし、アンモニア及び臭気指数については検出限界値とした。
注 2）環境基準値
注 3）二酸化窒素については、「二酸化窒素の人の健康影響に係る判定条件等について」（昭和 53 年 3 月、中央公害対策審議会答申）に示される短期暴露指針値(0.1～0.2ppm を超えないこと)を基準等として設定した。
注 4）塩化水素については、環境庁大気保全局長通達（昭和 52 年 6 月環大規第 136 号）において、排出基準を定める際に示された目標環境濃度(0.02ppm)を基準等として設定した。
注 5）アンモニアについては、悪臭防止法に基づく敷地境界の規制基準
注 6）臭気指数については、第 1 期事業における敷地境界の自主基準値

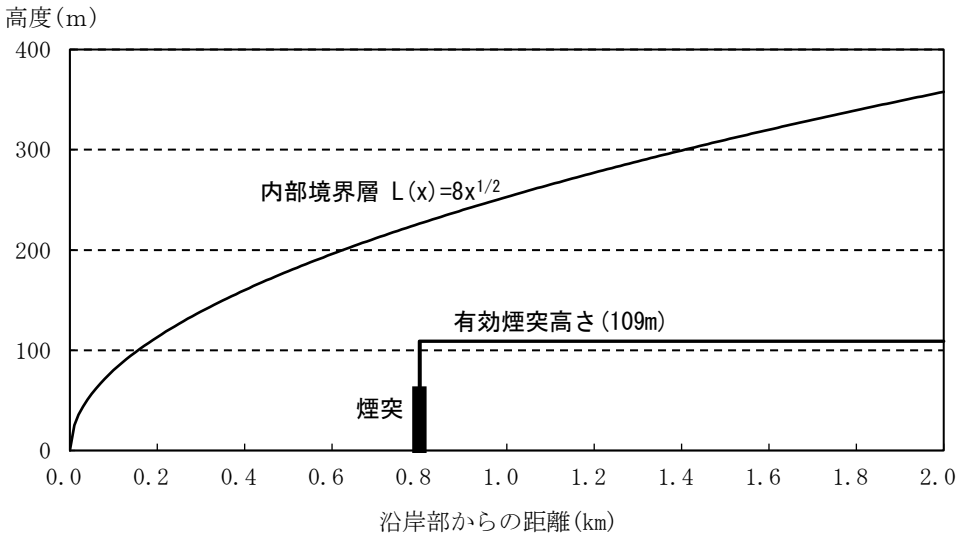


図 2.6　フュミゲーション発生時のモデル化図

2.6　自動車排出係数の算出方法

「国土技術政策総合研究所資料第 671 号　道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成 22 年度版）」（平成 24 年 2 月、国土交通省国土技術政策総合研究所）において、2010 年(平成 22)、2015 年(平成 27)、2020 年(令和 2)、2025 年(令和 7)及び 2030 年(令和 12)を対象とした中間年次における自動車排出係数が算定されている。

また、これらの中間年次の自動車排出係数の近似式及び係数一覧は表 2.19～表 2.20 に示すとおりであり、この近似式のうち 2025 年(令和 7)の係数に平均走行速度を代入し、排出係数を算出した。

表 2.19　中間年次の自動車排出係数の近似式係数一覧（小型車類）

年	項目	小型車類			
		A	B	C	D
2030 (令和12)	NO_x	-0.19696891	-0.00266758	0.00002001	0.12803385
	SPM	0.0066267499	-0.0000858465	0.000000801	0.0025264717
2025 (令和7)	NO_x	-0.18936377	-0.0027058	0.00002039	0.1296751
	SPM	0.0067094321	-0.0000860043	0.0000008025	0.002536897
2020 (令和2)	NO_x	-0.17845439	-0.0029545	0.00002254	0.13971848
	SPM	0.0086816658	-0.0000965549	0.0000008951	0.0029699259
2015 (平成27)	NO_x	-0.18742481	-0.003982	0.00003129	0.18271172
	SPM	0.0204858053	-0.0001713205	0.0000015448	0.0058884575
2010 (平成22)	NO_x	-0.25063622	-0.00657231	0.00005332	0.29056757
	SPM	0.0505593958	-0.0003571716	0.0000031505	0.0131649024

注 1）排出係数 $EF = A/V + BV + CV^2 + D$　V:平均走行速度(km/h)
注 2）適用範囲は、小型車類が 20～110km/h とする。

表 2.20　中間年次の自動車排出係数の近似式係数一覧（大型車類）

年	項目	大型車類			
		A	B	C	D
2030 (令和12)	NO_x	1.51907564	-0.02047372	0.0001719	0.85845306
	SPM	0.0733023707	-0.0002637561	0.0000021092	0.0120059692
2025 (令和7)	NO_x	1.85596118	-0.02539552	0.00021347	1.05948939
	SPM	0.0732428849	-0.0002792905	0.0000022382	0.0126419279
2020 (令和2)	NO_x	3.0427164	-0.04293909	0.00036373	1.78485146
	SPM	0.1540426649	-0.0005502412	0.000004387	0.025400138
2015 (平成27)	NO_x	5.3968052	-0.07824553	0.00067068	3.26578836
	SPM	0.5264308649	-0.0017836421	0.0000140949	0.0846006568
2010 (平成22)	NO_x	9.45345681	-0.14325844	0.00124097	5.98054622
	SPM	1.5469182952	-0.0051393982	0.0000404677	0.2460289003

注 1）排出係数 $EF = A/V + BV + CV^2 + D$　V:平均走行速度(km/h)
注 2）適用範囲は、大型車類が 20～90km/h とする。

2.7　年平均値から日平均値の 98%値（又は 2%除外値）への換算式

一般環境における二酸化硫黄及び浮遊粒子状物質の年平均値から日平均値（年間 2%除外値）への変換、二酸化窒素の年平均値から日平均値（年間 98%値）への変換は、平成 23 年度～令和 2 年度における対象事業実施区域周辺の大気環境常時測定局 2 局（一般局：君津人見測定局、富津下飯野測定局）の測定値を用いて設定した。

換算式の設定に用いたデータの散布図及び換算式は、図 2.7 に示すとおりである。

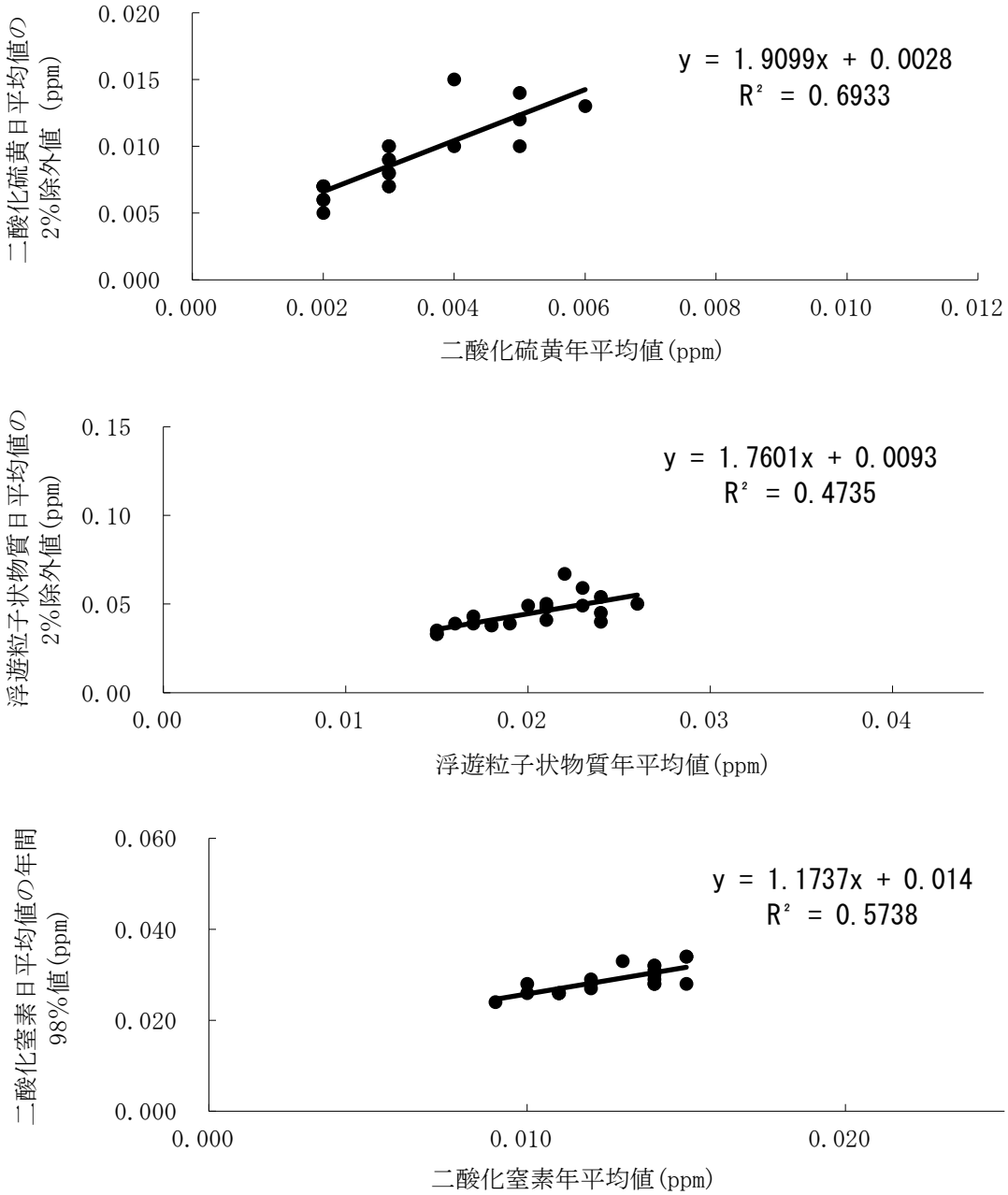


図 2.7　換算式の設定に用いたデータの散布図及び換算式

2.8　廃棄物処理施設の稼働による大気質の短期高濃度予測結果距離減衰図

廃棄物処理施設の稼働による高濃度出現条件時の各予測条件における寄与濃度の距離減衰図は、図 2.8～図 2.11 に示すとおりである。

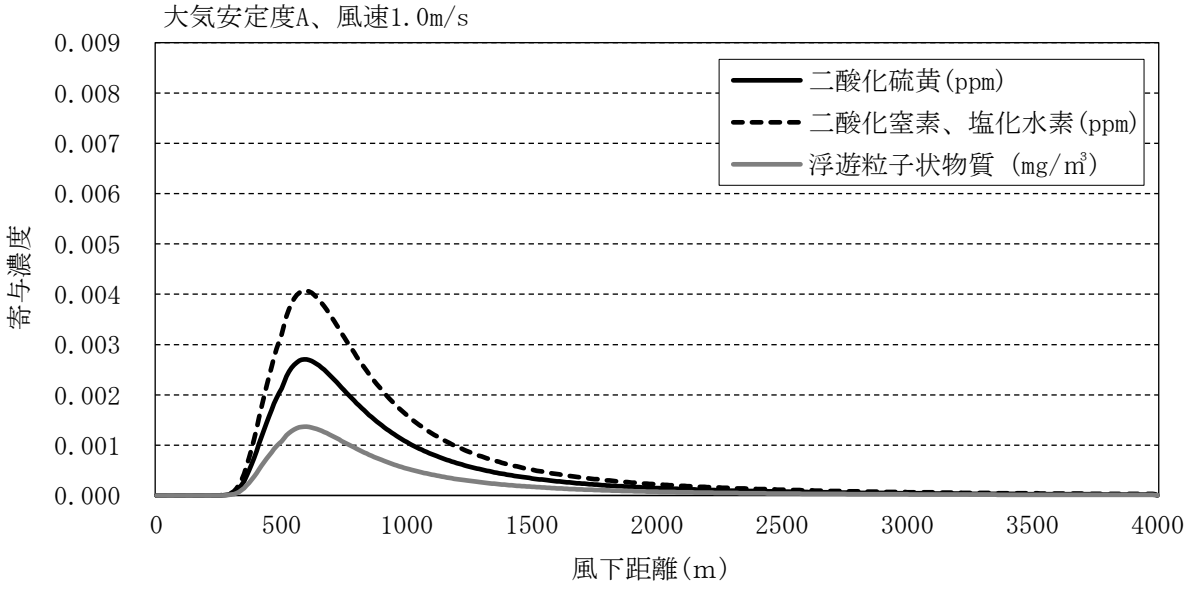


図 2.8　短期高濃度予測結果距離減衰図（大気安定度不安定時）

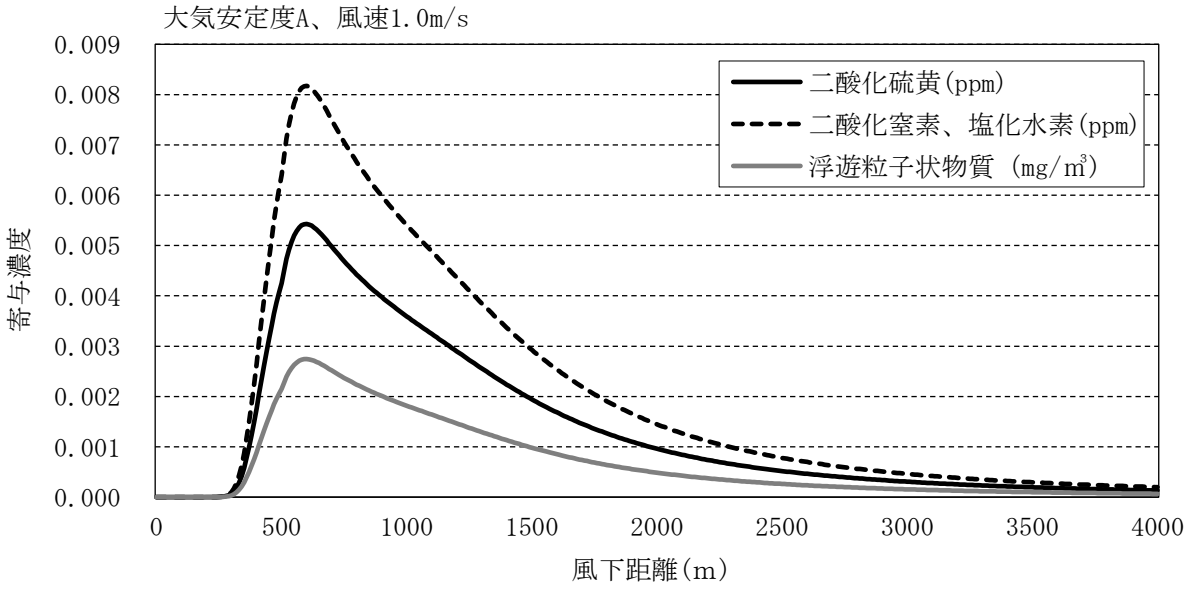


図 2.9　短期高濃度予測結果距離減衰図（上層逆転層発生時）

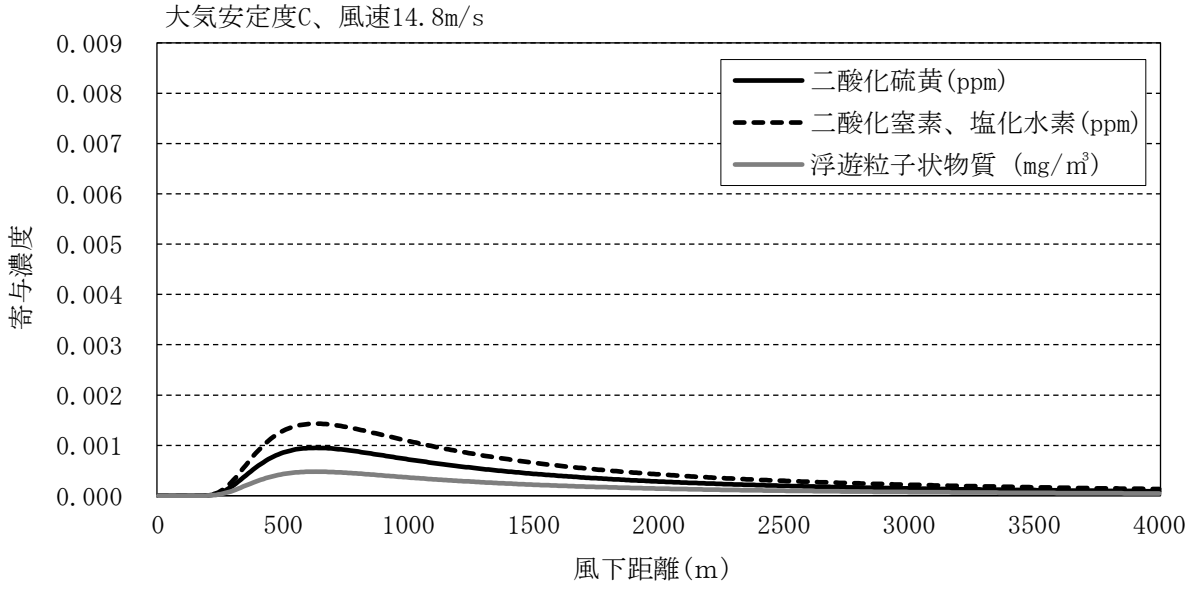


図 2.10　短期高濃度予測結果距離減衰図（ダウンウォッシュ時）

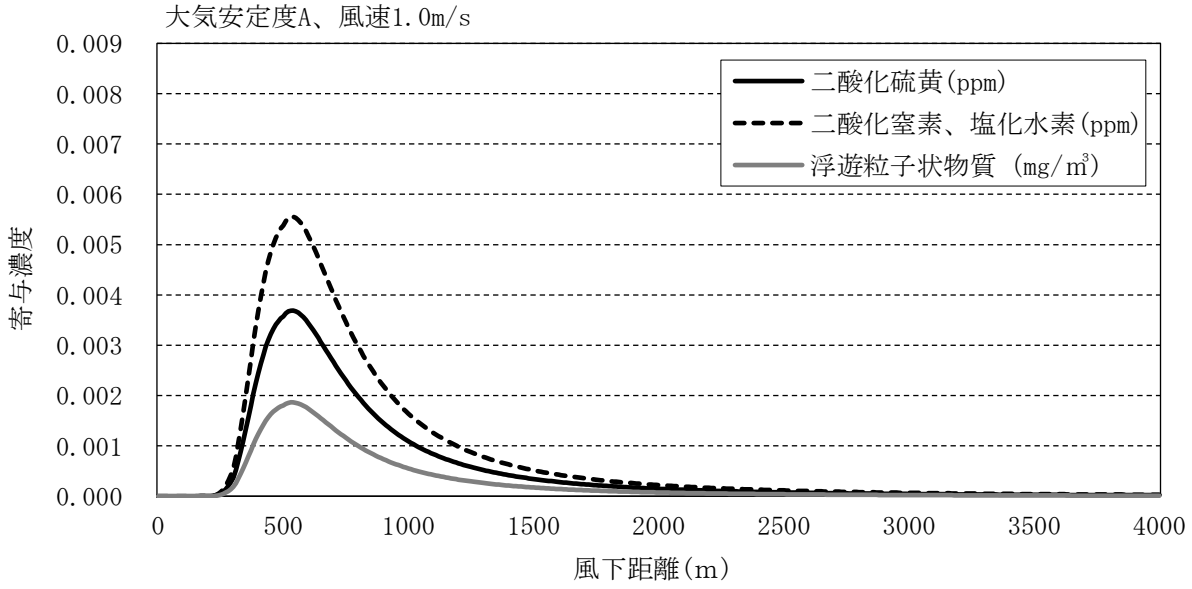


図 2.11　短期高濃度予測結果距離減衰図（ダウンドラフト時）

資料３　水質関連

資料3　水質

3.1　水質の文献調査結果

対象事業実施区域の北側にある富津地区産業廃棄物処分場では、産業廃棄物の埋立による周辺環境への影響を監視することを目的に、種々の環境調査を行っており、その一環として新富水路の水質調査が実施されている。

富津地区産業廃棄物処分場の処理排水等は、処分場脇の道路下の暗渠管へ放流された後、新富水路に合流している。

本事業における工事中の排水も同様に暗渠管へ放流され、対象事業実施区域外の排水と混合された後に新富水路へ合流する計画である。

当該調査における調査項目及び調査地点等は、表 3.1 及び図 3.1 に示すとおりである。

また、調査結果は、表 3.2～表 3.4 に示すとおりである。

なお、調査結果については、同処分場を管理する一般財団法人 千葉県まちづくり公社の承諾を得て、本環境影響評価の参考データとして、使用し、記載するものである。

表 3.1　水質の文献調査項目、調査地点、調査日等

調査項目	調査地点	調査年、調査時間帯
浮遊物質量、 水素イオン濃度(pH)、 ふっ素、砒素	新富水路の汐入橋付近等の 3 地点 (St.1～St.3)	平成 28 年度～令和 2 年度 月 1 回、大潮の上げ潮時

出典「富津地区産業廃棄物処分場環境調査結果報告書」(一般財団法人 千葉県まちづくり公社)

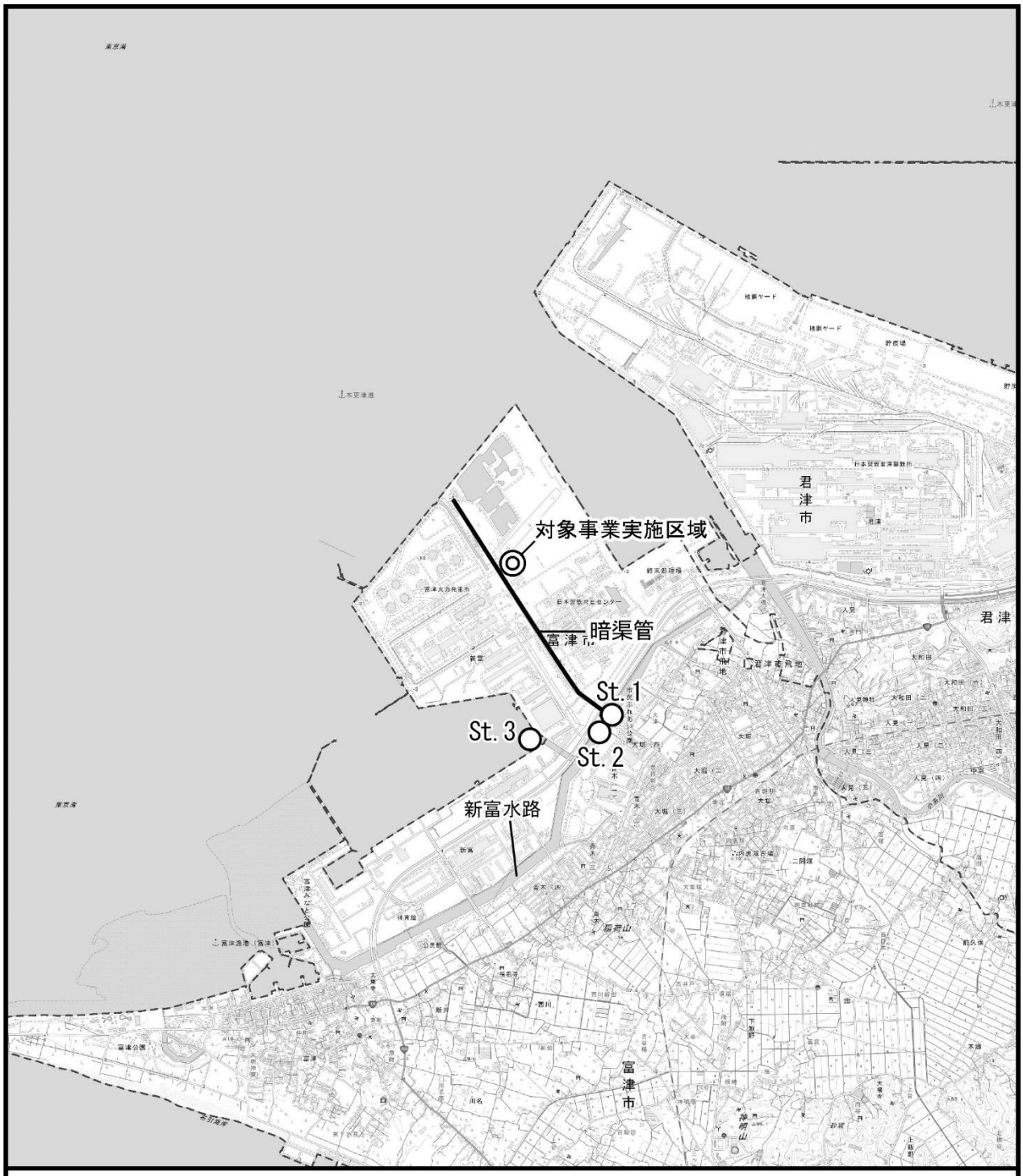


図 3.1　水質文献調査地点

凡　例

◎　対象事業実施区域

----　市境

○　水質調査地点

N

1:50,000

0　1　2km

出典「富津地区産業廃棄物処分場環境調査結果報告書」（一般財団法人 千葉県まちづくり公社）

表 3.2　水質の文献調査結果（St.1）

調査項目	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和1年度			令和2年度		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
浮遊物質量(mg/L)	4	9	1	3	8	1	3	11	2	3	7	1	3	8	1
水素イオン濃度(pH)	7.9	8.3	7.6	7.9	8.2	7.6	8.0	8.2	7.9	8.0	8.4	7.9	8.1	8.5	7.9
ふっ素(mg/L)	1.1	1.2	1.0	1.1	1.2	1.0	1.1	1.3	1.1	1.1	1.2	1.0	1.1	1.2	0.95
砒素(mg/L)	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001

出典「富津地区産業廃棄物処分場環境調査結果報告書」（一般財団法人　千葉県まちづくり公社）

表 3.3　水質の文献調査結果（St.2）

調査項目	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和1年度			令和2年度		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
浮遊物質量(mg/L)	4	8	2	3	9	1	4	11	2	4	9	2	4	11	1
水素イオン濃度(pH)	8.0	8.3	7.7	8.0	8.3	7.7	8.0	8.2	7.9	8.1	8.4	7.9	8.1	8.6	7.9
ふっ素(mg/L)	1.1	1.2	1.0	1.1	1.3	1.0	1.1	1.3	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.2	0.95
砒素(mg/L)	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001

出典「富津地区産業廃棄物処分場環境調査結果報告書」（一般財団法人　千葉県まちづくり公社）

表 3.4　水質の文献調査結果（St.3）

調査項目	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和1年度			令和2年度		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
浮遊物質量(mg/L)	3	6	2	2	5	1	4	11	2	2	5	1	3	5	2
水素イオン濃度(pH)	8.1	8.4	7.9	8.0	8.4	7.9	8.0	8.2	8.0	8.1	8.4	8.0	8.2	8.6	8.0
ふっ素(mg/L)	1.1	1.2	1.0	1.1	1.3	1.0	1.1	1.3	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.3	0.97
砒素(mg/L)	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001

出典「富津地区産業廃棄物処分場環境調査結果報告書」（一般財団法人　千葉県まちづくり公社）

資料４　騒音及び超低周波音関連

資料4　騒音及び超低周波音関連

4.1　騒音及び低周波音の現地調査結果

環境騒音、道路交通騒音、低周波音〔超低周波音（20Hz 以下の音）を含む 100Hz 以下の音〕の調査地点、調査日及び調査時間帯は、表 4.1 に示すとおりである（調査地点の位置は、本編「第 7 章 7.2.3 騒音及び超低周波音」参照）。

環境騒音の調査結果は表 4.2～表 4.3 に、道路交通騒音の調査結果は表 4.4～表 4.7 に、低周波音の調査結果は表 4.8～表 4.11 に示すとおりである。

表 4.1　騒音等の調査地点、調査日及び調査時間帯

調査項目	調査地点	調査日、調査時間帯
環境騒音	対象事業実施区域 （北側敷地境界及び 南側敷地境界）	令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
道路交通騒音	R1（主要地方道木更津富津線、工事中及び供用時の走行ルート）	【平日】 令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時 【休日】 令和 3 年 6 月　5 日(土)7 時～6 月　6 日(日)7 時
	R2（富津市道汐入線、供用時の走行ルート）	
低周波音	対象事業実施区域 （北側敷地境界及び 南側敷地境界）	令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時

表 4.2　環境騒音の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：対象事業実施区域北側敷地境界

時間帯	時間区分	等価騒音レベル(dB)	時間率騒音レベル(dB)		
		L_{eq}	L_5	L_{50}	L_{95}
7～8	昼間	47	51	44	42
8～9		47	50	46	44
9～10		46	50	45	43
10～11		48	51	46	44
11～12		51	53	50	47
12～13		52	54	51	49
13～14		52	55	52	50
14～15		52	55	52	50
15～16		54	56	53	51
16～17		56	58	55	53
17～18		56	59	56	54
18～19		55	58	55	53
19～20		53	56	53	51
20～21		53	55	52	50
21～22		53	55	53	51
22～23	夜間	52	54	52	50
23～0		51	53	51	49
0～1		52	54	52	50
1～2		51	53	51	50
2～3		51	52	50	49
3～4		51	52	51	49
4～5		52	54	51	50
5～6		52	54	51	49
6～7	昼間	51	54	50	48
昼間平均		53	54	51	49
夜間平均		51	53	51	50

注）時間区分は、騒音に係る環境基準の区分とした。

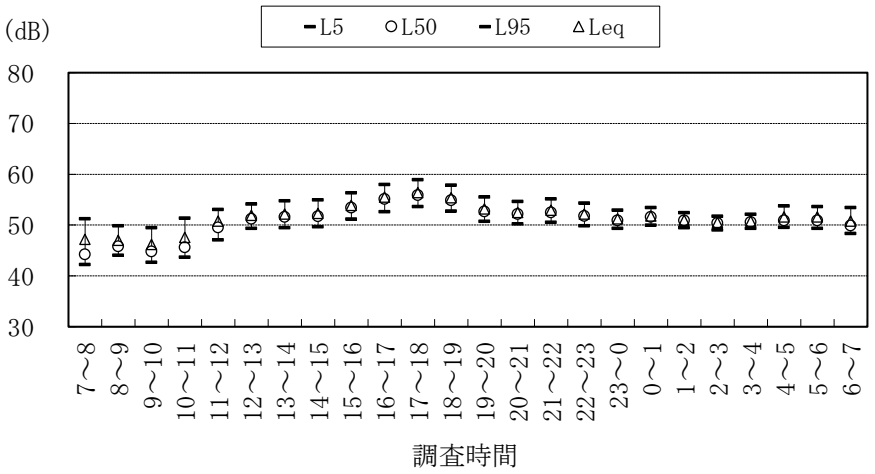


表 4.3　環境騒音の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：対象事業実施区域南側敷地境界

時間帯	時間区分	等価騒音レベル(dB)	時間率騒音レベル(dB)		
		L_{eq}	L_5	L_{50}	L_{95}
7～8	昼間	45	48	42	41
8～9		44	47	44	42
9～10		44	47	43	41
10～11		45	49	43	41
11～12		46	50	45	43
12～13		47	50	47	45
13～14		49	52	49	47
14～15		50	52	49	48
15～16		52	54	51	49
16～17		52	55	52	50
17～18		52	55	52	50
18～19		52	54	51	49
19～20		50	52	50	48
20～21		48	50	47	46
21～22		48	50	48	46
22～23	夜間	47	49	46	45
23～0		45	47	45	44
0～1		46	47	45	44
1～2		44	45	44	43
2～3		44	45	44	43
3～4		45	46	45	44
4～5		45	47	44	43
5～6		46	49	45	44
6～7	昼間	44	47	42	41
昼間平均		49	51	47	45
夜間平均		45	47	45	43

注）時間区分は、騒音に係る環境基準の区分とした。

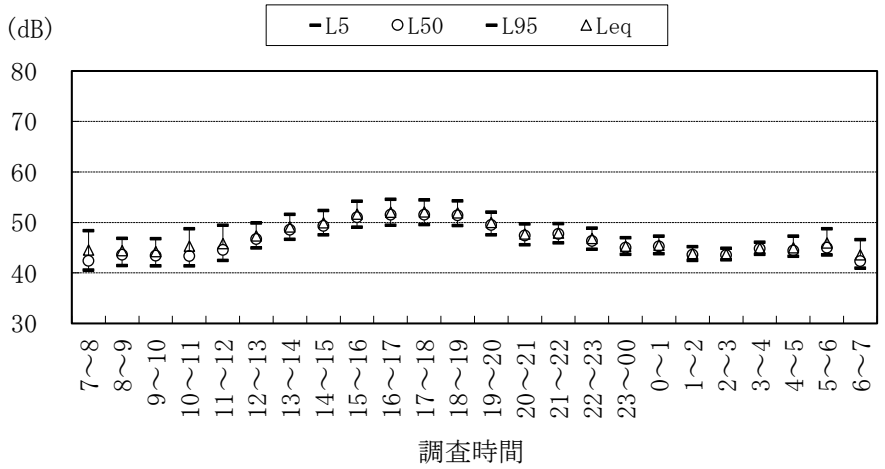


表 4.4　道路交通騒音の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

時間帯	時間区分	等価騒音レベル(dB)	時間率騒音レベル(dB)		
		L_{eq}	L_5	L_{50}	L_{95}
7～8	昼間	74	80	66	50
8～9		74	80	67	48
9～10		72	79	59	45
10～11		73	79	61	47
11～12		72	79	59	45
12～13		71	78	56	43
13～14		71	79	58	45
14～15		72	79	59	44
15～16		72	78	60	46
16～17		72	79	62	47
17～18		73	79	67	48
18～19		73	79	64	46
19～20		71	79	54	42
20～21		69	77	48	41
21～22		68	76	50	40
22～23	夜間	66	73	44	39
23～0		66	72	45	42
0～1		62	65	44	42
1～2		63	63	43	41
2～3		61	62	46	43
3～4		64	66	48	45
4～5		67	71	48	45
5～6		69	75	49	45
6～7	昼間	71	78	57	45
昼間平均		72	79	59	45
夜間平均		65	68	46	43

注）時間区分は、騒音に係る環境基準の区分とした。

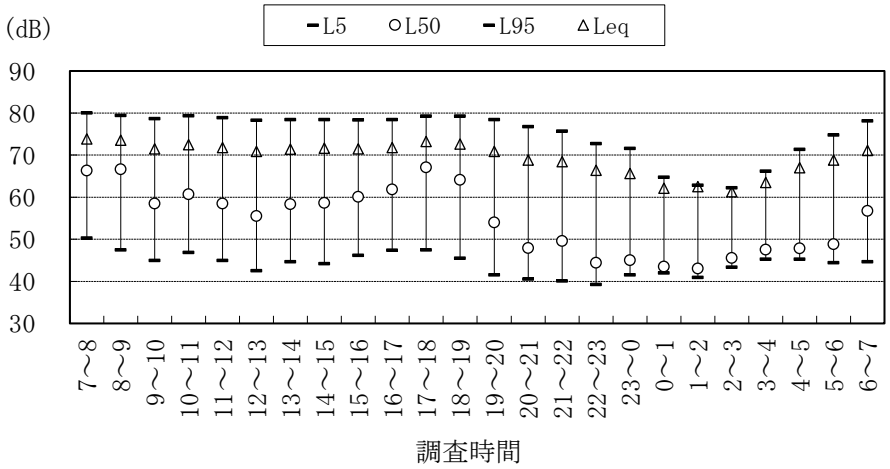


表 4.5　道路交通騒音の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：R2（富津市道汐入線）

時間帯	時間区分	等価騒音レベル(dB)	時間率騒音レベル(dB)		
		L_{eq}	L_5	L_{50}	L_{95}
7～8	昼間	66	72	59	44
8～9		65	72	57	41
9～10		63	70	52	40
10～11		63	70	54	42
11～12		62	68	51	41
12～13		63	70	52	40
13～14		62	69	51	39
14～15		62	69	51	39
15～16		62	69	52	40
16～17		63	70	55	42
17～18		64	70	59	43
18～19		64	70	56	42
19～20		62	68	50	38
20～21		58	64	45	38
21～22		60	64	43	36
22～23	夜間	55	58	39	33
23～0		49	53	38	32
0～1		47	45	35	32
1～2		50	46	36	33
2～3		47	45	39	35
3～4		49	48	37	34
4～5		52	53	40	35
5～6		59	65	44	38
6～7	昼間	63	70	51	39
昼間平均		63	69	52	40
夜間平均		53	52	38	34

注）時間区分は、騒音に係る環境基準の区分とした。

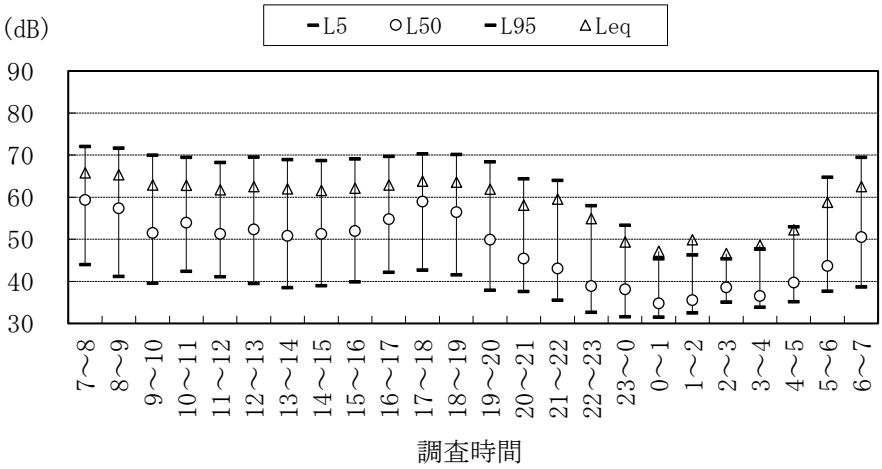


表 4.6　道路交通騒音の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

時間帯	時間区分	等価騒音レベル(dB)	時間率騒音レベル(dB)		
		L_{eq}	L_5	L_{50}	L_{95}
7～8	昼間	73	80	58	48
8～9		72	79	60	49
9～10		72	80	59	48
10～11		72	79	58	49
11～12		72	79	56	47
12～13		72	79	55	42
13～14		72	79	59	44
14～15		71	78	57	44
15～16		71	78	58	45
16～17		72	79	58	44
17～18		71	79	56	44
18～19		71	79	55	43
19～20		70	78	52	41
20～21		68	76	51	42
21～22		68	76	51	42
22～23	夜間	68	75	46	39
23～0		65	72	44	39
0～1		64	66	43	40
1～2		63	67	45	41
2～3		60	59	43	41
3～4		65	71	44	40
4～5		66	70	46	40
5～6		66	71	46	41
6～7	昼間	67	75	50	43
昼間平均		71	78	56	45
夜間平均		65	69	44	40

注）時間区分は、騒音に係る環境基準の区分とした。

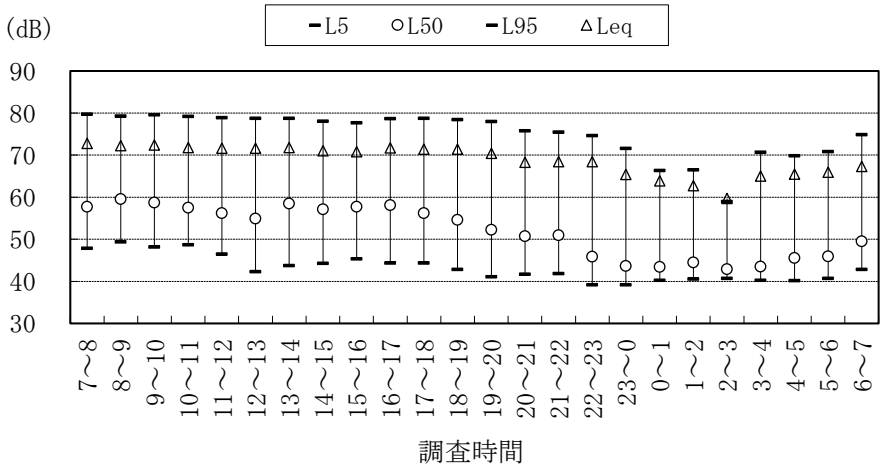


表 4.7　道路交通騒音の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時
調査地点：R2（富津市道汐入線）

時間帯	時間区分	等価騒音レベル(dB)	時間率騒音レベル(dB)		
		L_{eq}	L_5	L_{50}	L_{95}
7～8	昼間	63	70	53	43
8～9		63	70	52	42
9～10		64	70	56	44
10～11		67	72	58	46
11～12		64	71	57	43
12～13		63	70	54	42
13～14		63	70	55	42
14～15		63	70	54	41
15～16		63	69	54	40
16～17		63	70	56	42
17～18		64	70	57	41
18～19		63	70	53	40
19～20		61	67	49	40
20～21		58	65	45	37
21～22		57	60	41	35
22～23	夜間	52	56	39	34
23～0		48	49	37	33
0～1		47	48	39	35
1～2		49	47	38	35
2～3		47	49	40	36
3～4		52	52	41	37
4～5		52	54	39	35
5～6		56	61	43	37
6～7	昼間	57	64	45	38
昼間平均		63	69	52	41
夜間平均		52	52	39	35

注）時間区分は、騒音に係る環境基準の区分とした。

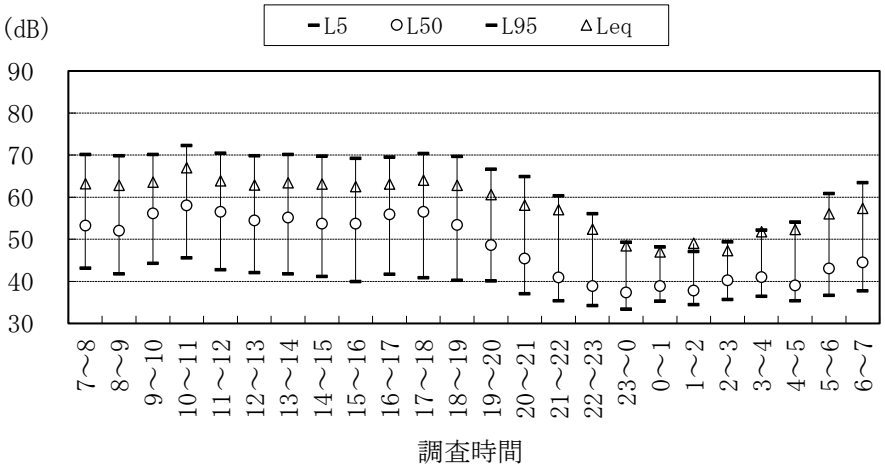


表 4.8　低周波音の現地調査結果（L_{50}値）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：対象事業実施区域北側敷地境界

（単位：dB）

時間帯	AP	1/3 オクターブバンド中心周波数（Hz）																			
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
7 時	76	68	67	66	65	64	63	61	60	59	57	58	63	57	58	58	57	55	55	54	49
8 時	72	60	60	59	59	59	57	57	57	56	55	57	63	57	57	58	58	56	57	56	51
9 時	76	67	66	65	64	63	62	61	60	59	57	58	64	57	57	57	57	55	58	55	51
10 時	77	69	68	66	65	65	63	63	61	60	58	59	65	58	57	58	57	56	58	56	52
11 時	75	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	57	62	58	56	57	56	55	58	56	51
12 時	77	69	68	66	65	64	63	61	60	59	58	58	62	59	57	58	56	56	60	61	51
13 時	78	70	68	67	65	64	63	62	61	60	58	60	62	60	59	59	59	58	61	59	53
14 時	78	70	68	67	65	64	62	61	60	59	58	59	63	60	58	59	60	59	61	60	54
15 時	78	70	68	66	65	63	62	61	60	59	58	58	62	60	58	59	59	59	67	69	54
16 時	83	75	74	72	71	69	68	66	65	63	62	61	63	61	59	59	60	60	67	69	54
17 時	84	76	75	74	72	71	69	68	66	65	63	62	63	61	59	59	60	59	69	73	54
18 時	78	65	64	63	61	60	59	59	57	57	57	58	60	59	58	58	59	58	69	74	54
19 時	77	65	63	62	61	60	58	58	57	57	57	58	61	59	57	57	59	57	66	71	52
20 時	74	57	57	56	56	56	56	56	55	56	56	58	60	58	58	57	59	57	65	70	52
21 時	74	57	56	55	55	56	55	55	55	56	55	57	60	58	58	57	58	57	65	70	52
22 時	72	57	57	57	56	57	56	56	55	56	55	56	59	58	58	57	58	57	62	63	51
23 時	71	57	57	58	56	57	56	55	54	56	55	56	60	58	59	57	58	57	59	58	51
24 時	70	52	51	52	52	54	53	54	53	55	54	56	60	58	58	57	58	57	60	59	52
1 時	69	48	48	52	51	53	52	53	52	54	54	55	61	57	58	56	56	55	56	56	50
2 時	69	48	48	49	51	52	52	53	52	54	54	56	63	57	59	56	56	55	56	55	50
3 時	70	49	49	51	51	53	53	54	53	55	55	57	64	58	60	57	57	56	56	56	51
4 時	70	48	48	51	51	53	54	54	53	55	55	58	64	58	60	56	56	55	56	56	52
5 時	71	53	53	54	54	54	55	55	54	56	57	58	65	58	59	56	56	55	56	55	50
6 時	71	55	55	56	55	56	55	55	54	55	56	57	64	57	57	56	56	55	55	55	49

表 4.9　低周波音の現地調査結果（L_{G5}値）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：対象事業実施区域北側敷地境界

（単位：dB）

時間帯	AP	1/3 オクターブバンド中心周波数（Hz）													
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20
7 時	74	34	38	42	46	48	51	54	56	58	60	63	70	69	70
8 時	74	29	34	38	41	44	47	50	53	55	57	60	70	67	69
9 時	75	35	39	44	46	49	52	55	57	61	62	65	71	70	70
10 時	76	36	40	44	47	50	52	55	58	60	63	66	73	70	70
11 時	75	34	39	42	45	48	51	54	57	59	61	65	71	69	70
12 時	76	39	43	46	50	52	55	57	59	61	64	66	70	71	71
13 時	77	38	43	46	49	52	54	57	59	62	64	67	71	72	71
14 時	77	41	44	47	50	53	55	57	60	62	64	67	71	72	71
15 時	77	39	43	46	49	52	54	57	59	62	63	66	71	72	71
16 時	82	45	49	53	56	58	61	63	66	68	70	73	75	77	76
17 時	83	46	50	53	56	59	62	64	66	69	71	74	76	78	77
18 時	75	37	41	44	47	49	52	54	56	58	61	64	68	71	70
19 時	74	36	39	42	44	47	50	52	55	57	60	63	68	69	69
20 時	73	26	31	34	38	41	44	47	50	53	56	60	67	69	69
21 時	73	24	28	32	36	40	43	46	48	52	55	60	68	68	69
22 時	72	24	29	33	36	40	43	46	49	53	55	59	66	68	69
23 時	73	22	27	32	36	40	42	45	48	52	54	59	67	68	70
24 時	72	17	21	26	30	35	38	42	45	50	53	59	66	68	69
1 時	72	13	19	26	29	34	37	41	44	49	53	58	68	67	69
2 時	74	11	18	24	28	33	37	41	44	50	53	59	70	68	71
3 時	75	15	20	26	29	34	38	42	45	50	54	60	72	68	71
4 時	74	13	17	24	28	34	38	42	45	50	54	60	72	68	71
5 時	75	19	24	29	33	36	39	43	46	51	56	61	72	68	71
6 時	74	22	27	31	35	39	41	45	48	51	55	60	72	67	69

表 4.10　低周波音の現地調査結果（L_{50} 値）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：対象事業実施区域南側敷地境界

（単位：dB）

時間帯	AP	1/3 オクターブバンド中心周波数（Hz）																			
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
7 時	75	66	65	65	64	64	63	62	60	59	57	57	62	57	58	57	56	55	54	52	47
8 時	71	60	58	58	58	58	57	57	57	55	54	56	62	57	57	57	56	55	55	54	50
9 時	77	68	67	66	66	65	64	63	62	61	59	58	63	58	56	57	56	55	56	53	49
10 時	78	71	69	68	67	66	65	64	62	61	58	59	65	58	57	58	56	55	56	54	49
11 時	76	68	67	65	64	63	62	61	59	58	57	56	60	57	56	56	55	53	56	54	48
12 時	81	73	72	71	70	69	67	66	65	63	61	60	61	59	56	57	55	53	57	57	47
13 時	83	75	74	73	72	71	70	69	68	66	64	63	63	61	60	60	59	56	59	57	49
14 時	87	79	78	78	77	76	75	74	73	71	69	68	66	64	62	61	61	57	59	57	51
15 時	90	81	81	80	79	78	77	76	75	74	72	70	69	66	64	63	61	58	62	63	51
16 時	90	82	81	80	79	78	77	76	75	73	72	70	68	66	63	62	61	59	61	62	51
17 時	88	80	79	78	77	76	75	74	73	71	70	68	66	64	61	60	61	58	62	65	50
18 時	87	78	77	77	76	75	74	73	72	70	68	66	65	62	60	59	60	56	63	67	50
19 時	75	65	64	63	62	61	61	60	58	58	58	57	59	56	56	55	57	53	62	67	47
20 時	70	51	51	51	52	53	54	54	53	54	55	56	58	56	56	55	56	54	60	65	47
21 時	70	51	51	50	51	53	53	54	53	54	55	56	59	55	56	55	56	55	60	65	47
22 時	68	52	52	53	52	54	53	54	53	54	54	54	57	55	56	55	55	54	57	58	46
23 時	68	53	53	53	52	53	53	54	52	54	54	55	58	55	56	56	55	54	54	53	46
24 時	67	50	50	50	51	53	53	54	52	53	54	54	58	55	56	55	55	54	55	54	45
1 時	67	47	48	51	50	52	52	53	52	53	53	54	58	55	56	54	55	53	53	50	44
2 時	67	48	48	49	50	51	52	53	52	53	53	54	60	55	57	54	56	54	54	50	45
3 時	68	48	48	50	51	52	53	54	53	54	54	56	62	56	57	55	56	54	54	50	46
4 時	68	48	48	50	51	52	53	54	53	54	54	56	62	56	57	54	55	54	54	50	46
5 時	69	49	49	51	52	53	54	54	54	55	56	57	63	56	57	55	53	53	53	50	46
6 時	69	53	52	54	53	54	54	54	53	54	55	55	62	56	56	55	54	53	52	49	45

表 4.11　低周波音の現地調査結果（L_{G5} 値）

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：対象事業実施区域南側敷地境界

（単位：dB）

時間帯	AP	1/3 オクターブバンド中心周波数（Hz）													
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20
7 時	74	31	36	40	44	47	50	53	56	58	60	63	70	68	70
8 時	73	28	33	37	40	44	47	50	52	55	57	60	69	68	69
9 時	76	35	40	43	47	50	53	56	58	60	62	65	72	70	70
10 時	76	37	41	45	48	52	54	57	59	61	63	66	73	70	70
11 時	74	34	39	43	46	49	52	54	56	59	61	64	69	68	70
12 時	78	40	44	48	51	54	57	60	62	64	67	68	71	72	71
13 時	82	43	47	51	55	58	61	63	66	69	71	73	75	77	76
14 時	85	45	50	54	57	60	64	66	69	72	75	77	79	80	79
15 時	88	47	52	56	59	63	66	69	71	74	77	79	81	83	82
16 時	89	49	53	57	60	63	66	69	72	75	77	80	82	84	83
17 時	87	47	51	56	59	62	65	68	70	73	76	78	80	81	81
18 時	85	45	50	53	56	60	63	65	69	71	74	76	78	79	78
19 時	73	33	37	40	44	47	50	53	55	58	61	63	68	68	69
20 時	71	19	24	27	32	35	39	43	45	50	55	58	65	66	67
21 時	71	18	22	26	29	35	38	42	45	50	54	58	67	65	68
22 時	70	20	25	28	32	36	39	43	45	50	53	57	64	65	68
23 時	70	19	24	28	31	35	38	42	45	49	53	58	65	65	67
24 時	70	15	20	25	29	34	37	42	44	49	53	57	64	65	67
1 時	70	12	19	25	28	33	37	41	43	48	52	56	65	65	67
2 時	72	13	19	24	27	32	36	41	44	48	52	57	67	65	69
3 時	72	14	19	25	28	33	38	42	45	49	53	58	69	66	68
4 時	72	12	17	23	27	33	38	42	45	50	53	59	69	66	68
5 時	73	16	21	26	30	34	38	43	46	51	56	59	70	66	70
6 時	72	20	25	29	32	36	39	43	46	49	54	58	69	66	67

4.2　廃棄物処理施設の稼働による騒音予測

予測に使用した外壁等の透過損失レベルは表 4.12 に、吸音率は表 4.13 に示すとおりである。

表 4.12　外壁等の透過損失レベル

（単位：dB）

材質	厚さ (mm)	中心周波数(Hz)							
		63	125	250	500	1k	2k	4k	8k
ALC	100	26	31	33	30	39	49	56	60
鋼板製サイディング	0.6	2	6	10	14	18	22	26	26

表 4.13　外壁の吸音率

材質	中心周波数(Hz)							
	63	125	250	500	1k	2k	4k	8k
ALC	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03

資料５　振動関連

資料5　振動関連

5.1　振動、地盤卓越振動数の現地調査結果

環境振動、道路交通振動、地盤卓越振動数の調査地点、調査日及び調査時間帯は、表 5.1 に示すとおりである（調査地点の位置は、本編「第 7 章 7.2.4 振動」参照）。

環境振動の調査結果は表 5.2～表 5.3 に、道路交通振動の調査結果は表 5.4～表 5.7 に、地盤卓越振動数の調査結果は表 5.8～表 5.9 に示すとおりである。

表 5.1　振動・地盤卓越振動数の調査地点、調査日及び調査時間帯

調査項目	調査地点	調査日、調査時間帯
環境振動	対象事業実施区域 （北側敷地境界及び 南側敷地境界）	令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
道路交通振動	R1（主要地方道木更津富津線、工事中及び供用時の走行ルート）	【平日】 令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時 【休日】 令和 3 年 6 月　5 日(土)7 時～6 月　6 日(日)7 時
	R2（富津市道汐入線、供用時の走行ルート）	
地盤卓越 振動数	R1（主要地方道木更津富津線、工事中及び供用時の走行ルート）	令和 3 年 6 月 5 日(土)～6 月 6 日(日)
	R2（富津市道汐入線、供用時の走行ルート）	

表 5.2　環境振動の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：対象事業実施区域北側敷地境界

時間帯	時間区分	時間率振動レベル(dB)		
		L_{10}	L_{50}	L_{90}
7～8	夜間	38	32	28
8～9	昼間	40	36	33
9～10		39	35	32
10～11		38	35	32
11～12		40	35	30
12～13		31	28	25
13～14		39	35	32
14～15		40	36	33
15～16		39	35	31
16～17		39	35	32
17～18		36	32	29
18～19		29	27	25
19～20	夜間	27	25	24
20～21		27	25	24
21～22		27	25	24
22～23		27	25	24
23～0		26	25	24
0～1		26	25	24
1～2		26	25	24
2～3		26	25	24
3～4		26	25	24
4～5		26	25	23
5～6		26	24	23
6～7		28	25	24
昼間平均		37	33	30
夜間平均		27	26	24

注）時間区分は、富津市環境条例に基づく振動の規制基準の区分とした。
　　時間率振動レベルの 30dB 未満は参考値とする。

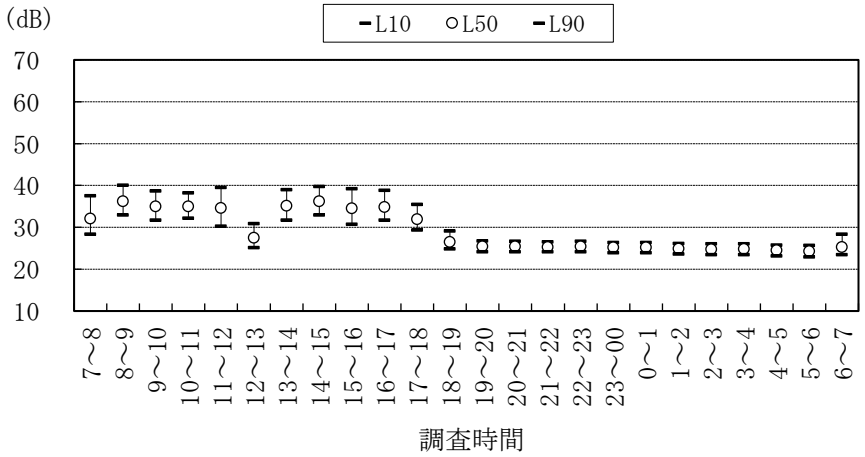


表 5.3　環境振動の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時
調査地点：対象事業実施区域南側敷地境界

時間帯	時間区分	時間率振動レベル(dB)		
		L_{10}	L_{50}	L_{90}
7～8	夜間	41	35	31
8～9	昼間	43	39	36
9～10		41	38	34
10～11		41	38	35
11～12		42	37	32
12～13		34	30	27
13～14		42	38	34
14～15		43	39	36
15～16		42	37	33
16～17		42	37	34
17～18		37	34	32
18～19		30	26	24
19～20	夜間	27	25	24
20～21		26	25	24
21～22		26	25	24
22～23		27	26	24
23～0		27	26	24
0～1		27	26	24
1～2		27	25	24
2～3		26	25	23
3～4		26	25	23
4～5		26	25	23
5～6		26	25	23
6～7		31	27	24
昼間平均		40	36	33
夜間平均		28	26	24

注）時間区分は、富津市環境条例に基づく振動の規制基準の区分とした。
　　時間率振動レベルの 30dB 未満は参考値とする。

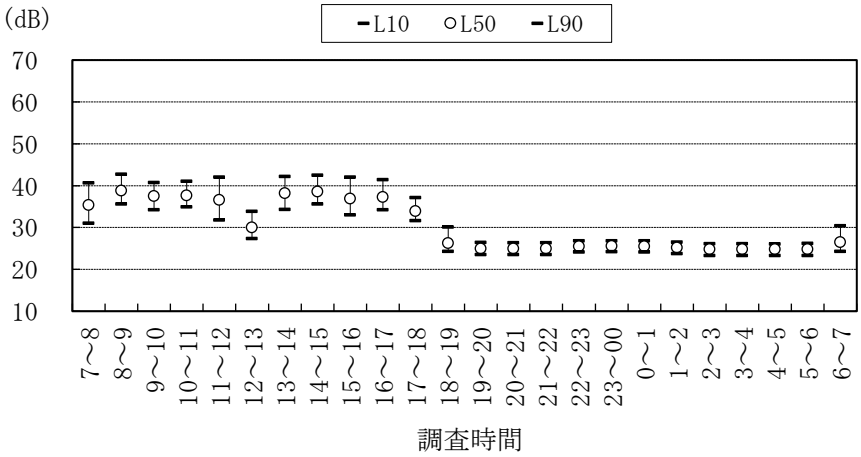


表 5.4　道路交通振動の現地調査結果

調査期間：平日（令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時）
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

時間帯	時間区分	時間率振動レベル(dB)		
		L_{10}	L_{50}	L_{90}
7～8	夜間	44	35	30
8～9	昼間	47	37	31
9～10		48	37	30
10～11		48	37	30
11～12		47	36	29
12～13		45	34	28
13～14		48	37	30
14～15		48	36	29
15～16		45	34	28
16～17		44	34	29
17～18		42	34	28
18～19		40	32	27
19～20	夜間	37	30	26
20～21		34	28	25
21～22		34	27	25
22～23		32	26	24
23～0		31	26	24
0～1		29	26	24
1～2		30	26	24
2～3		29	25	23
3～4		34	26	24
4～5		32	26	24
5～6		37	29	25
6～7		44	33	27
昼間平均		46	35	29
夜間平均		34	28	25

注）時間区分は、富津市環境条例に基づく振動の規制基準の区分とした。
　　時間率振動レベルの 30dB 未満は参考値とする。

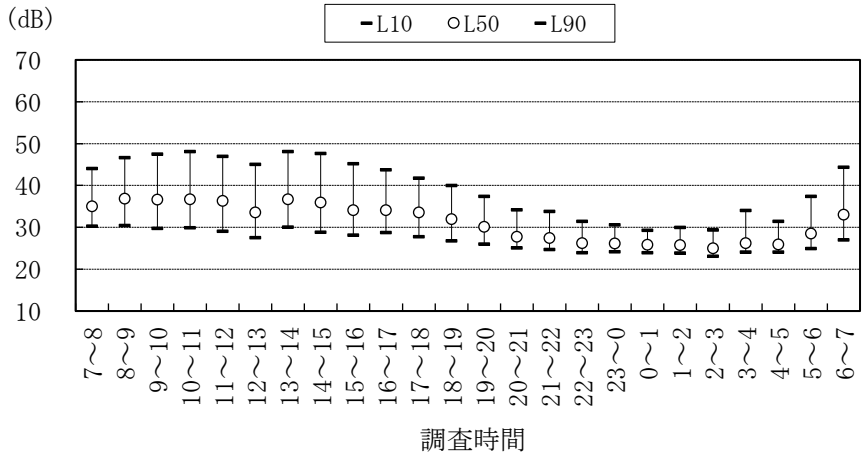


表 5.5　道路交通振動の現地調査結果

調査期間：平日（令和 3 年 6 月 10 日(木)7 時～6 月 11 日(金)7 時）
調査地点：R2（富津市道汐入線）

時間帯	時間区分	時間率振動レベル(dB)		
		L_{10}	L_{50}	L_{90}
7～8	夜間	35	28	24
8～9	昼間	34	29	25
9～10		35	28	25
10～11		34	29	26
11～12		34	28	25
12～13		33	28	25
13～14		34	29	26
14～15		34	29	26
15～16		33	28	25
16～17		35	29	26
17～18		35	29	25
18～19		34	28	24
19～20	夜間	31	26	23
20～21		28	24	21
21～22		29	24	21
22～23		25	22	20
23～0		25	22	19
0～1		24	22	19
1～2		24	21	19
2～3		22	20	18
3～4		24	21	18
4～5		26	21	19
5～6		28	23	20
6～7		32	26	23
昼間平均		34	28	25
夜間平均		27	23	20

注）時間区分は、富津市環境条例に基づく振動の規制基準の区分とした。
　　時間率振動レベルの 30dB 未満は参考値とする。

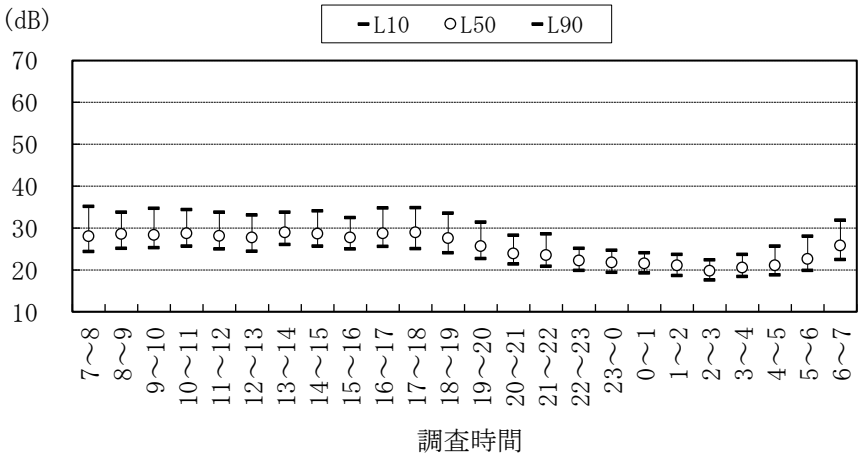


表 5.6　道路交通振動の現地調査結果

調査期間：休日（令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時）
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）

時間帯	時間区分	時間率振動レベル(dB)		
		L_{10}	L_{50}	L_{90}
7～8	夜間	42	32	26
8～9	昼間	43	33	27
9～10		46	32	27
10～11		44	32	27
11～12		44	32	26
12～13		40	31	26
13～14		43	32	27
14～15		41	32	27
15～16		38	31	26
16～17		39	31	27
17～18		37	30	26
18～19		36	28	24
19～20	夜間	33	27	25
20～21		32	27	24
21～22		30	26	24
22～23		30	26	23
23～0		29	25	23
0～1		28	25	24
1～2		28	25	23
2～3		27	25	23
3～4		29	25	23
4～5		29	25	23
5～6		31	26	24
6～7		32	26	23
昼間平均		41	31	26
夜間平均		31	26	24

注）時間区分は、富津市環境条例に基づく振動の規制基準の区分とした。
　　時間率振動レベルの 30dB 未満は参考値とする。

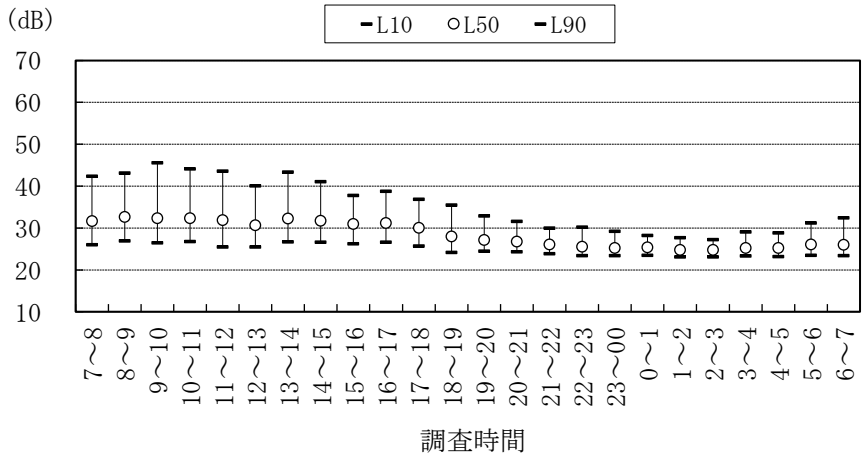


表 5.7　道路交通振動の現地調査結果

調査期間：休日（令和 3 年 6 月 5 日(土)7 時～6 月 6 日(日)7 時）
調査地点：R2（富津市道汐入線）

時間帯	時間区分	時間率振動レベル(dB)		
		L_{10}	L_{50}	L_{90}
7～8	夜間	32	26	23
8～9	昼間	32	27	24
9～10		34	28	25
10～11		33	28	25
11～12		32	27	24
12～13		31	27	23
13～14		33	28	25
14～15		32	26	23
15～16		30	26	23
16～17		32	27	24
17～18		30	26	23
18～19		29	25	22
19～20	夜間	29	23	20
20～21		27	23	20
21～22		25	21	19
22～23		24	21	19
23～0		23	20	18
0～1		23	20	19
1～2		22	20	18
2～3		23	20	19
3～4		24	21	19
4～5		24	21	19
5～6		28	21	19
6～7		26	22	19
昼間平均		32	27	24
夜間平均		25	21	19

注）時間区分は、富津市環境条例に基づく振動の規制基準の区分とした。
　　時間率振動レベルの 30dB 未満は参考値とする。

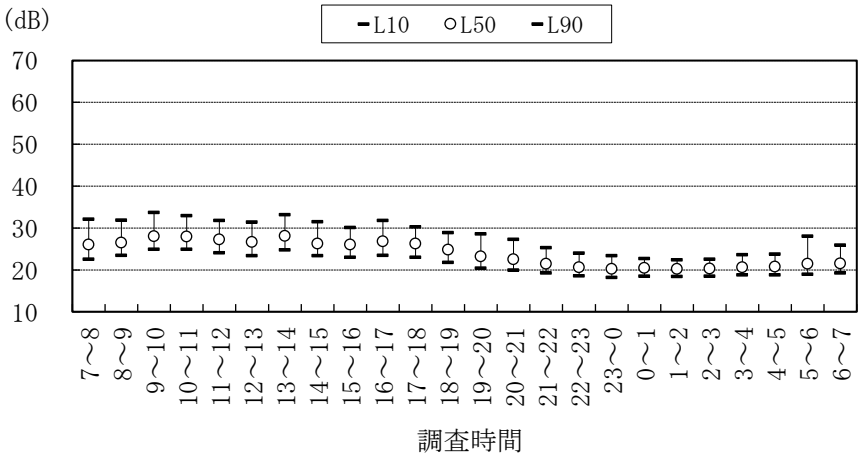


表 5.8　地盤卓越振動数の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日(土)～6 月 6 日(日)
調査地点：R1（主要地方道木更津富津線）
地盤卓越振動数：12.5Hz

中心周波数 (Hz)	振動加速度レベル（dB）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Over All値	61	58	58	57	56	56	56	55	55	55
1										
1.25										
1.6										
2										
2.5										
3.15										
4									31	
5			32			34		33		
6.3			32	31		35		35	31	
8	36	40	42	38	40	39	38	41	43	34
10	51	49	52	53	46	46	49	48	44	47
12.5	60	56	55	53	52	52	50	49	49	51
16	51	49	47	48	50	50	49	47	43	48
20	47	49	46	45	49	46	46	45	47	44
25	45	46	43	41	46	42	46	46	45	45
31.5	39	39	38	35	37	41	40	45	44	38
40	33		38	34	34	38	31	41	42	32
50			36	31		34		37	36	
63			30					35	39	
80	33					30		39	43	
最大値を示す中心周波数の平均値　　12.5Hz										

注）網掛けは最大値、空白は 30dB 未満

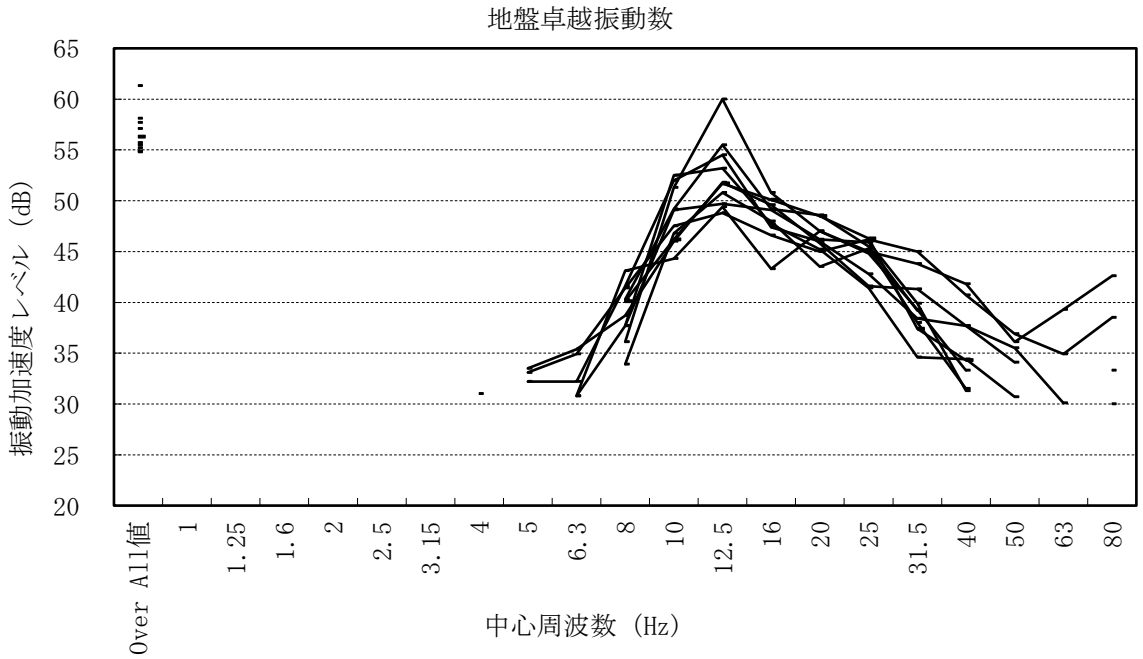
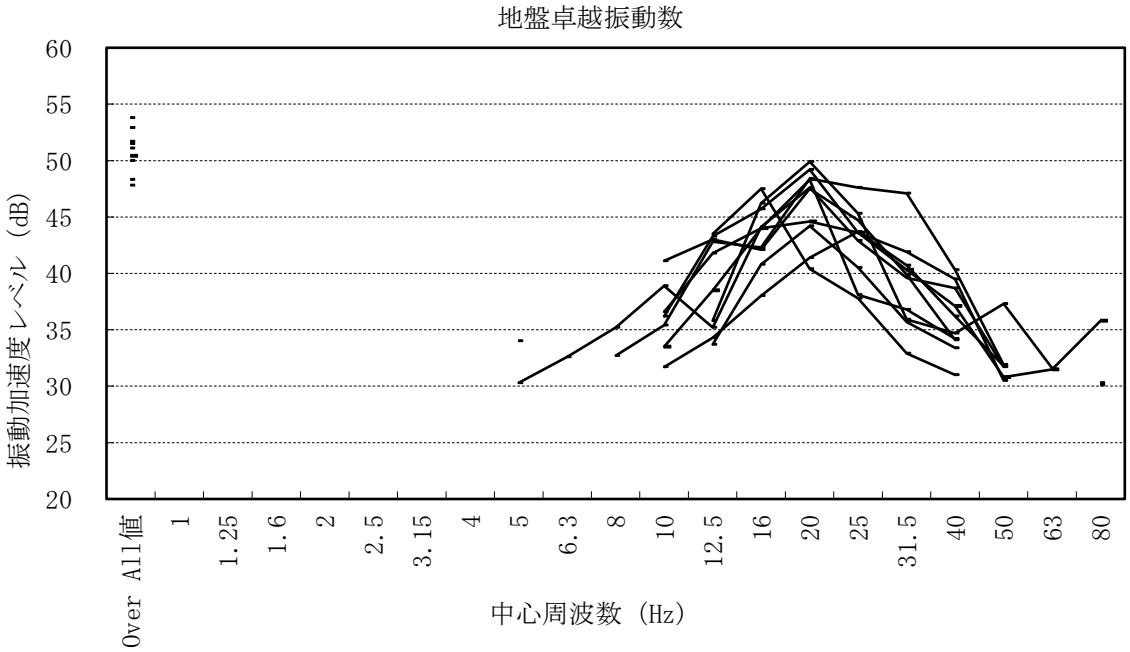


表 5.9　地盤卓越振動数の現地調査結果

調査期間：令和 3 年 6 月 5 日（土）～6 月 6 日（日）
調査地点：R2（富津市道汐入線）
地盤卓越振動数：20.1Hz

中心周波数 (Hz)	振動加速度レベル（dB）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Over All値	53	52	52	51	50	53	50	54	48	48
1										
1.25										
1.6										
2										
2.5										
3.15										
4										
5		30						34		
6.3		33								
8		35						33		
10	36	39	41	37	34			35	32	
12.5	43	35	43	42	39	36	44	43	34	34
16	46	44	42	44	44	46	48	42	38	41
20	49	48	48	48	45	50	40	48	41	44
25	44	43	45	38	44	45	38	48	44	41
31.5	42	40	40	37	40	36	33	47	41	36
40	40	39	34	34	37	35	31	40	36	33
50	31	32			31	37		32	32	
63					32	32				
80		30			36			30		
最大値を示す中心周波数の平均値　　20.1Hz										

注）網掛けは最大値、空白は 30dB 未満



5.2　道路交通振動の予測結果

表 5.10　工事用車両の走行による道路交通振動の予測結果（R1：主要地方道木更津富津線）

（単位：dB）

予測地点	予測時間帯	現況振動レベル(L_{10})①	現況交通量による予測結果②	将来交通量注)による予測結果③	工事用車両の走行による増加量④(③－②)	予測振動レベル①＋④
R1（主要地方道木更津富津線）	6:00～7:00	44	51.9	52.5	0.6	44.6
	7:00～8:00	44	52.2	52.8	0.6	44.6
	8:00～9:00	47	53.3	53.7	0.4	47.4
	9:00～10:00	48	53.1	53.5	0.4	48.4
	10:00～11:00	48	52.5	52.9	0.4	48.4
	11:00～12:00	47	52.4	52.9	0.5	47.5
	12:00～13:00	45	51.0	51.7	0.7	45.7
	13:00～14:00	48	52.3	52.8	0.5	48.5
	14:00～15:00	48	52.5	53.0	0.5	48.5
	15:00～16:00	45	52.5	53.0	0.5	45.5
	16:00～17:00	44	51.0	51.6	0.6	44.6
	17:00～18:00	42	52.2	52.6	0.4	42.4
	18:00～19:00	40	51.2	51.9	0.7	40.7
	19:00～20:00	37	47.9	49.4	1.5	38.5

注）将来交通量は、現況交通量に工事用車両を加えた交通量を示す。

表 5.11　廃棄物運搬車両の走行による道路交通振動の予測結果（R1：主要地方道木更津富津線）

（単位：dB）

予測地点	予測時間帯	現況振動レベル(L_{10})①	現況交通量による予測結果②	将来交通量注)による予測結果③	廃棄物運搬車両の走行による増加量④(③－②)	予測振動レベル①＋④
R1（主要地方道木更津富津線）	6:00～7:00	44	51.9	51.9	0.0	44.0
	7:00～8:00	44	52.2	52.3	0.1	44.1
	8:00～9:00	47	53.3	53.5	0.2	47.2
	9:00～10:00	48	53.1	53.7	0.6	48.6
	10:00～11:00	48	52.5	53.3	0.8	48.8
	11:00～12:00	47	52.4	53.2	0.8	47.8
	12:00～13:00	45	51.0	51.7	0.7	45.7
	13:00～14:00	48	52.3	52.9	0.6	48.6
	14:00～15:00	48	52.5	53.2	0.7	48.7
	15:00～16:00	45	52.5	52.9	0.4	45.4
	16:00～17:00	44	51.0	51.0	0.0	44.0
	17:00～18:00	42	52.2	52.2	0.0	42.0
	18:00～19:00	40	51.2	51.2	0.0	40.0
	19:00～20:00	37	47.9	47.9	0.0	37.0
	20:00～21:00	34	46.1	46.1	0.0	34.0

注）将来交通量は、現況交通量に廃棄物運搬車両を加えた交通量を示す。

表 5.12　廃棄物運搬車両の走行による道路交通振動の予測結果（R2:富津市道汐入線）

（単位：dB）

予測地点	予測時間帯	現況振動レベル(L_{10})①	現況交通量による予測結果②	将来交通量注)による予測結果③	廃棄物運搬車両の走行による増加量④(③－②)	予測振動レベル①＋④
R2（富津市道汐入線）	6:00～7:00	32	36.0	36.0	0.0	32.0
	7:00～8:00	35	41.4	41.5	0.1	35.1
	8:00～9:00	34	40.6	41.0	0.4	34.4
	9:00～10:00	35	40.0	40.8	0.8	35.8
	10:00～11:00	34	40.7	41.6	0.9	34.9
	11:00～12:00	34	38.3	39.7	1.4	35.4
	12:00～13:00	33	38.7	39.5	0.8	33.8
	13:00～14:00	34	38.3	39.4	1.1	35.1
	14:00～15:00	34	38.9	39.9	1.0	35.0
	15:00～16:00	33	37.0	38.1	1.1	34.1
	16:00～17:00	35	40.5	40.5	0.0	35.0
	17:00～18:00	35	41.5	41.6	0.1	35.1
	18:00～19:00	34	39.4	39.4	0.0	34.0
	19:00～20:00	31	36.4	36.5	0.1	31.1
	20:00～21:00	28	31.3	31.6	0.3	28.3

注）将来交通量は、現況交通量に廃棄物運搬車両を加えた交通量を示す。

資料６　土壌関連

資料6　土壌関連

6.1　土壌汚染の現地調査結果

6.1.1　表層調査

表 6.1 に示すとおり 1 検体/900 ㎡（30m格子）の密度で調査地点を設定した（図 6.1 参照）。

土壌ガスの調査結果は表 6.3～表 6.4 に、土壌溶出量の調査結果は表 6.5～表 6.6 に、土壌含有量の調査結果は表 6.7～表 6.8 に、1,4-ジオキサン及びダイオキシン類の調査結果は表 6.9～表 6.12 に示すとおりである。

表 6.1　土壌汚染に係る調査地点等（表層調査）

<table>
<tr><th>特定有害物質等の種類</th><th>調査地点</th><th>調査内容</th><th>調査
検体数</th><th>調査日</th></tr>
<tr><td>第一種特定有害物質
（揮発性有機化合物）</td><td>30m格子内の 1 地点</td><td>土壌ガス調査</td><td rowspan="6">40</td><td rowspan="6">令和元年
11 月 11 日～
11 月 15 日、
11 月 20 日</td></tr>
<tr><td>第二種特定有害物質
（重金属等）</td><td rowspan="4">30m格子内の対象区画で
複数地点均等混合
(5 地点均等混合法を基本)</td><td>土壌溶出量調査
土壌含有量調査</td></tr>
<tr><td>第三種特定有害物質
（農薬等）
1,4-ジオキサン</td><td>土壌溶出量調査</td></tr>
<tr><td>銅</td><td>土壌含有量調査</td></tr>
<tr><td>ダイオキシン類</td><td>土壌含有量調査</td></tr>
</table>

6.1.2　深度方向調査

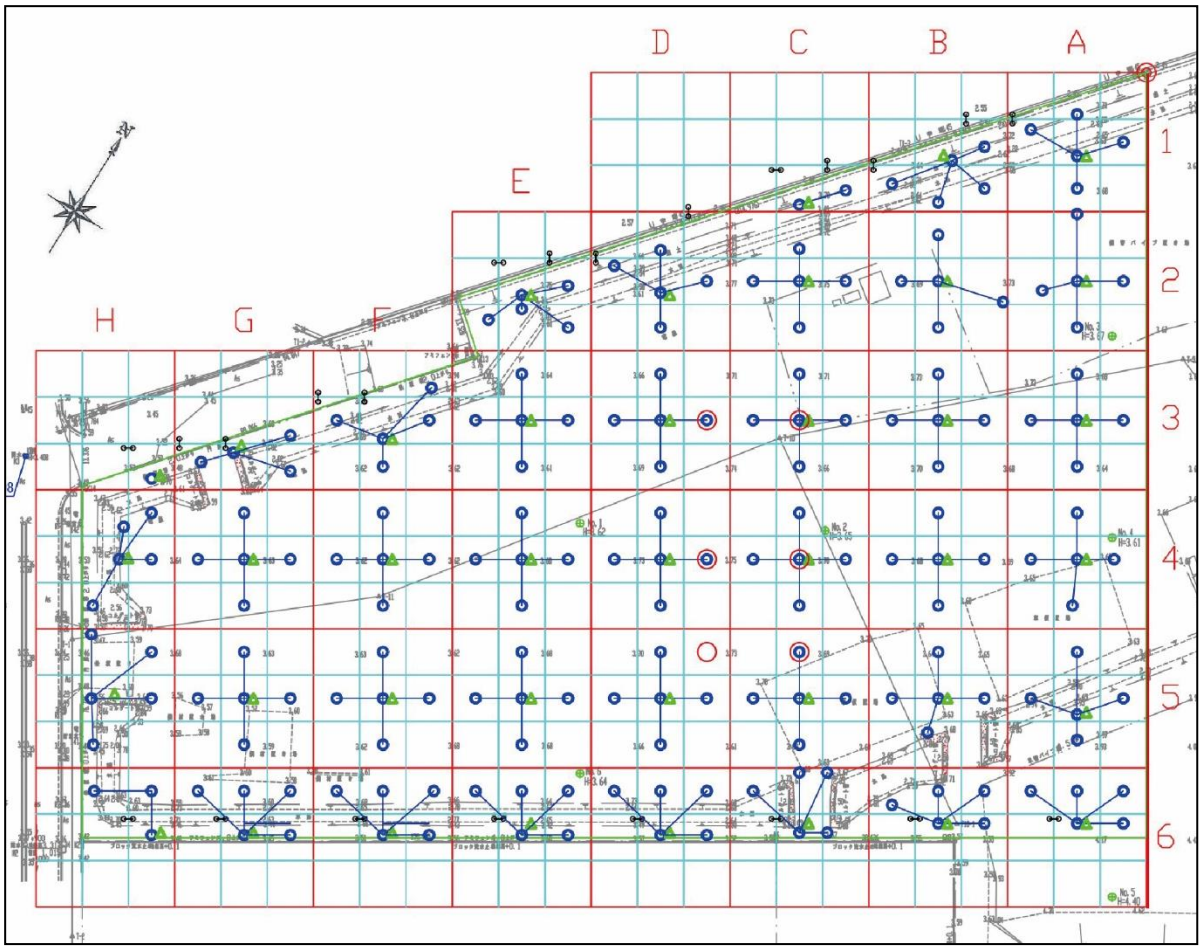
掘削予定範囲を対象として、表 6.2 に示すとおり、1 検体/900 ㎡（30m格子）の密度で調査地点を設定した（図 6.2 参照）。

調査深度は、各 30m格子内の最大掘削深度＋1mまでとし、試料採取は、1mごとに（最大深さ 9m）実施した。

土壌溶出量の調査結果は表 6.13～表 6.14 に、土壌含有量の調査結果は表 6.15～表 6.16 に示すとおりである。

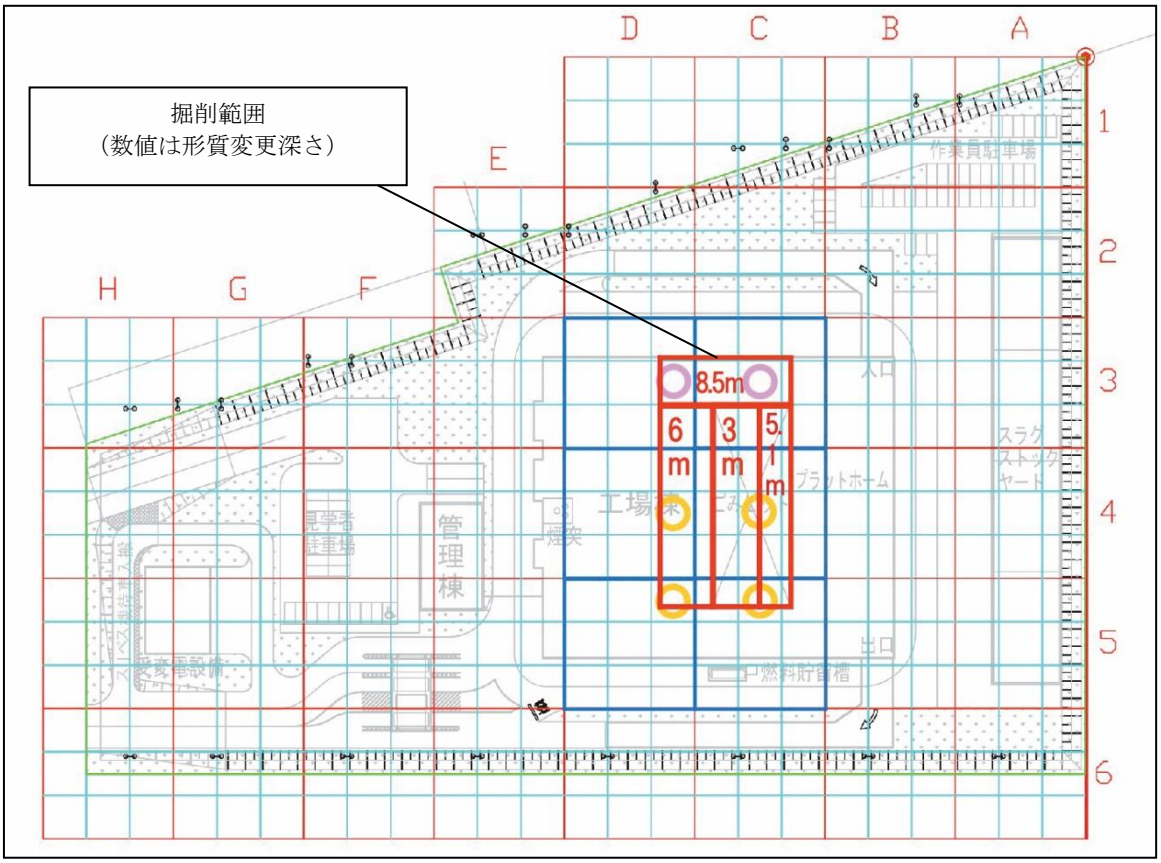
表 6.2　土壌汚染に係る調査地点等（深度方向調査）

<table>
<tr><th>特定有害物質等の種類</th><th>調査
地点</th><th>深度
（試料採取 1m毎）</th><th>調査
検体数</th><th>調査日</th></tr>
<tr><td rowspan="2">第二種特定有害物質
（土壌溶出量調査、
土壌含有量調査）
銅（土壌含有量調査のみ）</td><td>4</td><td>7.0m</td><td>28</td><td rowspan="2">令和元年
11 月 11 日～11 月 15 日、
11 月 20 日</td></tr>
<tr><td>2</td><td>9.0m</td><td>18</td></tr>
</table>



凡　例
- 30m区画線
- 10m区画線
- 土壌試料採取地点（複数地点均等混合法）
- 土壌ガス採取地点
- 深度方向ボーリング

図 6.1　土壌汚染調査地点（表層調査）



凡　例
- 30m区画線
- 10m区画線
- 7.0mボーリング地点
- 9.0mボーリング地点

図 6.2　土壌汚染調査地点（深度方向調査）

表 6.3　土壌ガス調査結果①（表層調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	A1	A2	A3	A4	A5	A6	B1	B2	B3	B4	B5	B6	C1	C2	C3	C4	C5	C6	D2	D3
クロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
四塩化炭素	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,2-ジクロロエタン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,1-ジクロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,2-ジクロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,3-ジクロロプロペン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ジクロロメタン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
テトラクロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,1,1-トリクロロエタン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,1,2-トリクロロエタン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
トリクロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ベンゼン	volppm	0.05	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

表 6.4　土壌ガス調査結果②（表層調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	D4	D5	D6	E2	E3	E4	E5	E6	F3	F4	F5	F6	G3	G4	G5	G6	H3	H4	H5	H6
クロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
四塩化炭素	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,2-ジクロロエタン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,1-ジクロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,2-ジクロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,3-ジクロロプロペン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ジクロロメタン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
テトラクロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,1,1-トリクロロエタン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
1,1,2-トリクロロエタン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
トリクロロエチレン	volppm	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ベンゼン	volppm	0.05	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

表 6.5　土壌溶出量調査結果①（表層調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	溶出量基準	A1	A2	A3	A4	A5	A6	B1	B2	B3	B4	B5	B6	C1	C2	C3	C4	C5	C6	D2	D3
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
六価クロム化合物	mg/L	0.01	0.05mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シアン化合物	mg/L	0.1	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀及びその化合物	mg/L	0.0005	0.0005mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
アルキル水銀	mg/L	0.0005	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	0.01mg/L以下	不検出	0.001	0.001	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.001	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛及びその化合物	mg/L	0.005	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
砒素及びその化合物	mg/L	0.005	0.01mg/L以下	不検出	0.007	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.005	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.1	0.8mg/L以下	0.5	1.0	0.9	0.9	0.7	0.8	0.5	0.7	0.8	0.4	0.6	1.1	0.3	0.8	2.1	1.1	0.9	0.7	0.6	0.2
ほう素及びその化合物	mg/L	0.1	1mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シマジン	mg/L	0.0003	0.003mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
チオベンカルブ	mg/L	0.002	0.02mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
チウラム	mg/L	0.0006	0.006mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ポリ塩化ビフェニル（PCB）	mg/L	0.0005	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
有機りん化合物	mg/L	0.1	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

※赤字；基準不適合

表 6.6　土壌溶出量調査結果②（表層調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	溶出量基準	D4	D5	D6	E2	E3	E4	E5	E6	F3	F4	F5	F6	G3	G4	G5	G6	H3	H4	H5	H6
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
六価クロム化合物	mg/L	0.01	0.05mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シアン化合物	mg/L	0.1	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀及びその化合物	mg/L	0.0005	0.0005mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
アルキル水銀	mg/L	0.0005	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	0.01mg/L以下	不検出	不検出	0.001	不検出	不検出	不検出	不検出	0.001	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.001	不検出	不検出	不検出
鉛及びその化合物	mg/L	0.005	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
砒素及びその化合物	mg/L	0.005	0.01mg/L以下	0.005	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.005	不検出	不検出	不検出
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.1	0.8mg/L以下	0.4	0.5	1.1	0.8	0.4	0.7	0.2	0.9	1.2	0.3	0.3	0.4	1.5	0.5	1.0	0.7	2.3	0.3	0.6	1.2
ほう素及びその化合物	mg/L	0.1	1mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シマジン	mg/L	0.0003	0.003mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
チオベンカルブ	mg/L	0.002	0.02mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
チウラム	mg/L	0.0006	0.006mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ポリ塩化ビフェニル（PCB）	mg/L	0.0005	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
有機りん化合物	mg/L	0.1	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

※赤字；基準不適合

表 6.7　土壌含有量調査結果①（表層調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	含有量基準	A1	A2	A3	A4	A5	A6	B1	B2	B3	B4	B5	B6	C1	C2	C3	C4	C5	C6	D2	D3
カドミウム及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
六価クロム化合物	mg/kg	25	250mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シアン化合物	mg/kg	5	遊離シアンとして50mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀及びその化合物	mg/kg	1.5	15mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
セレン及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
砒素及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ふっ素及びその化合物	mg/kg	400	4,000mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ほう素及びその化合物	mg/kg	400	4,000mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
銅	mg/kg	2	125mg/kg未満	不検出	不検出	不検出	不検出	2	不検出	4	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

表 6.8　土壌含有量調査結果②（表層調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	含有量基準	D4	D5	D6	E2	E3	E4	E5	E6	F3	F4	F5	F6	G3	G4	G5	G6	H3	H4	H5	H6
カドミウム及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
六価クロム化合物	mg/kg	25	250mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シアン化合物	mg/kg	5	遊離シアンとして50mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀及びその化合物	mg/kg	1.5	15mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
セレン及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	21	不検出	不検出	不検出	17	不検出	不検出	不検出
砒素及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ふっ素及びその化合物	mg/kg	400	4,000mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	630	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ほう素及びその化合物	mg/kg	400	4,000mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
銅	mg/kg	2	125mg/kg未満	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

表 6.9　土壌溶出量調査結果①（1,4-ジオキサン）（表層調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	溶出量基準	A1	A2	A3	A4	A5	A6	B1	B2	B3	B4	B5	B6	C1	C2	C3	C4	C5	C6	D2	D3
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005	0.05mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

表 6.10　土壌溶出量調査結果②（1,4-ジオキサン）（表層調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	溶出量基準	D4	D5	D6	E2	E3	E4	E5	E6	F3	F4	F5	F6	G3	G4	G5	G6	H3	H4	H5	H6
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005	0.05mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

表 6.11　ダイオキシン類調査結果①（表層調査）

調査対象物質	単位	環境基準 (調査指標値)	A1	A2	A3	A4	A5	A6	B1	B2	B3	B4	B5	B6	C1	C2	C3	C4	C5	C6	D2	D3
ダイオキシン類	pg-TEQ/g-dry	1,000 (250)	1.3	0.33	0.15	0.68	3.3	2.6	2.9	0.025	0.10	0.36	0.33	4.8	0.85	0.63	0.088	0.19	0.80	2.8	0.30	0.031

※　調査指標値；この値以上である場合には、ダイオキシン類が蓄積した原因推定のための資料等調査及び状況に応じて土壌の追加調査を実施することとしている値

表 6.12　ダイオキシン類調査結果②（表層調査）

調査対象物質	単位	環境基準 (調査指標値)	D4	D5	D6	E2	E3	E4	E5	E6	F3	F4	F5	F6	G3	G4	G5	G6	H3	H4	H5	H6
ダイオキシン類	pg-TEQ/g-dry	1,000 (250)	0.61	0.43	1.9	0.70	1.6	0.22	0.54	1.6	2.2	0.036	0.17	1.2	2.4	0.14	0.68	1.1	4.1	1.0	0.76	1.0

※　調査指標値；この値以上である場合には、ダイオキシン類が蓄積した原因推定のための資料等調査及び状況に応じて土壌の追加調査を実施することとしている値

表 6.13　土壌溶出量調査結果①（深度方向調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	溶出量基準	C-3									C-4							C-5						
				1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m	9.0m	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
六価クロム化合物	mg/L	0.01	0.05mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シアン化合物	mg/L	0.1	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀及びその化合物	mg/L	0.0005	0.0005mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
アルキル水銀	mg/L	0.0005	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.005	0.001	不検出	不検出	不検出	0.001	不検出	不検出	0.001	不検出	不検出	不検出	不検出	0.001	不検出	不検出
鉛及びその化合物	mg/L	0.005	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
砒素及びその化合物	mg/L	0.005	0.01mg/L以下	不検出	0.005	0.006	0.011	0.017	0.034	0.044	0.082	0.074	不検出	不検出	0.006	0.009	0.013	0.029	0.11	不検出	0.005	0.006	0.016	0.024	0.027	0.020
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.1	0.8mg/L以下	2.4	0.3	0.4	0.1	0.1	0.2	0.4	0.8	0.2	0.9	1.9	0.6	0.2	0.3	0.3	0.6	2.7	1.0	0.3	0.4	0.2	0.2	不検出
ほう素及びその化合物	mg/L	0.1	1mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	0.3	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

※赤字；基準不適合

表 6.14　土壌溶出量調査結果②（深度方向調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	溶出量基準	D-3									D-4							D-5						
				1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m	9.0m	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
六価クロム化合物	mg/L	0.01	0.05mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シアン化合物	mg/L	0.1	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀及びその化合物	mg/L	0.0005	0.0005mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
アルキル水銀	mg/L	0.0005	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
セレン及びその化合物	mg/L	0.001	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002	0.003	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.001	不検出	不検出	0.001	0.001	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛及びその化合物	mg/L	0.005	0.01mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
砒素及びその化合物	mg/L	0.005	0.01mg/L以下	0.005	不検出	0.008	0.009	0.018	0.019	0.035	0.022	0.048	不検出	不検出	0.005	0.006	0.016	0.065	0.037	不検出	0.006	0.009	0.007	0.014	0.019	0.042
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.1	0.8mg/L以下	1.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.7	0.9	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.7	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
ほう素及びその化合物	mg/L	0.1	1mg/L以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

※赤字；基準不適合

表 6.15　土壌含有量調査結果①（深度方向調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	含有量基準	C-3									C-4							C-5						
				1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m	9.0m	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
カドミウム及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
六価クロム化合物	mg/kg	25	250mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シアン化合物	mg/kg	5	遊離シアンとして50mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀及びその化合物	mg/kg	1.5	15mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
セレン及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
砒素及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ふっ素及びその化合物	mg/kg	400	4,000mg/kg以下	3,500	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ほう素及びその化合物	mg/kg	400	4,000mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
銅	mg/kg	2	125mg/kg未満	不検出	不検出	不検出	不検出	4	不検出	不検出	2	2	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	2	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

表 6.16　土壌含有量調査結果②（深度方向調査）

調査対象物質	単位	定量下限値	含有量基準	D-3									D-4							D-5						
				1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m	9.0m	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
カドミウム及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
六価クロム化合物	mg/kg	25	250mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
シアン化合物	mg/kg	5	遊離シアンとして50mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀及びその化合物	mg/kg	1.5	15mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
セレン及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
砒素及びその化合物	mg/kg	15	150mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ふっ素及びその化合物	mg/kg	400	4,000mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ほう素及びその化合物	mg/kg	400	4,000mg/kg以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
銅	mg/kg	2	125mg/kg未満	不検出	不検出	4	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

資料７　植物関連

資料7　植物関連

7.1　植物確認種リスト

植物確認種リストは表 7.1 に示すとおりである。

表 7.1(1)　植物確認種リスト

No.	分類	科名	和名	確認時期						対象事業実施区域		外来種	備考
				令和2年		令和3年							
				初夏季	秋季	春季	初夏季	夏季	秋季	内	外		
1	シダ植物	トクサ	スギナ	○	○	○	○	○	○	○	○		
2			イヌスギナ			○		○		○	○		
3			イヌドクサ	○	○		○	○	○	○	○		
4		サンショウモ	アカウキクサ属	○	○				○	○	○	○	
5	裸子植物	マツ	アカマツ					○	○	○			植栽
6	被子植物	ヤマモモ	ヤマモモ	○	○	○	○	○	○		○		植栽
7	双子葉植物	ヤナギ	セイヨウハコヤナギ	○							○		植栽
8	離弁花類		アカメヤナギ			○				○	○		
9			タチヤナギ	○	○	○	○	○	○	○			
10			カワヤナギ	○		○		○	○	○	○		
-			ヤナギ属	△				△	△		△		
11		ブナ	ウバメガシ		○		○	○	○	○	○		植栽
12			アラカシ						○		○		
13			スダジイ	○		○	○		○		○		植栽
14			マテバシイ	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽
15		ニレ	ムクノキ	○		○	○	○	○		○		
16			エノキ	○	○	○	○	○	○	○	○		
17			アキニレ	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽・逸出
18			ケヤキ			○					○		
19		クワ	クワクサ					○	○		○		
20			ヒメコウゾ			○					○		
21			ヤマグワ	○	○	○	○	○	○	○	○		
22			マグワ				○	○	○	○	○	○	
23			イヌビワ			○			○		○		
24		タデ	スイバ				○	○		○	○		
25			ギシギシ	○		○					○		
26			ナガバギシギシ	○			○	○	○	○	○	○	
27			アレチギシギシ	○		○		○		○	○	○	
28			エゾノギシギシ			○					○	○	
29			ミチヤナギ			○	○	○		○			
30			イシミカワ				○	○			○		
31			イヌタデ			○		○	○	○	○		
32			ヤナギタデ		○					○			
33			オオイヌタデ		○	○	○	○	○	○	○		
34			イタドリ				○			○			
35		ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ				○	○	○		○	○	
36		スベリヒユ	スベリヒユ					○		○	○		
37		ナデシコ	ウシオハナツメクサ	○						○			
38			シロバナマンテマ			○	○			○	○	○	
39			オランダミミナグサ			○				○		○	
40			ハマツメクサ	○		○	○			○	○		
41			ノミノツヅリ	○		○					○		
42		アカザ	シロザ			○	○	○	○	○	○		
43			アリタソウ						○	○		○	
44		クスノキ	タブノキ	○	○	○	○	○	○	○	○		一部植栽
45			クスノキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46			ヤブニッケイ	○			○	○	○		○		植栽
47			シロダモ		○				○	○			
48		アケビ	アケビ			○	○		○		○		
49			ミツバアケビ	○		○	○	○	○		○		
50		ツヅラフジ	カミエビ				○				○		
51		ドクダミ	ドクダミ	○		○	○	○	○	○	○		
52		ツバキ	ヤブツバキ	○		○	○	○	○		○		
53			ハマヒサカキ				○	○			○		植栽
54		アブラナ	マメグンバイナズナ	○		○	○	○		○	○	○	

表 7.1(2)　植物確認種リスト

No.	分類	科名	和名	確認時期						対象事業実施区域		外来種	備考
				令和2年		令和3年							
				初夏季	秋季	春季	初夏季	夏季	秋季	内	外		
55	被子植物	ベンケイソウ	コモチマンネングサ	○	○	○					○		
56	双子葉植物	トベラ	トベラ	○	○	○	○	○	○	○	○		一部植栽
57	離弁花類	バラ	オキジムシロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
58			ノイバラ	○	○	○	○	○	○	○	○		
59			ヤマザクラ			○	○	○	○	○	○		
60			タチバナモドキ	○	○	○	○	○	○	○		○	
61			シャリンバイ	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽
62		マメ	ネムノキ	○	○	○	○	○	○		○		
63			ハリエンジュ			○	○	○	○		○	○	
64			メドハギ	○	○		○	○	○	○	○		
65			ヤハズソウ				○	○		○			
66			マルバヤハズソウ					○	○	○			
67			タンキリマメ	○	○		○	○	○		○		
68			クズ	○	○	○	○	○	○	○	○		
69			ヤハズエンドウ	○	○	○		○	○	○	○		
70			シナガワハギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
71			コメツブウマゴヤシ	○		○				○	○	○	
72			コメツブツメクサ			○			○	○		○	
73			クスダマツメクサ	○		○	○			○	○	○	
74			シロツメクサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
75			ムラサキツメクサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
76		カタバミ	カタバミ	○		○	○	○	○	○	○		
77			オッタチカタバミ	○	○	○		○	○	○	○	○	
78		フウロソウ	アメリカフウロ	○		○	○		○	○	○	○	
79		トウダイグサ	エノキグサ		○			○			○		
80			アカメガシワ	○	○	○	○	○	○	○	○		
81			オオニシキソウ		○		○	○	○	○	○	○	
82			コニシキソウ		○	○	○	○	○	○	○	○	
83		ユズリハ	ユズリハ		○	○	○	○	○		○		植栽
84			ヒメユズリハ	○		○			○		○		植栽
85		ミカン	カラスザンショウ	○		○	○	○	○	○	○		
86		センダン	センダン			○			○		○	○	
87		ウルシ	ヌルデ	○	○	○	○	○	○	○	○		
88			リュウキュウハゼ			○	○				○		逸出
89		モチノキ	イヌツゲ						○		○		
90			モチノキ				○	○	○		○		植栽
91		ニシキギ	マユミ						○		○		
92			マサキ				○	○	○	○	○	○	
93		ブドウ	エビヅル			○		○	○		○		
94			ノブドウ				○	○	○	○	○		
95			ツタ			○	○	○	○		○		
96			ヤブガラシ	○	○	○	○	○	○	○	○		
97		アオイ	ムクゲ					○		○		○	
98			フヨウ						○	○		○	
99		グミ	アキグミ	○	○	○	○	○	○	○	○		
100			ナツグミ	○		○	○			○	○		
101			ナワシログミ					○		○	○		逸出
102			ツルグミ				○			○			
103		キブシ	エノシマキブシ	○		○	○	○	○		○		植栽
104		ウリ	カラスウリ			○					○		
105			キカラスウリ				○	○	○		○		
106		アカバナ	ムクゲアカバナ			○	○				○		
107			ユウゲショウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
108			コマツヨイグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
109			メマツヨイグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

表 7.1(3)　植物確認種リスト

No.	分類	科名	和名	確認時期						対象事業実施区域		外来種	備考
				令和2年		令和3年							
				初夏季	秋季	春季	初夏季	夏季	秋季	内	外		
110	被子植物	ミズキ	アオキ			○			○		○		
111	双子葉植物	ウコギ	キヅタ						○		○		
112	離弁花類		タラノキ	○		○	○	○	○		○		
113		セリ	オヤブジラミ			○			○	○	○		
114			マツバゼリ			○				○		○	
115	被子植物	ツツジ	サツキ			○	○	○	○		○		植栽
116	双子葉植物		ツツジ（園芸品種）	○				○	○		○		植栽
117	合弁花類	サクラソウ	アカバナルリハコベ	○	○	○	○	○		○	○	○	
118		モクセイ	ネズミモチ	○		○		○	○	○	○		
119			トウネズミモチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
120		リンドウ	ハナハマセンブリ	○			○	○		○	○	○	
121		ガガイモ	ガガイモ					○	○		○		
122		アカネ	ヘクソカズラ	○	○	○	○	○	○	○	○		
123			ヤエムグラ			○				○	○		
124		ヒルガオ	コヒルガオ	○				○		○			
125			ヒルガオ			○	○	○	○		○		
126		ムラサキ	キュウリグサ			○	○				○		
127		クマツヅラ	ムラサキシキブ	○					○		○		
128			クサギ	○		○			○		○		
129			ヤナギハナガサ			○			○		○	○	
130			アレチハナガサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
131			ヒメクマツヅラ	○						○		○	
132		ナス	ヒヨドリジョウゴ			○		○			○		
133			イヌホオズキ		○	○	○	○	○	○	○		
134			クコ					○			○		
135		ゴマノハグサ	ムシクサ			○				○			
136			タチイヌノフグリ			○				○	○	○	
137			カワヂシャ	○	○	○	○			○			重要な種
138			セイヨウヒキヨモギ	○							○		
139		ハマウツボ	ヤセウツボ	○		○					○	○	
140		オオバコ	オオバコ				○	○		○	○		
141			ヘラオオバコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
142			ツボミオオバコ	○		○					○	○	
143		スイカズラ	サンゴジュ	○		○	○	○	○		○		植栽
144			スイカズラ	○	○	○	○	○	○	○	○		
145		キク	イガオナモミ		○				○	○		○	
146			オオオナモミ				○	○	○	○	○	○	
147			ブタクサ				○			○		○	
148			アメリカオニアザミ			○					○	○	
149			オオアレチノギク	○		○	○	○	○	○	○	○	
150			セイタカアワダチソウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
151			オオアワダチソウ			○					○	○	
152			ヒメジョオン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
153			ヘラバヒメジョオン			○				○		○	
154			ヒメムカシヨモギ		○			○		○	○	○	
155			ハルジオン	○	○	○		○			○	○	
156			ヒロハホウキギク	○	○	○				○	○	○	
157			ホウキギク		○		○	○	○	○	○	○	
158			ノコンギク			○					○		
159			フキ		○					○			
160			ツワブキ			○					○		逸出
161			ノボロギク				○				○	○	
162			ハハコグサ			○		○		○			
163			セイタカハハコグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
164			ウラジロチチコグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

表 7.1(4)　植物確認種リスト

No.	分類	科名	和名	確認時期						対象事業実施区域		外来種	備考
				令和2年		令和3年							
				初夏季	秋季	春季	初夏季	夏季	秋季	内	外		
165	被子植物	キク	ヨモギ	○	○	○	○	○	○	○	○		
166	双子葉植物		アメリカセンダングサ	○		○	○	○	○	○	○	○	
167	合弁花類		コセンダングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
168			オオキンケイギク			○	○				○	○	
169			コウゾリナ	○						○			
170			ノゲシ	○	○	○	○	○	○	○	○		
171			オニノゲシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
172			アオオニタビラコ	○		○	○		○	○	○		
173			アキノノゲシ	○		○	○	○	○	○	○		
174			セイヨウタンポポ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
175	被子植物	ヒルムシロ	ツツイトモ						○	○	○		重要な種
176	単子葉植物	ユリ	ナルコユリ				○				○		
177			ナガバジャノヒゲ						○		○		
178			シンテッポウユリ		○		○	○	○	○	○	○	
179		サルトリイバラ	サルトリイバラ	○		○	○	○	○		○		
180		ヤマノイモ	ヤマノイモ				○		○		○		
181		アヤメ	ニワゼキショウ				○			○		○	
182			オオニワゼキショウ	○			○				○	○	
183			ルリニワゼキショウ			○				○	○	○	
184		イグサ	クサイ					○		○			
185			イ			○	○				○		
186			スズメノヤリ				○				○		
187		ツユクサ	ツユクサ	○		○	○	○	○	○	○		
188		イネ	ネズミムギ	○		○	○	○		○	○	○	
189			ホソムギ				○			○		○	
190			オオウシノケグサ	○						○		○	
191			オニウシノケグサ	○		○	○	○	○	○	○	○	
192			ヒメコバンソウ	○		○	○			○	○	○	
193			イチゴツナギ	○		○				○	○		
194			オオスズメノカタビラ	○							○	○	
195			ホソバナガハグサ	○						○		○	
196			スズメノカタビラ			○					○		
197			アオスズメノカタビラ	○			○			○	○	○	
198			カモガヤ	○		○	○				○	○	
199			ナギナタガヤ	○		○					○	○	
200			ミノボロモドキ	○		○	○			○	○	○	
201			ナンカイヌカボ	○		○	○	○		○	○	○	
202			コヌカグサ	○		○					○	○	
203			ヤマアワ	○	○	○	○	○	○	○	○		
204			ヒエガエリ	○		○	○	○		○	○		
205			オオアワガエリ			○				○		○	
206			クサビガヤ	○							○	○	
207			パンパスグラス		○				○		○	○	
208			ヨシ	○	○	○	○	○	○	○	○		
209			コスズメガヤ		○			○	○	○	○	○	
210			スズメガヤ					○		○		○	
211			シナダレスズメガヤ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
212			アゼガヤ						○	○	○		
213			ニセアゼガヤ		○	○	○	○		○		○	
214			オヒシバ		○			○	○	○	○		
215			ネズミノオ				○				○		
216			ムラサキネズミノオ		○					○			
217			カモジグサ	○		○	○	○		○	○		
218			アオカモジグサ	○		○	○			○	○		
219			スズメノナギナタ	○		○	○			○	○	○	

表 7.1(5)　植物確認種リスト

No.	分類	科名	和名	確認時期						対象事業実施区域		外来種	備考
				令和2年		令和3年							
				初夏季	秋季	春季	初夏季	夏季	秋季	内	外		
220	被子植物	イネ	ギョウギシバ	○	○	○	○	○	○	○	○		
221	単子葉植物		シバ			○	○	○	○	○	○		
222			イヌムギ			○	○			○	○	○	
223			スズメノチャヒキ	○		○	○			○	○		
224			オオクサキビ		○				○	○	○	○	
225			コチヂミザサ						○		○		
226			イヌビエ		○			○	○	○	○		
227			ケイヌビエ					○		○			
228			キシュウスズメノヒエ		○			○		○		○	
229			スズメノヒエ			○	○	○		○	○		
230			シマスズメノヒエ		○			○	○	○	○	○	
231			タチスズメノヒエ		○			○	○	○	○	○	
232			エノコログサ		○		○	○	○	○	○		
233			ムラサキエノコロ			○					○		
234			アキノエノコログサ		○		○	○	○	○	○		
235			キンエノコロ		○			○	○	○	○		
236			コツブキンエノコロ		○					○			
237			メヒシバ		○	○		○	○	○	○		
238			アキメヒシバ		○				○	○			
239			オギ	○	○	○	○	○	○	○	○		
240			エノシマススキ	○	○				○	○	○		
241			ススキ	○	○	○	○	○	○	○	○		
242			チガヤ	○	○	○	○	○	○	○	○		
243			セイバンモロコシ					○	○	○	○	○	
244			コブナグサ					○		○			
245			メダケ			○	○	○			○		
246			アズマネザサ	○		○		○	○	○	○		
247			カタボウシノケグサ	○		○					○	○	
248		ウキクサ	コウキクサ（広義）		○				○	○	○	○	
249			ウキクサ			○					○		
250		ガマ	ヒメガマ	○	○	○	○	○	○	○	○		
251		カヤツリグサ	マスクサ	○		○					○		
252			アゼナルコ	○		○	○				○		
253			アオスゲ	○		○	○		○	○	○		
254			ハマアオスゲ	○		○				○			
255			ノゲヌカスゲ	○							○		
256			ホンモンジスゲ	○							○		
257			ヒカゲスゲ			○				○			
258			イソヤマテンツキ				○	○	○	○	○		重要な種
259			ハリイ					○		○			
260			フトイ	○	○	○	○		○	○			
261			コウキヤガラ	○			○			○			
262			ウキヤガラ	○	○	○				○			
263			ヒメクグ		○	○	○	○	○	○	○		
264			ユメノシマガヤツリ		○		○	○	○	○	○	○	
265			アゼガヤツリ						○		○		
266			イガガヤツリ		○		○		○	○	○		
267			メリケンガヤツリ			○		○		○	○	○	
268			ハマスゲ					○	○	○	○		
計		67科	268種	133種	96種	166種	150種	151種	152種	181種	221種	98種	

注 1）分類、配列は原則として、「千葉県の自然誌　別編 4　千葉県植物誌」（平成 15 年、千葉県）に従い、一部新たな知見を加えた。

注 2）種までの同定がされていないものについては、同一の分類群に属する種が記録されている場合は種数に計上していない。表中では△で示した。

注 3）外来種は、「日本の帰化植物」（平成 15 年、平凡社）または「千葉県の外来生物リスト 2020 年改訂版」（令和 2 年、千葉県）に掲載されている種とした。

注 4）逸出種は、「千葉県の自然誌　別編 4　千葉県植物誌」（平成 15 年、千葉県）を参考に判断した。

7.2　植生調査票及び群落写真

植生調査票及び群落写真は表 7.2 に示すとおりである。

表 7.2(1)　植生調査票及び群落写真

No.1　　凡例名（群落名）　　クズ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要　標高：2m　方位：－　傾斜：－　面積：2m×2m　出現種数：　6

地形：平地　土壌：未熟土　風当：中　日当：陽　土湿：適

その他特記事項：

（階層）	（優占種）	（高さ m）	（植被率 %）	（種数 種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	クズ	0.6	100	6	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	4・4	クズ
							2・2	シナダレスズメガヤ
							1・1	アレチハナガサ
							1・1	セイタカアワダチソウ
							1・1	コセンダングサ
							+・2	ギョウギシバ

表 7.2(2)　植生調査票及び群落写真

No. 2　　凡例名（群落名）　荒地雑草群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要					
	標高：2m	方位：－	傾斜：　－	面積：1m×1m	出現種数：　6
	地形：平地	土壌：未熟土	風当：　中	日当：陽	土湿：　適
	その他特記事項：				

（階層）	（優占種）	（高さ　m）	（植被率　%）	（種数　種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	ギョウギシバ	0.5	90	6	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	3・3	ギョウギシバ
							1・1	アレチハナガサ
							1・1	スズメノヒエ
							1・1	メヒシバ
							+・2	キンエノコロ
							＋	オヒシバ

表 7.2(3)　植生調査票及び群落写真

No. 3　　凡例名（群落名）　　セイタカアワダチソウ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要　標高：4m　方位：－　傾斜：－　面積：2m×2m　出現種数：　7
地形：平地　土壌：未熟土　風当：中　日当：陽　土湿：適
その他特記事項：

（階層）	（優占種）	（高さ m）	（植被率 %）	（種数 種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	セイタカアワダチソウ	1.0	100	7	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	5・5	セイタカアワダチソウ
							1・1	クズ
							1・1	ヤマアワ
							+・2	アレチハナガサ
							+・2	ヨモギ
							+・2	チガヤ
							+	ヘクソカズラ

表 7.2(4)　植生調査票及び群落写真

No.4　　凡例名（群落名）　　クズ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要　標高：4m　方位：－　傾斜：－　面積：2m×2m　出現種数：　8

地形：平地　土壌：未熟土　風当：中　日当：陽　土湿：適

その他特記事項：

（階層）	（優占種）	（高さ　m）	（植被率　%）	（種数　種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	クズ	0.7	100	8	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	4・4	クズ
							3・3	セイタカアワダチソウ
							1・1	ヨモギ
							1・1	ヤマアワ
							1・1	シナダレスズメガヤ
							+・2	アレチハナガサ
							＋	イヌスギナ
							＋	チガヤ

表 7.2(5)　植生調査票及び群落写真

No. 5　　凡例名（群落名）　　チガヤ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要

標高：4m	方位：－	傾斜：－	面積：2m×2m	出現種数：　8	
地形：平地	土壌：未熟土	風当：中	日当：陽	土湿：適	
その他特記事項：					

（階層）	（優占種）	（高さ m）	（植被率 %）	（種数 種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	チガヤ	0.6	100	8	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	4・4	チガヤ
							2・2	セイタカアワダチソウ
							1・1	ムラサキツメクサ
							+・2	アレチハナガサ
							+・2	ハマスゲ
							+	メドハギ
							+	ヘクソカズラ
							+	オオバコ

表 7.2(6)　植生調査票及び群落写真

No.6　　凡例名（群落名）　荒地雑草群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要					
	標高：2m	方位：－	傾斜：－	面積：2m×2m	出現種数：　12
	地形：平地	土壌：未熟土	風当：中	日当：陽	土湿：適
	その他特記事項：				

（階層）	（優占種）	（高さ m）	（植被率 %）	（種数 種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層		0.7	60	12	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	2・2	アレチハナガサ
							2・2	シナダレスズメガヤ
							1・2	チガヤ
							+・2	セイタカアワダチソウ
							+	メドハギ
							+	オッタチカタバミ
							+	オオニシキソウ
							+	ハルジオン
							+	ヨモギ
							+	ギョウギシバ
							+	メヒシバ
							+	ハマスゲ

表 7.2(7)　植生調査票及び群落写真

No.7　　凡例名（群落名）　　ヨシ・ヒメガマ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要　標高：2m　方位：－　傾斜：－　面積：2m×2m　出現種数：　5

地形：平地　土壌：水面下　風当：中　日当：陽　土湿：適

その他特記事項：

（階層）	（優占種）	（高さ　m）	（植被率　%）	（種数　種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	ヒメガマ	1.5	70	5	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	5・5	ヒメガマ
							1・1	オオイヌタデ
							+・2	アレチハナガサ
							+・2	ホウキギク
							+	ヨシ

表 7.2(8)　植生調査票及び群落写真

No.8　　凡例名（群落名）　　ススキ・オギ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要					
	標高：2m	方位：－	傾斜：－	面積：2m×2m	出現種数：　6
	地形：平地	土壌：未熟土	風当：中	日当：陽	土湿：適
	その他特記事項：				

（階層）	（優占種）	（高さ m）	（植被率 %）	（種数 種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	ススキ	1.9	100	6	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	5・5	ススキ
							+・2	クズ
							+・2	セイタカアワダチソウ
							+・2	オギ
							+	ヘクソカズラ
							+	ヨモギ

表 7.2(9)　植生調査票及び群落写真

No.9　　凡例名（群落名）　　ヨシ・ヒメガマ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要　標高：2m　方位：－　傾斜：－　面積：2m×2m　出現種数：　3
地形：平地　土壌：水面下　風当：中　日当：陽　土湿：適
その他特記事項：

（階層）	（優占種）	（高さ　m）	（植被率　%）	（種数　種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	ヨシ	1.8	90	3	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	5・5	ヨシ
							+・2	クズ
							+・2	ヘクソカズラ

表 7.2(10)　植生調査票及び群落写真

No. 10　　凡例名（群落名）　　ススキ・オギ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年8月18日

調査地点概要　標高：2m　方位：－　傾斜：－　面積：2m×2m　出現種数：　5

地形：平地　土壌：未熟土　風当：中　日当：陽　土湿：適

その他特記事項：

（階層）	（優占種）	（高さ　m）	（植被率　%）	（種数　種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	オギ	1.9	100	5	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	5・5	オギ
							2・2	イヌスギナ
							2・2	セイタカアワダチソウ
							2・2	ヨモギ
							1・1	ヘクソカズラ

表 7.2(11)　植生調査票及び群落写真

No. 11　　凡例名（群落名）　　ススキ・オギ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年10月11日

調査地点概要					
	標高：3m	方位：S50° W	傾斜：45°	面積：2m×2m	出現種数：　5
	地形：斜面	土壌：未熟土	風当：中	日当：陽	土湿：適
	その他特記事項：				

（階層）	（優占種）	（高さ m）	（植被率 %）	（種数 種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	オギ	2.0	100	5	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	5・5	オギ
							1・1	イヌドクサ
							1・1	セイタカアワダチソウ
							+・2	クズ
							+	ヘクソカズラ

表 7.2(12)　植生調査票及び群落写真

No. 12　　凡例名（群落名）　　セイタカアワダチソウ群落

調査地：　富津市新富　　調査日：　令和3年10月11日

調査地点概要					
	標高：4m	方位：－	傾斜：－	面積：3m×3m	出現種数：　8
	地形：平地	土壌：　褐森	風当：中	日当：陽	土湿：適
	その他特記事項：				

（階層）	（優占種）	（高さ　m）	（植被率 %）	（種数 種）	（備考）
T1：高木層					
T2：亜高木層					
S：低木層					
H：草本層	セイタカアワダチソウ	2.5	100	8	

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
						H	4・4	セイタカアワダチソウ
							2・2	オギ
							1・1	チガヤ
							+・2	イヌドクサ
							+	クズ
							+	ヘクソカズラ
							+	アレチハナガサ
							+	ヨシ

資料８　動物関連

資料8　動物関連

8.1　哺乳類トラップ法調査結果

哺乳類のトラップ法調査結果は表 8.1 に示すとおりである。

表 8.1　哺乳類トラップ法調査結果

No.	調査時期	トラップ確認日	調査地点	種名	全長 (mm)	頭胴長 (mm)	尾長 (mm)	後趾長 (mm)	耳長 (mm)	尾率 (%)	体重 (g)	性別
1	春季	令和3年5月29日	T2	ハツカネズミ	134	73	61	16	13	83.6	12	♂
2				ハツカネズミ	125	68	57	15	13	83.8	11	♀
3		令和3年5月30日	T1	アカネズミ	207	106	101	22	16	95.3	31	♀
4				ハツカネズミ	128	71	57	16	13	80.3	10	♂
5			T2	アカネズミ	210	115	95	22	15	82.6	38	♀
6				アカネズミ	195	105	90	24	16	85.7	45	♂
7				ハツカネズミ	119	64	55	16	12	85.9	13	♂
8				ハツカネズミ	139	77	62	16	12	80.5	11	♂
9	初夏季	令和3年6月22日	T1	アカネズミ	198	111	87	23	15	78.4	36	♂
10			T2	アカネズミ	212	118	94	22	15	79.7	53	♂
11		令和3年6月23日	T2	アカネズミ	170	95	75	22	15	78.9	22	♀
12	秋季	令和3年10月6日	T2	アカネズミ	189	97	92	24	14	94.8	28	♀
13	冬季	令和3年12月7日	T1	アカネズミ	181	94	87	23	15	92.6	24	♀
14				ハツカネズミ	107	57	50	15	12	87.7	6	♀
15		令和3年12月8日	T1	ハツカネズミ	105	56	49	14	12	87.5	7	♀
16			T2	アカネズミ	175	89	86	24	15	96.6	27	♂
17				アカネズミ	160	81	79	23	14	97.5	19	♂
18				ハツカネズミ	128	61	67	16	12	109.8	7	♂

注 1）トラップはシャーマントラップを使用し、各調査時期において 2 地点合計 60 個（1 地点につき 30 個）を 2 昼夜設置した。捕獲状況の確認は 1 昼夜ごとに行った。
注 2）T1：対象事業実施区域内、T2：対象事業実施区域外

8.2　鳥類ラインセンサス法調査結果

鳥類のラインセンサス法調査結果は表 8.2 に示すとおりである。

表 8.2　鳥類ラインセンサス法調査結果

No.	種名	R1										R2									
		春季		繁殖期		夏季		秋季		冬季		春季		繁殖期		夏季		秋季		冬季	
		個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）
1	キジ	2	4.8					5	22.7												
2	カイツブリ					3	7.7														
3	キジバト															2	15.4			1	5.6
4	カワウ											1	2.2								
5	アオサギ	2	4.8																		
6	コチドリ	3	7.1																		
7	トビ									2	11.1	1	2.2			2	15.4			3	16.7
8	ノスリ									1	5.6										
9	コゲラ	3	7.1	1	3.6							2	4.3								
10	モズ							1	4.5									1	5.0		
11	ハシボソガラス					1	2.6	3	13.6			1	2.2								
12	ハシブトガラス	4	9.5							1	5.6	5	10.9							2	11.1
13	シジュウカラ			2	7.1	2	5.1	4	18.2	1	5.6			1	4.0					2	11.1
14	ヒバリ	2	4.8			5	12.8					3	6.5								
15	ツバメ			1	3.6	2	5.1									1	7.7				
16	ヒヨドリ	3	7.1					2	9.1	5	27.8	4	8.7	2	8.0			5	25.0	6	33.3
17	ウグイス									1	5.6										
18	メジロ					2	5.1	2	9.1	5	27.8			3	12.0			6	30.0	4	22.2
19	オオヨシキリ			2	7.1																
20	セッカ	9	21.4	1	3.6	1	2.6					6	13.0	3	12.0						
21	スズメ	11	26.2	14	50.0	18	46.2	3	13.6	1	5.6	21	45.7	15	60.0	3	23.1	6	30.0		
22	ハクセキレイ			4	14.3	2	5.1	2	9.1					1	4.0			2	10.0		
23	カワラヒワ	2	4.8	1	3.6	3	7.7					2	4.3								
24	ホオジロ	1	2.4	2	7.1																
25	アオジ									1	5.6										
26	カワラバト															5	38.5				
合計		42	100.0	28	100.0	39	100.0	22	100.0	18	100.0	46	100.0	25	100.0	13	100.0	20	100.0	18	100.0
		11種		9種		10種		8種		9種		10種		6種		5種		5種		6種	
		23種										17種									

8.3　鳥類定点センサス法調査結果

鳥類の定点センサス法調査結果は表 8.3 に示すとおりである。

表 8.3　鳥類定点センサス法調査結果

No.	種名	P1										P2									
		春季		繁殖期		夏季		秋季		冬季		春季		繁殖期		夏季		秋季		冬季	
		個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）	個体数	優占度（%）
1	キジ	1	2.8	1	6.3							1	5.3	1	5.6	1	7.7				
2	カルガモ											1	5.3								
3	キジバト									2	11.1										
4	カワウ					1	8.3			1	5.6			1	5.6						
5	トビ	2	5.6	1	6.3	4	33.3	3	3.5	4	22.2					3	23.1			3	18.8
6	コゲラ					1	8.3														
7	モズ							2	2.4									2	11.1		
8	ハシボソガラス							2	2.4									1	5.6		
9	ハシブトガラス	4	11.1	2	12.5							6	31.6	2	11.1	1	7.7			2	12.5
10	シジュウカラ	2	5.6	1	6.3			1	1.2	2	11.1	1	5.3							2	12.5
11	ヒバリ	2	5.6	3	18.8			2	2.4			1	5.3	1	5.6						
12	ツバメ													2	11.1	1	7.7				
13	ヒヨドリ	2	5.6	1	6.3	2	16.7	57	67.1	2	11.1			2	11.1			9	50.0	5	31.3
14	ウグイス	1	2.8							2	11.1										
15	メジロ							2	2.4	3	16.7							2	11.1	2	12.5
16	オオヨシキリ	1	2.8											1	5.6						
17	セッカ	10	27.8	5	31.3	2	16.7					7	36.8	8	44.4	4	30.8				
18	ムクドリ	5	13.9																		
19	スズメ	4	11.1	2	12.5	1	8.3	4	4.7			2	10.5			2	15.4	1	5.6		
20	キセキレイ																	1	5.6		
21	ハクセキレイ							2	2.4	1	5.6							2	11.1	2	12.5
22	ビンズイ									1	5.6										
23	カワラヒワ	2	5.6			1	8.3	1	1.2												
24	ホオジロ							1	1.2							1	7.7				
25	カワラバト							8	9.4												
合計		36	100.0	16	100.0	12	100.0	85	100.0	18	100.0	19	100.0	18	100.0	13	100.0	18	100.0	16	100.0
		12種		8種		7種		12種		9種		7種		8種		7種		7種		6種	
		22種										18種									

8.4　昆虫類確認種リスト

昆虫類の確認種リストは表 8.4 に示すとおりである。

表 8.4(1)　昆虫類確認種リスト

No.	目名	科名	種名	調査時期					対象事業実施区域		外来種	備考
				春季	初夏季	夏季	秋季	補足	内	外		
1	カゲロウ目	コカゲロウ科	Cloeon属					○	○			
2	トンボ目	イトトンボ科	アジアイトトンボ	○	○	○			○	○		
3			アオモンイトトンボ	○		○	○		○	○		
-			Ischnura属					○	△			
4			ムスジイトトンボ	○	○	○			○	○		重要な種
-			Paracercion属				○	○	△	△		重要な種
5		ヤンマ科	ギンヤンマ	○		○	○	○	○	○		
6		トンボ科	ショウジョウトンボ		○	○	○		○	○		
7			ハラビロトンボ	○		○	○		○			重要な種
8			シオカラトンボ	○	○	○	○		○	○		
9			オオシオカラトンボ			○				○		
10			ウスバキトンボ		○	○	○		○	○		
11			チョウトンボ			○				○		重要な種
12			ナツアカネ			○				○		
13	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	○	○	○	○		○	○		
14			ウスヒラタゴキブリ本土亜種		○					○		
15	カマキリ目	カマキリ科	ハラビロカマキリ			○	○		○	○		
16			オオカマキリ			○	○			○		
17	ハサミムシ目	マルムネハサミムシ科	コバネハサミムシ	○	○	○	○		○	○		
18		オオハサミムシ科	オオハサミムシ		○				○			
19	バッタ目	ツユムシ科	サトクダマキモドキ			○				○		
20			ツユムシ		○		○		○	○		
21		キリギリス科	ホシササキリ				○			○		
22			クビキリギス				○			○		
23		ケラ科	ケラ				○		○			
24		マツムシ科	スズムシ				○			○		
25			カンタン			○	○		○	○		
26			アオマツムシ				○		○		○	
27			マツムシ				○			○		重要な種
28		コオロギ科	ハラオカメコオロギ			○	○		○	○		
29			クマスズムシ				○		○	○		
30		カネタタキ科	カネタタキ			○	○		○	○		
31		ヒバリモドキ科	ヒゲシロスズ				○		○	○		
32			シバスズ			○	○			○		
33		バッタ科	ショウリョウバッタ			○	○		○	○		
34			マダラバッタ			○			○	○		
35			ショウリョウバッタモドキ			○				○		
36			トノサマバッタ				○		○			
37			クルマバッタモドキ			○				○		
38			イボバッタ			○				○		
39		イナゴ科	ツチイナゴ	○		○	○		○	○		
40		オンブバッタ科	オンブバッタ			○	○		○	○		
41		ヒシバッタ科	ハネナガヒシバッタ		○				○			
42	ナナフシ目	ナナフシ科	ナナフシモドキ	○					○	○		
43	カメムシ目	ヒシウンカ科	ヒシウンカ科			○			○			
44		ウンカ科	クロスジオオウンカ		○				○			
45			ヒメトビウンカ			○	○		○			
46			セジロウンカ			○			○			
47		アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ			○	○		○	○		
48			トビイロハゴロモ			○	○		○	○		
49		ハゴロモ科	ベッコウハゴロモ			○	○		○	○		
50		グンバイウンカ科	ミドリグンバイウンカ			○	○		○	○		
51			ヒラタグンバイウンカ			○	○		○	○		
52		セミ科	アブラゼミ			○				○		
53			ミンミンゼミ			○				○		
54			ツクツクボウシ			○	○			○		
55			ニイニイゼミ			○				○		
56			ヒグラシ			○				○		
57		アワフキムシ科	シロオビアワフキ		○	○			○			
58			ハマベアワフキ	○	○	○	○		○	○		

表 8.4(2)　昆虫類確認種リスト

No.	目名	科名	種名	調査時期					対象事業実施区域		外来種	備考
				春季	初夏季	夏季	秋季	補足	内	外		
－	カメムシ目	アワフキムシ	アワフキムシ科		△					△		
59		コガシラアワフキムシ科	コガシラアワフキ	○	○				○	○		
60		ヨコバイ科	ヒメアオズキンヨコバイ		○	○			○	○		
61			アオズキンヨコバイ			○			○	○		
62			オナガトガリヨコバイ				○		○			
63			クロミャクイチモンジヨコバイ		○		○		○	○		
64			ヒシモンヨコバイ		○				○			
65			ヨツテンウスバヨコバイ			○			○			
66			ヒメフタテンウスバヨコバイ		○				○			
67			シロミャクイチモンジヨコバイ	○						○		
68			クロヒラタヨコバイ	○						○		
69			ヒトツメヨコバイ		○					○		
70			ベニスジトガリヨコバイ				○			○		
－			ヨコバイ科	△	△	△	△		△			
71		キジラミ科	オオトガリキジラミ	○					○			
72		サシガメ科	アカシマサシガメ				○		○	○		
73			クロサシガメ				○		○			
74		グンバイムシ科	アワダチソウグンバイ	○	○	○	○		○	○	○	
75			ヘクソカズラグンバイ				○		○		○	
76		ハナカメムシ科	クロハナカメムシ	○					○			
－			Anthocoris属		○					○		
77		カスミカメムシ科	ナカグロカスミカメ	○	○	○	○		○	○		
78			コアオカスミカメ	○	○	○	○		○	○		
79			ツマグロハギカスミカメ		○				○	○		
80			ヨツボシカスミカメ		○	○	○		○	○		
81			ホソヒョウタンカスミカメ		○					○		
82			イネホソミドリカスミカメ		○	○	○		○	○		
－			カスミカメムシ科	△	△	△	△		△	△		
83		マキバサシガメ科	ハネナガマキバサシガメ			○			○			
84		オオホシカメムシ科	オオホシカメムシ			○			○			
85			ヒメホシカメムシ		○				○			
86		ホシカメムシ科	フタモンホシカメムシ				○		○	○		
87		ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ			○	○		○	○		
88			ホソヘリカメムシ				○			○		
89		ヘリカメムシ科	ホソハリカメムシ		○				○			
90			ホシハラビロヘリカメムシ	○	○	○	○		○	○		
91			ツマキヘリカメムシ	○	○	○	○		○	○		
92		ヒメヘリカメムシ科	スカシヒメヘリカメムシ	○	○	○	○		○	○		
93			ブチヒメヘリカメムシ		○	○	○		○	○		
94		ナガカメムシ科	コバネナガカメムシ	○						○		
95			ヒメオオメナガカメムシ		○				○			
96			オオメナガカメムシ	○	○	○	○		○	○		
97			ヒメマダラナガカメムシ				○		○			重要な種
98			ヨツボシヒョウタンナガカメムシ			○			○			
99			サビヒョウタンナガカメムシ		○				○	○		
100			ヒメナガカメムシ	○	○	○	○		○	○		
101			ヒゲナガカメムシ		○		○		○	○		
102			アムールシロヘリナガカメムシ				○		○			
103			クロアシホソナガカメムシ		○	○	○		○	○		
104			イチゴチビナガカメムシ		○	○			○			
105			コバネヒョウタンナガカメムシ			○			○			
106			ヒメジュウジナガカメムシ			○			○			重要な種
－			ナガカメムシ科				△			△		
107		ツチカメムシ科	ミツボシツチカメムシ			○			○			
108			ヒメツチカメムシ			○			○			
109			ツチカメムシ				○		○	○		
－			ツチカメムシ科	○						△		
110		カメムシ科	ウズラカメムシ	○	○	○	○		○	○		
111			ウシカメムシ				○		○			
112			ブチヒゲカメムシ			○	○		○	○		

表 8.4(3)　昆虫類確認種リスト

No.	目名	科名	種名	調査時期					対象事業実施区域		外来種	備考
				春季	初夏季	夏季	秋季	補足	内	外		
113	カメムシ目	カメムシ科	ムラサキシラホシカメムシ			○	○		○	○		
114			オオトゲシラホシカメムシ		○					○		
115			シラホシカメムシ	○		○	○		○	○		
116			ツヤアオカメムシ				○		○	○		
117			クサギカメムシ				○		○	○		
118			イチモンジカメムシ				○		○	○		
119			チャバネアオカメムシ			○			○			
120			オオクロカメムシ				○			○		
121			イネクロカメムシ		○				○			
122			ヒメクロカメムシ	○						○		
123		マルカメムシ科	マルカメムシ	○	○	○	○		○	○		
124		アメンボ科	ヒメアメンボ	○	○				○	○		
125		ミズムシ科（昆）	Sigara属		○		○	○	○	○		
126		コオイムシ科	コオイムシ	○				○	○	○		重要な種
127		マツモムシ科	コマツモムシ				○			○		
128	アミメカゲロウ目	クサカゲロウ科	クモンクサカゲロウ		○				○			
129			ニッポンクサカゲロウ				○			○		
－			クサカゲロウ科	○	△				△	△		
130	チョウ目	ハマキガ科	ヨモギネムシガ			○			○			
131			スネブトヒメハマキ		○				○			
－			ハマキガ科			△			△			
132		セセリチョウ科	ギンイチモンジセセリ			○			○			重要な種
133			イチモンジセセリ		○	○	○		○	○		
134			チャバネセセリ			○	○		○	○		
135			キマダラセセリ		○	○	○			○		
136		シジミチョウ科	ルリシジミ			○				○		
137			クロマダラソテツシジミ				○		○	○	○	
138			ウラギンシジミ		○	○	○			○		
139			ツバメシジミ				○		○			
140			ウラナミシジミ			○	○		○	○		
141			ベニシジミ	○	○	○			○	○		
142			ヤマトシジミ本土亜種		○		○		○	○		
143		タテハチョウ科	ヒメジャノメ	○						○		
144		アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ本土亜種			○				○		
145			アオスジアゲハ		○	○	○		○	○		
146			クロアゲハ本土亜種		○	○				○		
147			アゲハ	○	○	○			○	○		
148		シロチョウ科	モンキチョウ	○	○	○	○		○	○		
149			キタキチョウ		○	○	○		○	○		
150			モンシロチョウ	○	○				○	○		
151		ツトガ科	シロマダラノメイガ		○				○			
152			マエアカスカシノメイガ				○		○			
－			ツトガ科	○	△		△		△	○		
153		シャクガ科	ウラベニエダシャク		○				○			
－			シャクガ科	○	△		○		△			
154		スズメガ科	ホシホウジャク			○				○		
155		ヒトリガ科	キハラゴマダラヒトリ			○			○			
156		ヤガ科	シロテンウスグロヨトウ				○		○			
157			キクギンウワバ		○				○			
158			ウンモンクチバ				○		○			
159			ウラギンキヨトウ			○	○		○			
－			Mythimna属	○			△		△			
160			シロシタヨトウ				○		○			
161			ハスモンヨトウ				○		○			
－			ヤガ科			△			△			
162	ハエ目	ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科			○			○	○		
163		ガガンボ科	マダラガガンボ	○						○		
－			Tipula属					○		△		
164		ケヨソイカ科	ケヨソイカ科					○		○		
165		ユスリカ科	ユスリカ科	○	○	○	○	○	○	○		

表 8.4(4)　昆虫類確認種リスト

No.	目名	科名	種名	調査時期					対象事業実施区域		外来種	備考
				春季	初夏季	夏季	秋季	補足	内	外		
166	ハエ目	カ科	カ科				○		○			
167		ミズアブ科	ハラキンミズアブ		○				○	○		
168		ムシヒキアブ科	アオメアブ			○				○		
169			シオヤアブ		○	○				○		
－			ムシヒキアブ科	○					○			
170		アシナガバエ科	アシナガバエ科	○						○		
171		オドリバエ科	オドリバエ科	○						○		
172		ハナアブ科	ホソヒラタアブ	○			○			○		
173			ナミハナアブ	○						○		
174			Melanostoma属	○						○		
175			シママメヒラタアブ	○	○				○	○		
176			キアシマメヒラタアブ	○	○				○	○		
177			ホソヒメヒラタアブ	○	○		○		○	○		
178		メバエ科	ムネグロメバエ			○			○	○		
179		ヤチバエ科	ヒゲナガヤチバエ			○	○		○	○		
180		クロバエ科	クロバエ科			○	○			○		
181		ヒメイエバエ科	ヒメイエバエ科	○			○		○			
182		イエバエ科	イエバエ科			○	○		○	○		
183		ヤドリバエ科	マルボシヒラタヤドリバエ				○		○			
－			ヤドリバエ科				△			○		
184	コウチュウ目	ホソクビゴミムシ科	ミイデラゴミムシ		○				○			
185		オサムシ科	キイロチビゴモクムシ		○				○			
186			アトモンミズギワゴミムシ		○				○			
187			キベリアオゴミムシ		○				○			
188			キボシアオゴミムシ			○				○		
189			ダイミョウアトキリゴミムシ				○			○		
190			オオスナハラゴミムシ		○	○			○			
191			セアカヒラタゴミムシ	○	○		○		○	○		
192			ケウスゴモクムシ	○	○	○			○			
193			ニセクロゴモクムシ		○				○			
194			ウスアカクロゴモクムシ			○			○			
195			コルリアトキリゴミムシ	○	○	○			○	○	○	
196			オオゴミムシ			○				○		
197			クロケブカゴミムシ		○				○			
198			ホソヒョウタンゴミムシ	○		○			○	○		
199			ナガヒョウタンゴミムシ		○				○	○		
200			ミドリマメゴモクムシ		○	○			○			
201			マルガタツヤヒラタゴミムシ				○			○		
202			ヨツモンコミズギワゴミムシ			○			○			
203			ムラサキオオゴミムシ		○					○		
204		ハネカクシ科	Anotylus属			○			○			
205			キベリカワベハネカクシ		○				○			
206			ニセヒメユミセミゾハネカクシ			○			○			
207			アオバアリガタハネカクシ		○	○			○			
208			Philonthus属		○	○			○			
209			Sepedophilus属		○					○		
210			Thinodromus属		○				○			
211		ゲンゴロウ科	マメゲンゴロウ				○	○		○		
212			チャイロチビゲンゴロウ		○	○	○		○	○		
213			ホソセスジゲンゴロウ		○	○		○	○	○		
214			ハイイロゲンゴロウ		○				○	○		
215			コシマゲンゴロウ		○		○		○	○		
216			チビゲンゴロウ			○			○			
217			ケシゲンゴロウ		○		○		○	○		重要な種
218			ヒメゲンゴロウ				○			○		
219		ガムシ科	トゲバゴマフガムシ		○				○			
220			Cercyon属		○				○			
221			キベリヒラタガムシ		○					○		
222			キイロヒラタガムシ		○				○			
223			コガムシ		○	○	○	○	○	○		重要な種

表 8.4(5)　昆虫類確認種リスト

No.	目名	科名	種名	調査時期					対象事業実施区域		外来種	備考
				春季	初夏季	夏季	秋季	補足	内	外		
224	コウチュウ目	ガムシ科	ヒメガムシ			○				○		
225		シデムシ科	オオヒラタシデムシ	○	○	○	○		○	○		
226		マルハナノミ科	マルハナノミ科		○				○			
227		コガネムシ科	アオドウガネ		○	○	○		○	○		
228			ドウガネブイブイ		○				○			
229			ヤマトアオドウガネ	○					○			
230			ヒメコガネ		○	○			○	○		
231			チビサクラコガネ		○				○	○		
232			セマダラコガネ		○				○	○		
233			コアオハナムグリ	○	○		○		○	○		
234			アカビロウドコガネ			○			○			
235			マメコガネ			○				○		
236			セマルケシマグソコガネ			○			○			
237		マルトゲムシ科	マルトゲムシ科			○			○			
238		タマムシ科	クズノチビタマムシ	○	○	○	○		○	○		
239		コメツキムシ科	サビキコリ	○	○	○	○		○	○		
240			ハマベヒメサビキコリ	○	○	○	○		○	○		
241			クロスジヒメコメツキ	○	○				○	○		
242			オオハナコメツキ		○					○		
243			ヨツモンミズギワコメツキ			○			○			
244			キアシミズギワコメツキ	○	○				○	○		
245			クロツヤハダコメツキ		○					○		
246			Melanotus属	○	○				○	○		
247			コハナコメツキ		○	○	○		○	○		
248			マダラチビコメツキ		○	○			○			
249		ヒゲブトコメツキ科	ミカドヒゲブトコメツキ			○			○			
250			チャイロヒゲブトコメツキ		○				○			
251		ベニボタル科	クロハナボタル				○			○		
252		カッコウムシ科	ヤマトヒメメダカカッコウムシ		○				○			
253		ジョウカイモドキ科	キアシオビジョウカイモドキ			○			○			
254		テントウムシ科	ナナホシテントウ	○		○	○		○	○		
255			ナミテントウ	○	○		○		○	○		
256			フタホシテントウ				○		○	○		
257			セスジヒメテントウ		○		○		○	○		
258			アトホシヒメテントウ			○				○		
259			ヨツボシテントウ	○	○	○	○		○	○		
260			ヒメカメノコテントウ		○	○	○		○	○		
261			クモガタテントウ		○					○	○	
262			アカイロテントウ	○			○			○		
263			ベニヘリテントウ		○					○		
264			ハレヤヒメテントウ		○	○				○		
265			クロヘリヒメテントウ		○				○	○		
266			コクロヒメテントウ	○	○	○				○		
267			クロテントウ				○			○		
268		キスイムシ科	キイロセマルキスイ		○				○			
269		テントウムシダマシ科	ヨツボシテントウダマシ	○	○	○	○		○	○		
270		コメツキモドキ科	ケシコメツキモドキ		○					○		
271		ヒメマキムシ科	クロオビケシマキムシ				○			○		
272			ウスチャケシマキムシ			○			○			
273		ケシキスイ科	マメヒラタケシキスイ			○			○			
274		ホソヒラタムシ科	ミツモンセマルヒラタムシ		○	○			○			
275		アリモドキ科	ケオビアリモドキ		○	○	○		○	○		
276			ヨツボシホソアリモドキ		○				○			
277		ハナノミ科	Mordellistena属	○	○				○	○		
278		カミキリモドキ科	キバネカミキリモドキ		○					○		
279			モモブトカミキリモドキ	○					○	○		
280		ゴミムシダマシ科	ホンドトビイロクチキムシ	○	○				○	○		
281			コスナゴミムシダマシ	○			○			○		
282			オオメキバネハムシダマシ		○					○		
283		カミキリムシ科	コブスジサビカミキリ	○		○	○		○	○		

表 8.4(6)　昆虫類確認種リスト

No.	目名	科名	種名	調査時期					対象事業実施区域		外来種	備考
				春季	初夏季	夏季	秋季	補足	内	外		
284	コウチュウ目	カミキリムシ科	ヨツスジトラカミキリ			○				○		
285			ホシベニカミキリ	○						○		
286			クロカミキリ		○				○			
287		ハムシ科	アカバナカミナリハムシ		○	○	○		○	○		
288			ウリハムシ				○		○			
289			クロウリハムシ	○		○				○		
290			アオバネサルハムシ	○	○	○			○	○		
291			ヨモギハムシ	○		○	○		○	○		
292			ドウガネサルハムシ	○	○	○	○		○	○		
293			クロトゲハムシ	○	○	○	○		○	○		
294			クロボシトビハムシ		○				○	○		
－			Longitarsus属	○		○	○		△	△		
295			マルキバネサルハムシ	○	○	○	○		○	○		
－			Pagria属		△				△			
296			ヤナギルリハムシ		○	○			○	○		
297			ルリナガスネトビハムシ	○						○		
－			Psylliodes属		○					△		
298			サンゴジュハムシ		○	○			○	○		
299			ニレハムシ	○			○		○	○		
300		ヒゲナガゾウムシ科	ヒゲナガゾウムシ科	○						○		
301		オトシブミ科	グミチョッキリ	○	○	○			○	○		
302		ゾウムシ科	エゾヒメゾウムシ	○	○				○	○		
303			コフキゾウムシ	○	○	○			○	○		
304			アルファルファタコゾウムシ	○						○	○	
305			ヤサイゾウムシ	○	○				○	○	○	
306			アイノカツオゾウムシ	○	○				○	○		
307			ムネスジノミゾウムシ		○				○			
308			ニレノミゾウムシ	○	○				○			
309			Orochlesis属				○			○		
310			スグリゾウムシ	○		○	○		○	○		
311			アカアシクチブトサルゾウムシ	○	○				○	○		
312			Scepticus属	○	○				○	○		
313			ケチビコフキゾウムシ				○		○		○	
314			チビコフキゾウムシ	○						○		
315	ハチ目	ミフシハバチ科	ルリチュウレンジ		○					○		
316		ハバチ科	ハグロハバチ				○			○		
－			ハバチ科	○	○					△		
317		コマユバチ科	コマユバチ科	○		○			○			
318		ヒメバチ科	ヒメバチ科	○	○	○	○		○	○		
319		アシブトコバチ科	アシブトコバチ科		○				○			
320		コガネコバチ科	コガネコバチ科	○					○			
321		アリ科	Aphaenogaster属	○	○	○			○			
322			オオハリアリ	○		○	○		○	○		
323			クロオオアリ	○	○	○	○		○	○		
324			ヨツボシオオアリ	○	○					○		
325			ウメマツオオアリ	○	○	○	○		○	○		
326			ハリブトシリアゲアリ			○	○		○	○		
327			クロヤマアリ	○	○	○	○		○	○		
328			トビイロケアリ	○	○	○			○	○		
329			カワラケアリ	○	○	○				○		
330			ヒラアシクサアリ	○					○			
331			ヒメアリ			○				○		
332			アメイロアリ			○	○			○		
333			ルリアリ				○		○			
334			サクラアリ	○			○			○		
335			アズマオオズアリ				○		○			
336			オオズアリ			○			○			
337			アミメアリ	○	○	○	○		○	○		
338			ムネボソアリ	○	○	○	○		○	○		
339			ハリナガムネボソアリ			○	○		○	○		

表 8.4(7)　昆虫類確認種リスト

No.	目名	科名	種名	調査時期					対象事業実施区域		外来種	備考
				春季	初夏季	夏季	秋季	補足	内	外		
340	ハチ目	アリ科	オオシワアリ			○			○			
341			トビイロシワアリ	○	○	○	○		○	○		
－			アリ科		△	△			△			
342		スズメバチ科	オオフタオビドロバチ本土亜種			○				○		
343			フタモンアシナガバチ本土亜種			○				○		
344			セグロアシナガバチ本土亜種	○	○	○	○		○	○		
345			キオビチビドロバチ	○	○	○			○	○		
346		クモバチ科	Anoplius属		○		○			○		
347		コツチバチ科	Tiphia属	○	○		○		○	○		
348		ツチバチ科	ヒメハラナガツチバチ本土亜種		○	○	○		○	○		
349			キンケハラナガツチバチ				○		○			
350			オオモンツチバチ			○			○	○		
351			キオビツチバチ			○				○		
352		ギングチバチ科	ヌカダカアナバチ				○		○			
353		アナバチ科	アメリカジガバチ			○				○	○	
354			クロアナバチ本土亜種			○				○		
355		ミツバチ科	セイヨウミツバチ		○		○		○	○	○	
356			キムネクマバチ			○			○			
357		ムカシハナバチ科	Hylaeus属		○					○		
358		コハナバチ科	アカガネコハナバチ	○	○	○	○		○	○		
359			Lasioglossum属	○	○	○			○	○		
360		ハキリバチ科	バラハキリバチ本土亜種			○			○			
合計	13目	124科	360種	121種	178種	188種	165種	12種	265種	253種	11種	

注 1）分類、配列は原則として、「河川水辺の国勢調査 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年、国土交通省）に従った。

注 2）種までの同定がされていないものについては、同一の分類群に属する種が記録されている場合は種数に計上していない。表中では△で示した。

注 3）外来種は、「千葉県の外来生物リスト 2020 年改訂版」（令和 2 年、千葉県）に掲載されている種とした。

8.5　昆虫類ベイトトラップ法調査結果

昆虫類のベイトトラップ法調査結果は表 8.5 に示すとおりである。

表 8.5　昆虫類ベイトトラップ法調査結果

No.	種名	T1				T2			
		春季	初夏季	夏季	秋季	春季	初夏季	夏季	秋季
1	モリチャバネゴキブリ	5				2		1	
2	ウスヒラタゴキブリ本土亜種						1		
3	コバネハサミムシ		1		2	1	2	4	
4	スズムシ								16
5	ハラオカメコオロギ			1	1			4	15
6	クマスズムシ				10				63
7	カネタタキ								1
8	ヒゲシロスズ				6				24
9	シバスズ							1	6
10	オンブバッタ								1
11	カスミカメムシ科							2	
12	ツマキヘリカメムシ		3	1					
13	ナガカメムシ科								1
14	ツチカメムシ				1				2
－	ツチカメムシ科					1			
15	ヒメクロカメムシ					1			
16	ミイデラゴミムシ		2						
17	キボシアオゴミムシ							2	
18	ダイミョウアトキリゴミムシ								1
19	オオスナハラゴミムシ		1	1					
20	セアカヒラタゴミムシ	3			4				6
21	ケウスゴモクムシ	1							
22	オオゴミムシ							1	
23	ホソヒョウタンゴミムシ	1							
24	マルガタツヤヒラタゴミムシ								5
25	ムラサキオオゴミムシ						2		
26	Anotylus属			1					
27	オオヒラタシデムシ	3	2	6	2	4	2	17	
28	マルトゲムシ科			1					
29	サビキコリ			5				24	1
30	ハマベヒメサビキコリ	3				8	4	10	13
31	ヨツモンミズギワコメツキ			1					
32	コスナゴミムシダマシ					1			1
33	Longitarsus属			1					
34	Scepticus属						1		
35	Aphaenogaster属	4	65	17					
36	オオハリアリ			11	85	6		251	37
37	クロオオアリ		2				63	14	4
38	ウメマツオオアリ			15				16	3
39	クロヤマアリ	73	336	3376	241	22	203	5270	554
40	ヒメアリ							3	
41	アメイロアリ							10	8
42	ルリアリ				1				
43	サクラアリ								12
44	アズマオオズアリ				163				
45	オオズアリ			1					
46	アミメアリ	62	197	3513	217	58	284	4603	285
47	ムネボソアリ	7				11	6		
48	ハリナガムネボソアリ			67	50			9	17
49	トビイロシワアリ	58	74	3720	14	81	21	195	
50	ヒメハラナガツチバチ本土亜種			1					
計	50種	220	683	10739	797	196	589	10437	1076
		11種	10種	18種	14種	12種	11種	19種	23種
		32種				36種			

注 1）種までの同定がされていないものについては、同一の分類群に属する種が記録されている場合は種数に計上していない。

注 2）T1：対象事業実施区域内、T2：対象事業実施区域外

8.6　昆虫類ライトトラップ法調査結果

昆虫類のライトトラップ法調査結果は表 8.6 に示すとおりである。

表 8.6(1)　昆虫類ライトトラップ法調査結果

No.	種名	ライトトラップ法				街灯周辺			
		春季	初夏季	夏季	秋季	春季	初夏季	夏季	秋季
1	アジアイトトンボ		1						
2	アオモンイトトンボ			2					
3	ケラ				1				
4	ハラオカメコオロギ			2					
5	マダラバッタ			3					
6	ハネナガヒシバッタ		2						
7	ヒシウンカ科			2					
8	クロスジオオウンカ		2						
9	ヒメトビウンカ			4					
10	セジロウンカ			2					
11	ベッコウハゴロモ			1					
12	ミドリグンバイウンカ			1					
13	ハマベアワフキ		1						
14	コガシラアワフキ		5						
15	ヒメアオズキンヨコバイ		4	2					
16	クロミャクイチモンジヨコバイ		12						
17	ヒシモンヨコバイ		1						
18	ヨツテンウスバヨコバイ			1					
19	ヒメフタテンウスバヨコバイ		4						
-	ヨコバイ科		21	18	1				
20	クロサシガメ				1				
21	アワダチソウグンバイ		1	9					
22	コアオカスミカメ			1	1				
23	イネホソミドリカスミカメ		20	9	3				
24	カスミカメムシ科						1		
25	ハネナガマキバサシガメ			1					
26	オオホシカメムシ			4					
27	ヒメホシカメムシ		1						
28	クモヘリカメムシ			1					
29	ホソハリカメムシ		1						
30	ヨツボシヒョウタンナガカメムシ			1					
31	サビヒョウタンナガカメムシ		21						
32	ヒメナガカメムシ			4					
33	クロアシホソナガカメムシ		3	2					
34	イチゴチビナガカメムシ		2	4					
35	コバネヒョウタンナガカメムシ			15					
36	ミツボシツチカメムシ			3					
37	ヒメツチカメムシ			1					
38	シラホシカメムシ			1					
39	チャバネアオカメムシ			7					
40	イネクロカメムシ		4						
41	Sigara属		10						
42	クモンクサカゲロウ		2						
43	ヨモギネムシガ			2					
44	スネブトヒメハマキ		1						
-	ハマキガ科			2					
45	シロマダラノメイガ		1						
46	マエアカスカシノメイガ				1				
-	ツトガ科	1	2		1	1			
47	ウラベニエダシャク		1						
-	シャクガ科	1	1		1				
48	キハラゴマダラヒトリ			1					
49	シロテンウスグロヨトウ				1				
50	キクギンウワバ		1						
51	ウンモンクチバ				1				

表 8.6(2)　昆虫類ライトトラップ法調査結果

No.	種名	ライトトラップ法				街灯周辺			
		春季	初夏季	夏季	秋季	春季	初夏季	夏季	秋季
52	ウラギンキヨトウ			2	2				
53	Mythimna属	1			3				
54	シロシタヨトウ				1				
55	ハスモンヨトウ				1				
－	ヤガ科			1					
56	ヒメガガンボ科			2				2	
57	ユスリカ科	13	175	11	25		1		
58	カ科				1				
59	ヒメイエバエ科	3							
60	キイロチビゴモクムシ		3						
61	アトモンミズギワゴミムシ		1						
62	キベリアオゴミムシ		1						
63	セアカヒラタゴミムシ		1		1				
64	ケウスゴモクムシ		1	2					
65	ニセクロゴモクムシ		1						
66	ウスアカクロゴモクムシ			6					
67	コルリアトキリゴミムシ		1	2					
68	クロケブカゴミムシ		1						
69	ミドリマメゴモクムシ		2	1					
70	ヨツモンコミズギワゴミムシ			4					
71	キベリカワベハネカクシ		1						
72	ニセヒメユミセミゾハネカクシ			5					
73	アオバアリガタハネカクシ		4	5					
74	Philonthus属		89	10					
75	Thinodromus属		2						
76	チャイロチビゲンゴロウ			5				1	
77	ホソセスジゲンゴロウ			1					
78	コシマゲンゴロウ		1						
79	チビゲンゴロウ			11					
80	ケシゲンゴロウ		1						
81	トゲバゴマフガムシ		2						
82	Cercyon属		3						
83	キイロヒラタガムシ		2						
84	コガムシ		3						
85	マルハナノミ科		2						
86	アオドウガネ		9	2	4				
87	ドウガネブイブイ		3						
88	ヤマトアオドウガネ	1							
89	ヒメコガネ			1					
90	チビサクラコガネ		12						
91	セマダラコガネ		8						
92	アカビロウドコガネ			2					
93	セマルケシマグソコガネ			1					
94	サビキコリ			1					
95	クロスジヒメコメツキ		6						
96	Melanotus属		8						
97	マダラチビコメツキ		1	1					
98	チャイロヒゲブトコメツキ		1						
99	ナミテントウ		2						
100	ヒメカメノコテントウ			1					
101	キイロセマルキスイ		6						
102	ヨツボシテントウダマシ		1	1					
103	ウスチャケシマキムシ			3					
104	マメヒラタケシキスイ			1					
105	ミツモンセマルヒラタムシ		8	1					

表 8.6(3)　昆虫類ライトトラップ法調査結果

No.	種名	ライトトラップ法				街灯周辺			
		春季	初夏季	夏季	秋季	春季	初夏季	夏季	秋季
106	ホンドトビイロクチキムシ		1						
107	クロカミキリ		2						
108	アオバネサルハムシ		4						
109	コマユバチ科			2					
110	アミメアリ						5		
111	アリ科		856	24					
計	111種	20	1350	215	50	1	7	3	0
		6種	60種	54種	16種	1種	3種	2種	0種
		109種				6種			

注 1) ライトトラップ法は、調査地点に約 1.0m×1.8mの白い布を張り、20wの紫外線蛍光灯及び白色蛍光灯を各 1 本設置・点灯して、誘引された昆虫類を採集した（カーテン法）。採集時間は日没後 2 時間程度とした。

注 2)「街灯周辺」はライトトラップ法の補足として、同日夜間に調査地域の街灯周辺に集まる昆虫類を採集した結果。なお、確認した街灯は対象事業実施区域外の 1 箇所で、昆虫類が誘因されにくいナトリウムランプが使用されていた。

注 3) 種までの同定がされていないものについては、同一の分類群に属する種が記録されている場合は種数に計上していない。

資料９　温室効果ガス関連

資料9　温室効果ガス関連

9.1　ばい煙及び排出ガス（自動車等）の発生による温室効果ガス等

9.1.1　第1期施設及び安房地域2市1町における現廃棄物処理施設の稼働

１．算定

（１）算定地域

第1期施設及び現安房地域2市1町における現廃棄物処理施設とした。

（２）算定対象時期

第1期施設が稼働している令和2年度とした。

（３）算定手法

a. 項目

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に規定される温室効果ガス（二酸化炭素、一酸化二窒素、メタン）のうち、廃棄物処理施設の稼働による温室効果ガスの排出量とした。

b. 方法

廃棄物処理施設の稼働に伴い発生する温室効果ガスの排出量と廃棄物の焼却に伴い発生したエネルギーの有効利用による温室効果ガスの削減量について、「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン　Ver1.0」（平成29年3月、環境省）等に記載された方法を参考とし、定量的に予測した。

(a) 算定式

温室効果ガスの排出量は、以下の式により算出した。

ここで、活動量とは、温室効果ガスの発生と関連のある排出活動の規模を表す指標で、具体的には、廃棄物焼却に関するものは焼却量、燃料・電力を使用する活動については燃料使用量・電気使用量となる。

「温室効果ガス排出量＝活動量×排出係数（活動量当たりの排出量）」

なお、温室効果ガスの種類別の排出量算定式は、以下に示すとおりである。

・二酸化炭素

排出量(t-CO_2)＝一般廃棄物の焼却量(t、廃プラ等)×排出係数(kg-CO_2/t)/1000(t/kg)
＋燃料使用量(kL、A重油等)×1000(kL/L)×排出係数(kg-CO_2/L)/1000(t/kg)
＋燃料使用量(t、コークス)×1000(kg/t)×排出係数(kg-CO_2/kg)/1000(t/kg)
＋電気使用量(kWh)×単位使用量当たりの排出量(kg-CO_2/kWh)/1000(t/kg)

・メタン

排出量(t-CH_4)＝一般廃棄物の焼却量(t)×排出係数(kg-CH_4/t)/1000(t/kg)

・一酸化二窒素

排出量(t-N_2O)＝一般廃棄物の焼却量(t)×排出係数(kg-N_2O/t)/1000(t/kg)

(b) 活動量、排出係数

第 1 期施設及び安房地域 2 市 1 町における現廃棄物処理施設の稼働に伴う活動量は、表 9.1 に示すとおりである。

また、第 1 期施設では、余熱利用として焼却炉より廃熱の回収を行い、発電していることから、発熱量を基に温室効果ガスの削減量として算出した。

なお、排出係数は、既存資料を参考に、表 9.2 に示すとおりとした。

地球温暖化をもたらす程度は、温室効果ガスの種類によって異なるため、異なる温室効果ガスの排出量を、全て二酸化炭素の排出量に換算し、それぞれの量を合計した。

この換算には、既存資料を参考に、表 9.3 に示す地球温暖化係数を用いた。

表 9.1　廃棄物処理施設の稼働に伴う活動量(令和 2 年度)

項目		活動量		
		第 1 期施設	安房地域 2 市 1 町	
			鴨川清掃センター	大谷クリーンセンター
一般廃棄物の焼却量	一般廃棄物	116,186t/年	10,845t/年	6,821t/年
	うち合成繊維（乾重量）	3,288t/年	307t/年	－
	合成繊維以外の廃プラスチック類（乾重量）	16,824t/年	1,570t/年	1,153t/年
燃料の使用量	コークス	6,197t/年	－	－
	A 重油	－	36kL/年	17kL/年
	灯油	453kL/年	－	－
電気の使用量		691,000kWh/年	3,206,366kWh/年	903,441kWh/年
余熱利用の発電量（売電量）		10,148,000kWh/年	－	－

表 9.2　廃棄物処理施設の稼働に伴う排出係数

項目		排出係数		
		二酸化炭素	メタン	一酸化二窒素
一般廃棄物の焼却	一般廃棄物（連続燃焼式焼却施設）	－	0.00095kg-CH_4/t	0.0567kg-N_2O/t
	うち合成繊維（乾重量）	2,290kg-CO_2/t	－	－
	合成繊維以外の廃プラスチック類（乾重量）	2,770kg-CO_2/t	－	－
燃料の使用	コークス	3.17kg-CO_2/kg	－	－
	A重油	2.71kg-CO_2/L	－	－
	灯油	2.49kg-CO_2/L	－	－
電気の使用（東京電力パワーグリッド）		0.445kg-CO_2/kWh	－	－

出典「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン Ver1.0」（平成 29 年 3 月、環境省）
「電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）-令和元年度実績-」（令和 3 年 1 月、環境省・経済産業省）

表 9.3　地球温暖化係数

温室効果ガス	地球温暖化係数
二酸化炭素	1
メタン	25
一酸化二窒素	298

出典「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン Ver1.0」
（平成 29 年 3 月、環境省）

（4）算定結果

第 1 期施設及び安房地域 2 市 1 町における現廃棄物処理施設の稼働により発生する温室効果ガスの排出量は表 9.4 に、発電に伴う削減量は表 9.5 に、それぞれ示すとおりである。

廃棄物処理施設の稼働により発生する温室効果ガスの排出量は、二酸化炭素換算値で 87,696t-CO_2/年と算定される。

また、施設稼働時における余熱利用の発電による温室効果ガスの削減量は、二酸化炭素換算値で 4,516t-CO_2/年と算定される。

これを考慮すると、温室効果ガスの排出量は、表 9.6 に示すとおり、83,180t-CO_2/年に抑制されている。

表 9.4　現廃棄物処理施設の稼働に伴う温室効果ガス排出量（令和 2 年度）

項目		温室効果ガス	二酸化炭素排出量（t-CO_2/年）		
			第 1 期施設	安房地域 2 市 1 町	
				鴨川清掃センター	大谷クリーンセンター
一般廃棄物の焼却	一般廃棄物	CH_4	3	0	0
		N_2O	1,963	183	115
	うち合成繊維	CO_2	7,530	703	－
	合成繊維以外の廃プラスチック類	CO_2	46,602	4,350	3,194
燃料の使用	コークス	CO_2	19,644	－	－
	A重油	CO_2	－	98	46
	灯油	CO_2	1,128	－	－
電気の使用		CO_2	307	1,427	402
合計		－	77,178	6,760	3,758

表 9.5　発電に伴う温室効果ガス削減量（令和 2 年度）

項目	温室効果ガス	二酸化炭素削減量（t-CO_2/年）
発電	CO_2	4,516

表 9.6　現廃棄物処理施設の温室効果ガスの排出量・削減量等（令和 2 年度）

項目	二酸化炭素排出量・削減量等（t-CO_2/年）
施設の稼働による排出量	87,696
発電による削減量	4,516
削減量を考慮した排出量	83,180

本書に掲載した地図は、地理院タイルを背景に項目を追記して掲載したものである。